

令和5年度北谷町観光動向分析調査業務報告書 (概要版)

目次

1. 北谷町観光動向分析調査の実施概要 2
2. 観光統計調査 5
3. 携帯電話GPS調査(日本人) 9
4. 訪日外国人に係る調査43
5. 観光客満足度・消費動向調査54
6. 観光産業調査68
7. マーケティング分析76



北谷町観光動向分析調査の 実施概要

(1) 調査の全体概要

- ✓ 5つの調査を実施し、北谷町の観光実態を把握しました。
- ✓ 各種調査から得られたデータから、北谷町における観光マーケティング分析を行い、北谷町で実施すべき観光施策を整理しました。

調査結果の整理

各調査結果を整理し、現況の実態を把握しました。

観光統計調査	携帯電話GPS調査	訪日外国人に係る調査	観光客満足度・消費動向調査	北谷町観光産業調査
--------	-----------	------------	---------------	-----------

現状と課題の分析

総合計画等の上位計画、沖縄県の目指すべき方向性、我が国の人口等の将来トレンドを踏まえ、各調査結果をSWOT分析し、北谷町における観光課題を整理しました。

		強み(S)	弱み(W)
内部環境	◎ 機会	【積極戦略】 機会を最大限活用し、地域の強みを活かす施策実施	【改善戦略】 機会があるうちに、地域の弱みを改善する施策実施
外部環境	⊖ 脅威	【差別化戦略】 地域の強みにより脅威を回避し、活かす施策実施	【専守防衛・撤退】 地域の弱みが外部環境により致命的な悪影響を及ぼさない施策実施

施策検討

STP分析を実施し、市場、ターゲット、アプローチを明確にし、施策検討を行いました。

S(セグメンテーション)	T(ターゲティング)	P(ポジショニング)
--------------	------------	------------

実施すべき観光施策の整理

(2) 各調査の概要

観光統計調査

- ✓ コロナ前後の動向など外部環境を把握するため、過去10年を整理
- ✓ 訪日外国人消費動向調査(観光庁)、入域観光客数に関する統計(沖縄県)などの外部環境に関する観光統計を対象

携帯電話GPS調査

- ✓ 日本人観光客の町内等移動動態を把握するため、2019年(コロナ前)、2023年(直近)を整理
- ✓ GPSデータ(Agoop)を活用して分析(母数推計済みデータ)

訪日外国人に係る調査

- ✓ 外国人FIT観光客の町内等移動動態を把握するため、2019年(コロナ前)、2023年(直近)を整理
- ✓ GPSデータ(ナビタイム)を活用して分析

観光客満足度・消費動向調査

- ✓ 対面アンケート調査によって町内の観光満足度、消費実態等を整理
- ✓ 町内滞在中の観光客を対象に調査を実施
- ✓ 調査は、10月、11月、1月、2月に実施し約2,600サンプル回収

北谷町観光産業調査

- ✓ 郵送アンケート調査によって町内の観光収入、域内調達率等を整理
- ✓ 町内の観光関連事業者(宿泊、飲食等)を対象に調査を実施
- ✓ 調査は、1月に実施し約60サンプル回収(回収率約15%)

2

観光統計調査

(1) 観光統計調査の整理

1. 整理項目した統計調査一覧

▷整理した統計資料などは、全部で12種。本資料では、「1.旅行・観光消費動向調査」、「11.訪日外客統計」、「12.日本人旅行者の動向」の集計結果を記載。

1.旅行・観光消費動向調査(観光庁)

国内観光、費目別消費額について、全国の特徴を整理

2.訪日外国人消費動向調査(観光庁)

国・地域別滞在日数、費目別消費額について、全国の特徴を整理

3.宿泊旅行統計調査(観光庁)

実宿泊者数、延べ宿泊者数、稼働率について、都道府県の特徴を整理

4.経済センサス(経済産業省)

観光関連事業所数、従業者数、売上金額について、市町村の特徴を整理

5.入域観光客に関する統計(沖縄県)

国内客数、外国客数について、沖縄県の特徴を整理

6.宿泊施設に関する統計(沖縄県)

施設数、客室数、収容人員について、市町村の特徴を整理

7.観光統計実態調査、外国人観光客実態調査(沖縄県)

費目別消費額、来訪回数、活動内容について、沖縄県の特徴を整理

8.修学旅行に関する統計(沖縄県)

校数、人数について、沖縄県の特徴を整理

9.北谷統計書(北谷町)

月別滞在人口、外国人滞在人口、主要イベント来客数について、市町村、北谷町の特徴を整理

10.訪日外客統計(日本政府観光局(JNTO))

訪日外客数について、全国の特徴を整理

11.訪日外客統計(沖縄コンベンションビューロー(OCVB))

MICEの開催実態について、市町村の特徴を整理

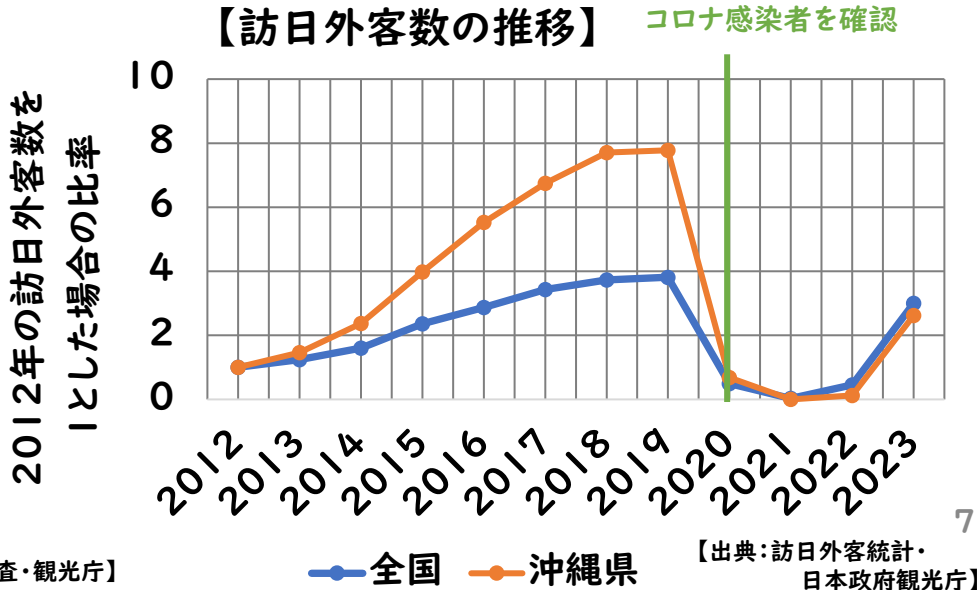
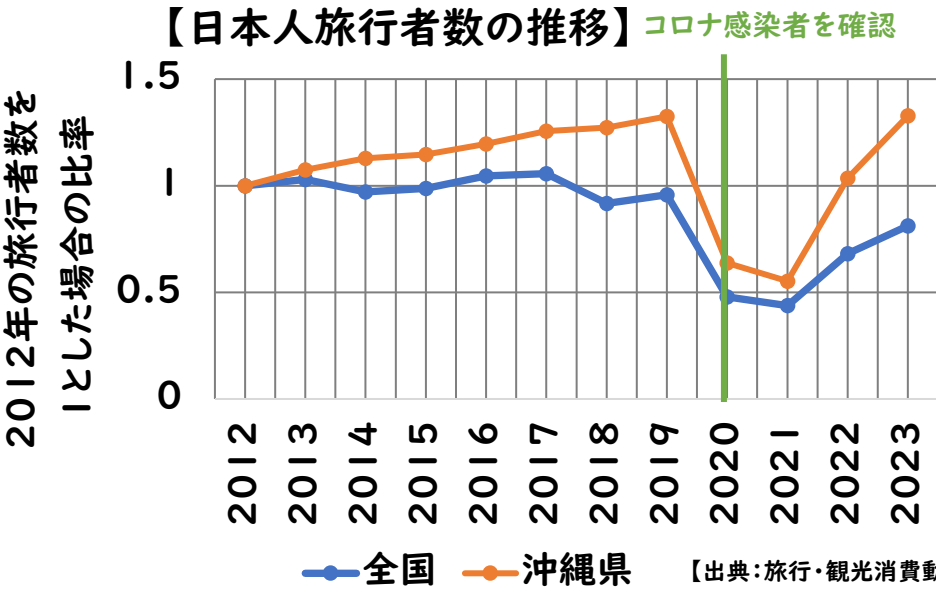
12.日本人旅行者の動向(日本交通交通公社)

コロナの影響による旅行意識(旅行実施の影響、旅行内容の変更、旅行を実施した際の気持ち・感想、旅行中のコロナの対策)の変容について特徴を整理

(1) 観光統計調査の整理

2. 旅行者の動向～旅行者数～

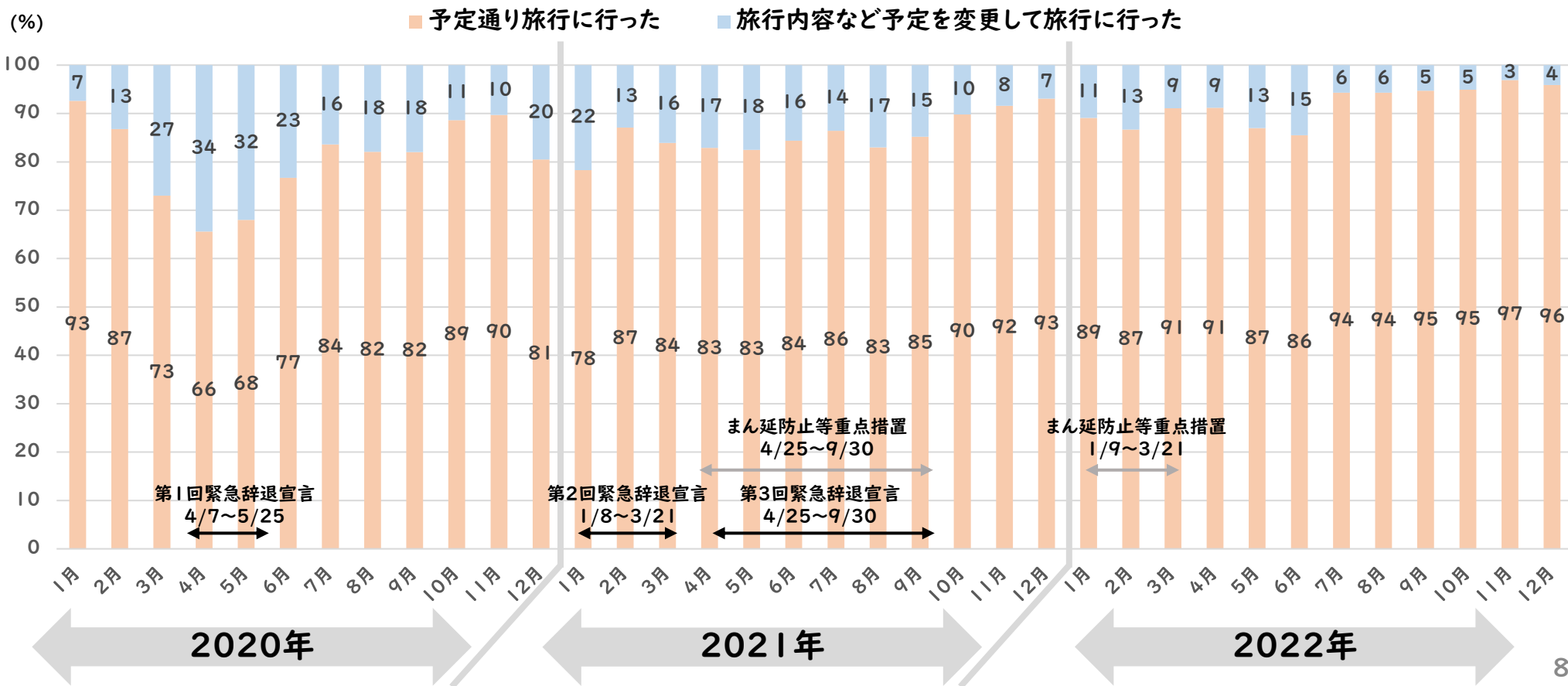
- ▷2012年～2019年（コロナ前）
 - ・日本人旅行者数は、全国で横ばい、沖縄県で増加傾向である。
 - ・訪日外客は、全国、沖縄県ともに増加傾向である。（2019年は、全国で2012年比約4倍、沖縄県で2012年比約8倍）
- ▷2020年～2023年（コロナ禍）
 - ・2020年に大きく減少し、2021年では最も低くなり、その後、回復傾向にある。
 - ・2023年において、日本人旅行者数は、全国で2012年比81%回復、沖縄県で2012年を超える1.33%でありコロナ前の2019年と同等である。訪日外客数は、全国、沖縄県では、で2012年を超えるまで回復。



(1) 観光統計調査の整理

3. 日本人旅行者の動向～旅行意識～

▷国内旅行の予定通り実施率は、コロナの感染状況によって増減しながらも年を追うごとに増加している。特に2022年7月以降は約95%を占め、コロナ禍の影響による旅行内容の変更は少なくなっている。



【出典:新型コロナウイルス感染症影響下の日本人旅行者の動向】

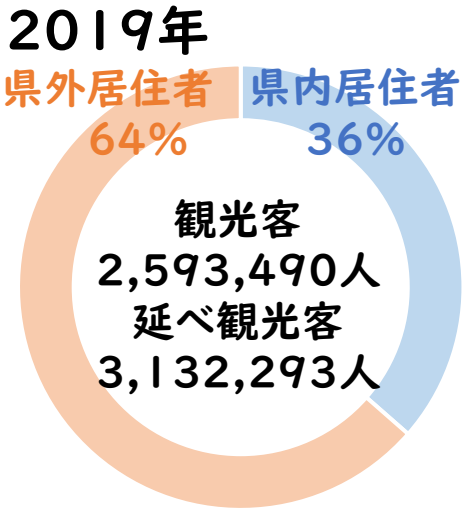
3

携帯電話GPS調査 (日本人)

(1) 観光客のプロフィール

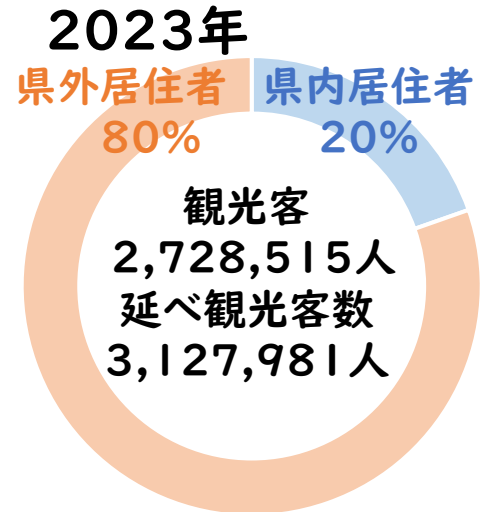
1. 居住地・性別

▷観光客人数は、2019年で約260万人から2023年で約273万人と13万人増加。
 ▷うち、県外居住者は、2019年で64%、2023年で80%と増加。
 ▷観光客の男女比は、2019年で男性6割、女性4割、2023年で男性4割、女性6割と逆転。ただし、性別は一部のデータのみ取得が可能のため、注意が必要である。



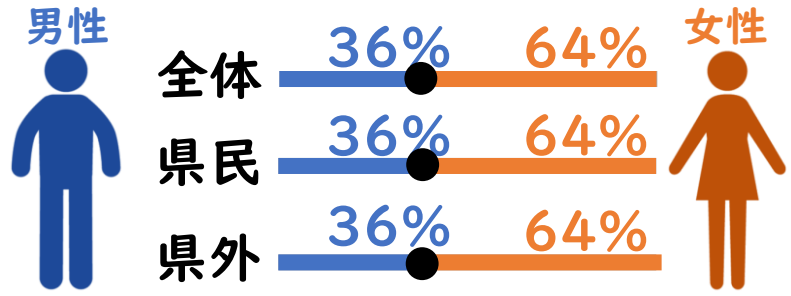
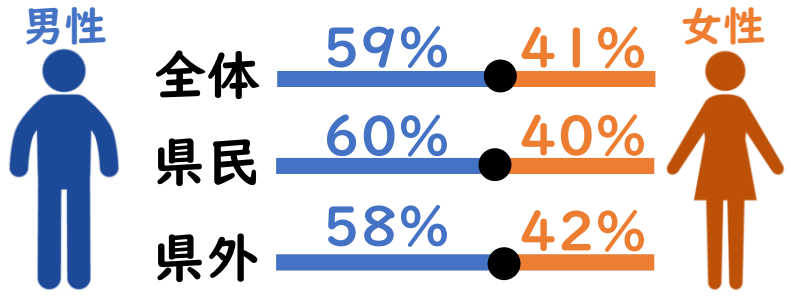
【県外居住地ランキング】

No.	居住地	人数
1	東京都	231,359
2	大阪府	141,029
3	愛知県	136,604
4	神奈川県	132,275
5	福岡県	106,807



【県外居住地ランキング】

No.	居住地	人数
1	東京都	316,503
2	大阪府	215,081
3	神奈川県	189,495
4	愛知県	178,566
5	福岡県	123,927



※性別は、取得可能な一部データのみで集計

(1) 観光客のプロフィール(実人数)

日本人

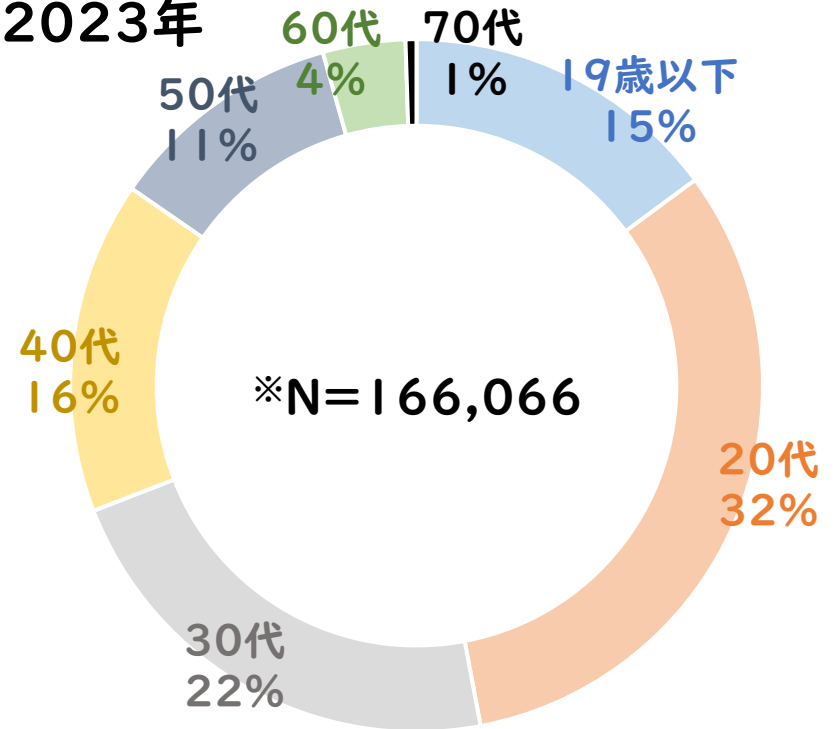
2.年齢

- ▷2023年は、20代が最も高く32%である。次いで30代の22%である。
- ▷30代以下で全体の69%である。

2019年



2023年



※年齢は、取得可能な一部データのみで集計

(1) 観光客のプロフィール(実人数)

日本人

3. 月別の来訪観光客数の推移

- ▷2019年では、県内外居住者ともに9月が最も高い。
- ▷2023年では、県内居住者は1月が最も高く、県外居住者は3月が最も高い。
- ▷沖縄県の全国旅行支援、大学生の長期休みにより2月、3月が高くなったと思われる。

2019年
(千人)

※1月31日～2月2日の来訪のように月を跨ぐ場合、最終来訪月の2月で集計



2023年
(千人)



3. 月別の来訪観光客数の推移～他データとの比較～

- ▷2023年の沖縄県入域観光客数(国内客)を見ると、3月が1番目に高い状況である。
- ▷2023年の沖縄観光地域カルテを見ると、2月が最も高く、次いで3月となっている。
- ▷他データを見ても、前頁と同じく2月、3月が高い傾向である。

2023年沖縄県入域観光客数

(千人)

※11月及び12月は速報値



【出典:入域観光客統計概要・沖縄県】

2023年沖縄観光地域カルテ

(千人)

※1月31日～2月2日の来訪のように月を跨ぐ場合、1日単位で集計をするため、1月31日で1カウント、2月1日で1カウント、2月2日で1カウントと合計3カウントとなる。(延べ人数)

500



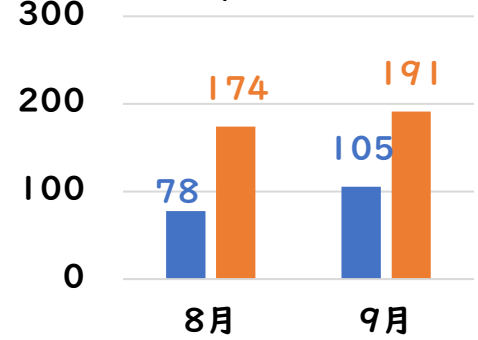
【出典:沖縄カルテ北谷町・沖縄観光コンベンションビューロー】

(1) 観光客のプロフィール(実人数)

3. 月別の来訪観光客数の推移～8月・9月の詳細～

▷2019年8月では、東京都が最も高く2位の神奈川県と1.7倍の来訪があったが、9月に、東京都が2位となり大阪府が最も高くなった。
 ▷2023年では、8月、9月とも東京都が最も高く、次いで大阪府である。

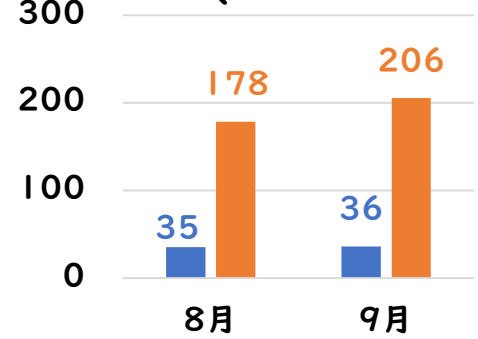
2019年(8月～9月について)



月	観光客	性別	
		男性	女性
8月	観光客	59%	41%
	県内居住者	55%	45%
	県外居住者	60%	40%
9月	観光客	60%	40%
	県内居住者	60%	40%
	県外居住者	61%	39%

■ 県内居住者 ■ 県外居住者 ■ 男性 ■ 女性

2023年(8月～9月について)



月	観光客	性別	
		男性	女性
8月	観光客	36%	64%
	県内居住者	35%	65%
	県外居住者	36%	64%
9月	観光客	34%	66%
	県内居住者	33%	67%
	県外居住者	36%	64%

■ 県内居住者 ■ 県外居住者 ■ 男性 ■ 女性

【県外居住地ランキング】

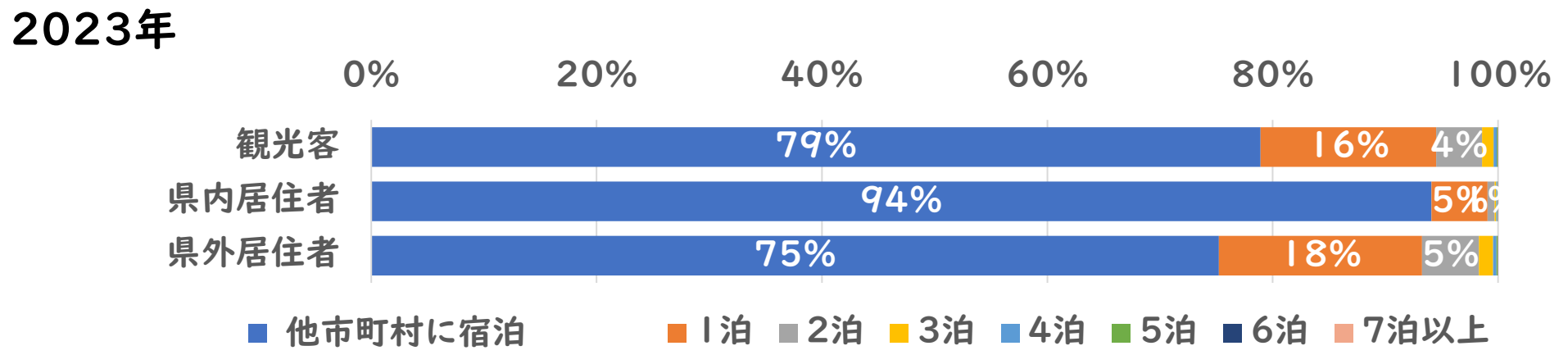
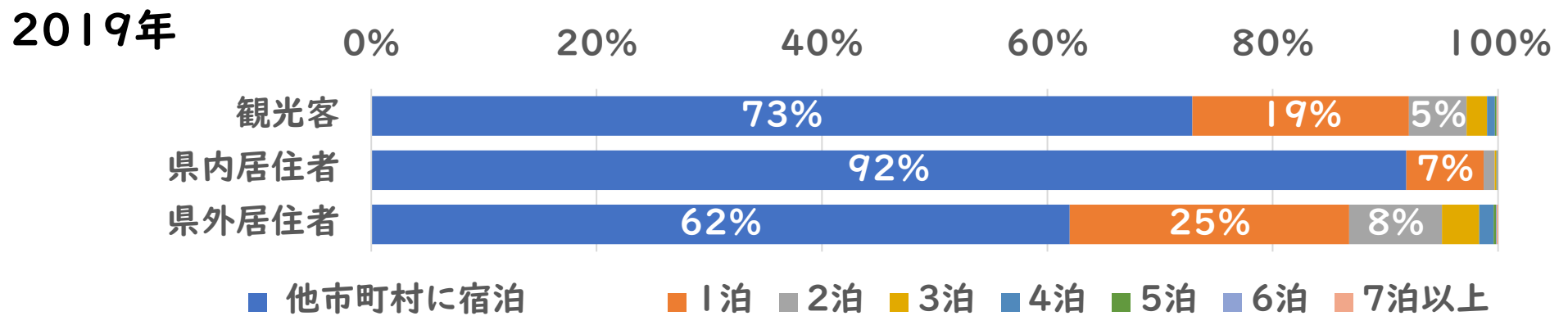
No.	8月		9月	
	居住地	人数	居住地	人数
1	東京都	30,409	大阪府	25,536
2	神奈川県	17,267	東京都	25,347
3	大阪府	13,589	福岡県	15,168
4	埼玉県	12,295	愛知県	14,599
5	千葉県	11,817	兵庫県	13,869

No.	8月		9月	
	居住地	人数	居住地	人数
1	東京都	29,852	東京都	32,247
2	大阪府	19,699	大阪府	23,838
3	神奈川県	13,617	神奈川県	19,296
4	愛知県	12,934	愛知県	15,400
5	千葉県	11,455	福岡県	13,947

(1) 観光客のプロフィール(実人数)

4.北谷町内宿泊者比率

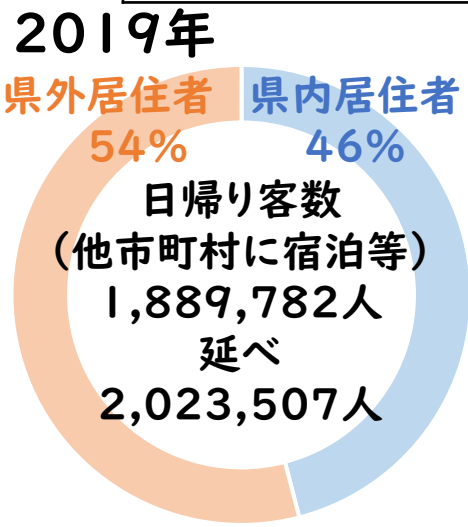
▷北谷町に宿泊する観光客は、2019年で約3割である。県外居住者は4割である。
 ▷2023年では、2019年に比べ、北谷町に宿泊する観光客が6%程度減少、県外居住者は1割程度減少。



(2) 日帰り客

1. 居住地・性別

▷日帰り客（他市町村に宿泊等）は、2019年で約189万人から2023年で約215万人と26万人増加。
 ▷うち、県外居住者は、2019年で54%、2023年で77%と増加。
 ▷観光客の男女比は、2019年で男性6割、女性4割、2023年で男性4割、女性6割と逆転。ただし、性別は一部のデータのみ取得が可能のため、注意が必要である。



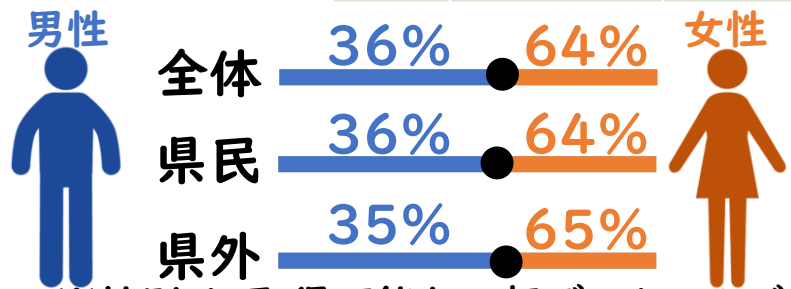
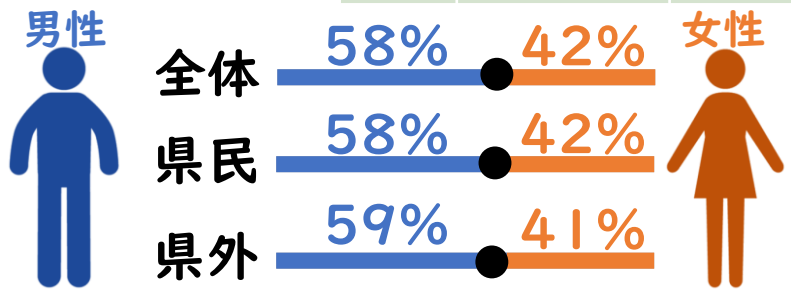
【県外居住地ランキング】

No.	居住地	人数
1	東京都	141,484
2	大阪府	96,454
3	愛知県	84,743
4	神奈川県	77,774
5	福岡県	70,643



【県外居住地ランキング】

No.	居住地	人数
1	東京都	232,710
2	大阪府	174,032
3	神奈川県	138,685
4	愛知県	133,021
5	福岡県	99,876

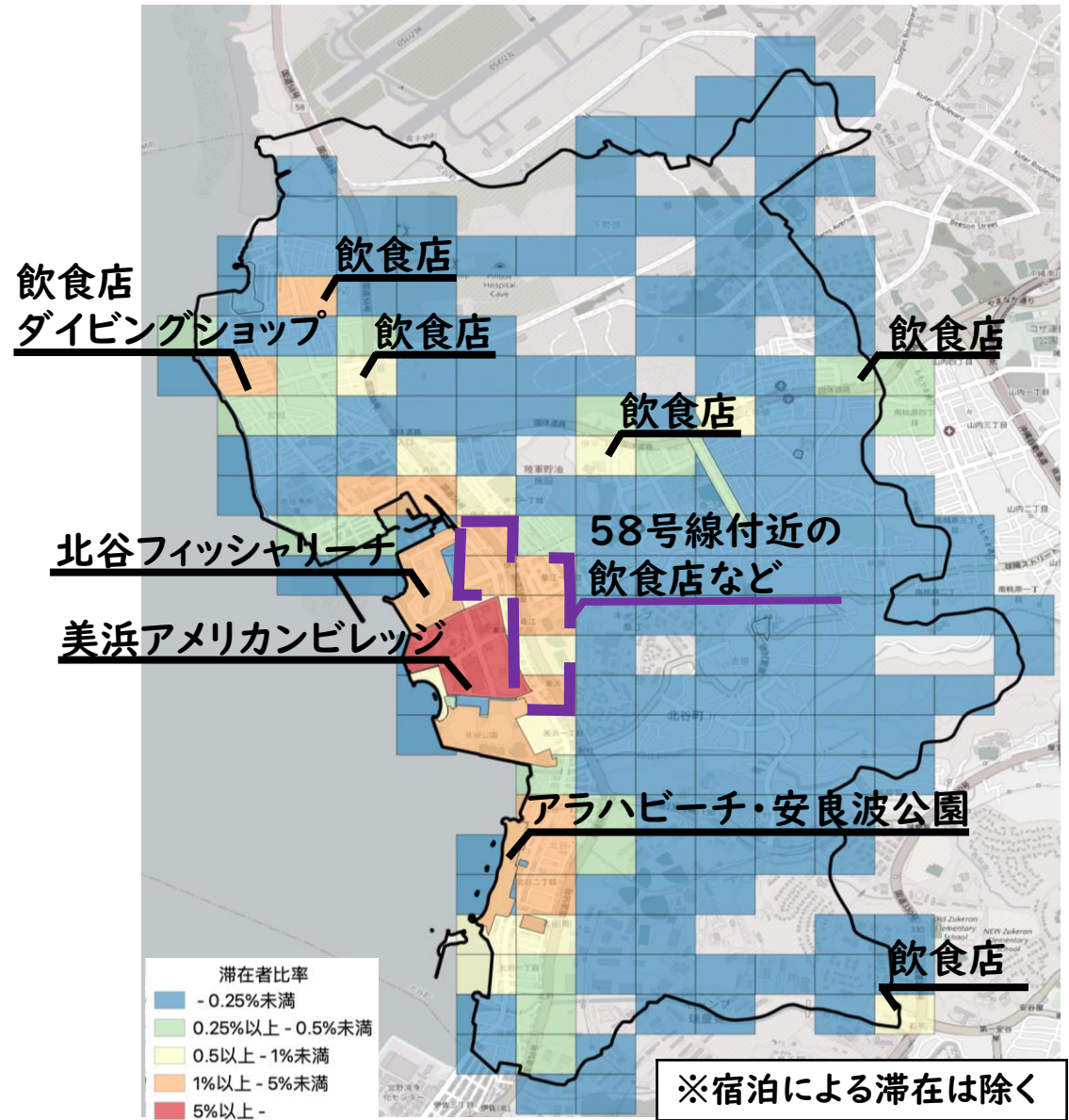


※性別は、取得可能な一部データのみで集計

(2) 日帰り客 (延べ人数)

2. 滞在場所(2019年)

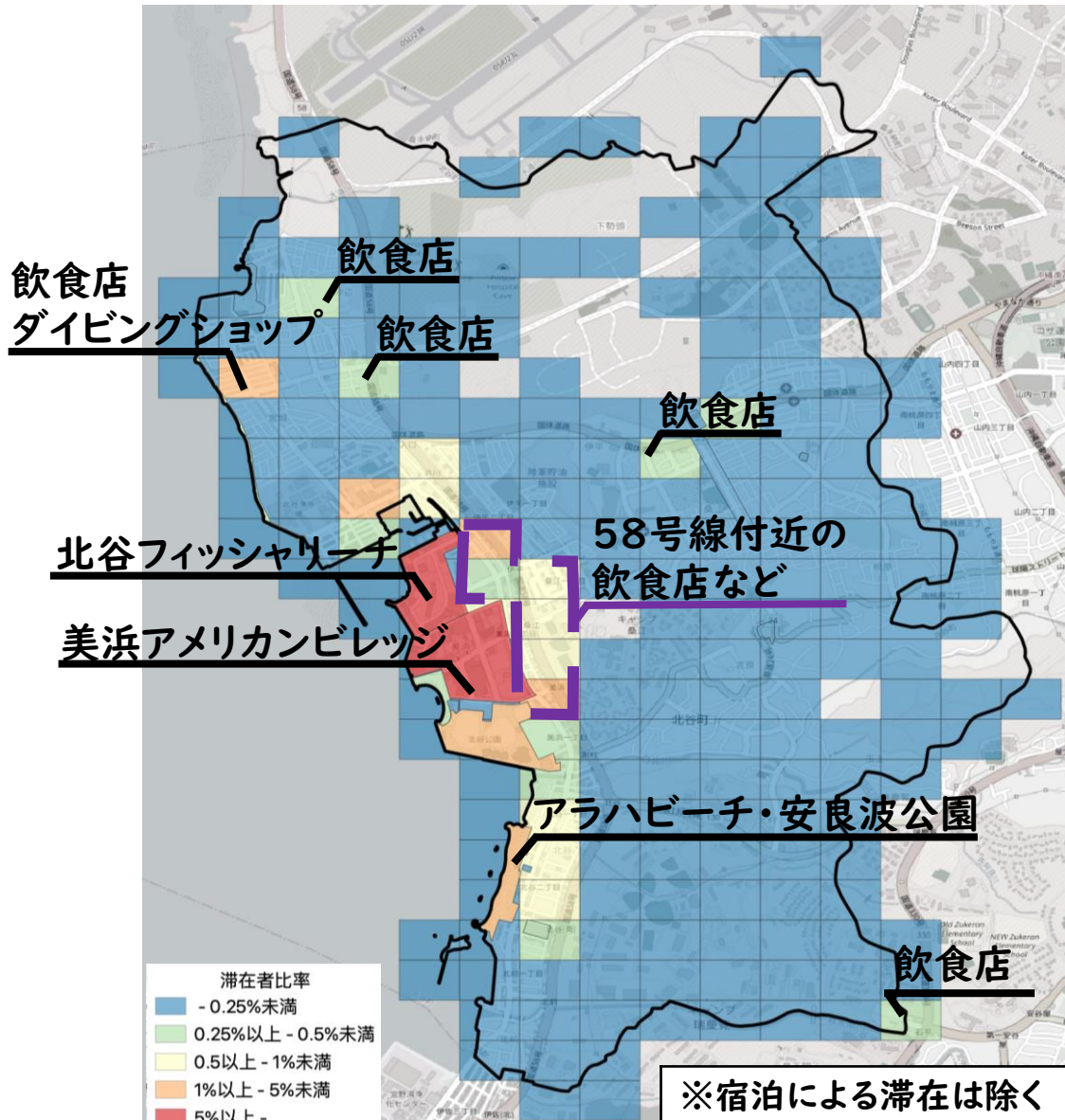
- ▷美浜アメリカンビレッジは、約109万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約45%である。
- ▷北谷フィッシャリーナは、約10万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約4%である。
- ▷58号線付近の飲食店(□部分)は、合計23万人の滞在であり、北谷町滞在延べ人数の約10%である。
- ▷飲食店やダイビングショップがある宮城海岸周辺のメッシュでは、約5万人の滞在であり、北谷町滞在延べ人数の約2%である。



(2) 日帰り客 (延べ人数)

2. 滞在場所(2023年)

- ▷美浜アメリカンビレッジは、約169万人(2019年の1.6倍)の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約64%(2019年+19%)である。
- ▷北谷フィッシャリーナは、19万人(2019年の1.8倍)の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約7%(2019年+3%)である。
- ▷58号線付近の飲食店(□部分)は、合計14万人(2019年0.6倍)の滞在であり、北谷町滞在延べ人数の約5%(2019年▲5%)である。

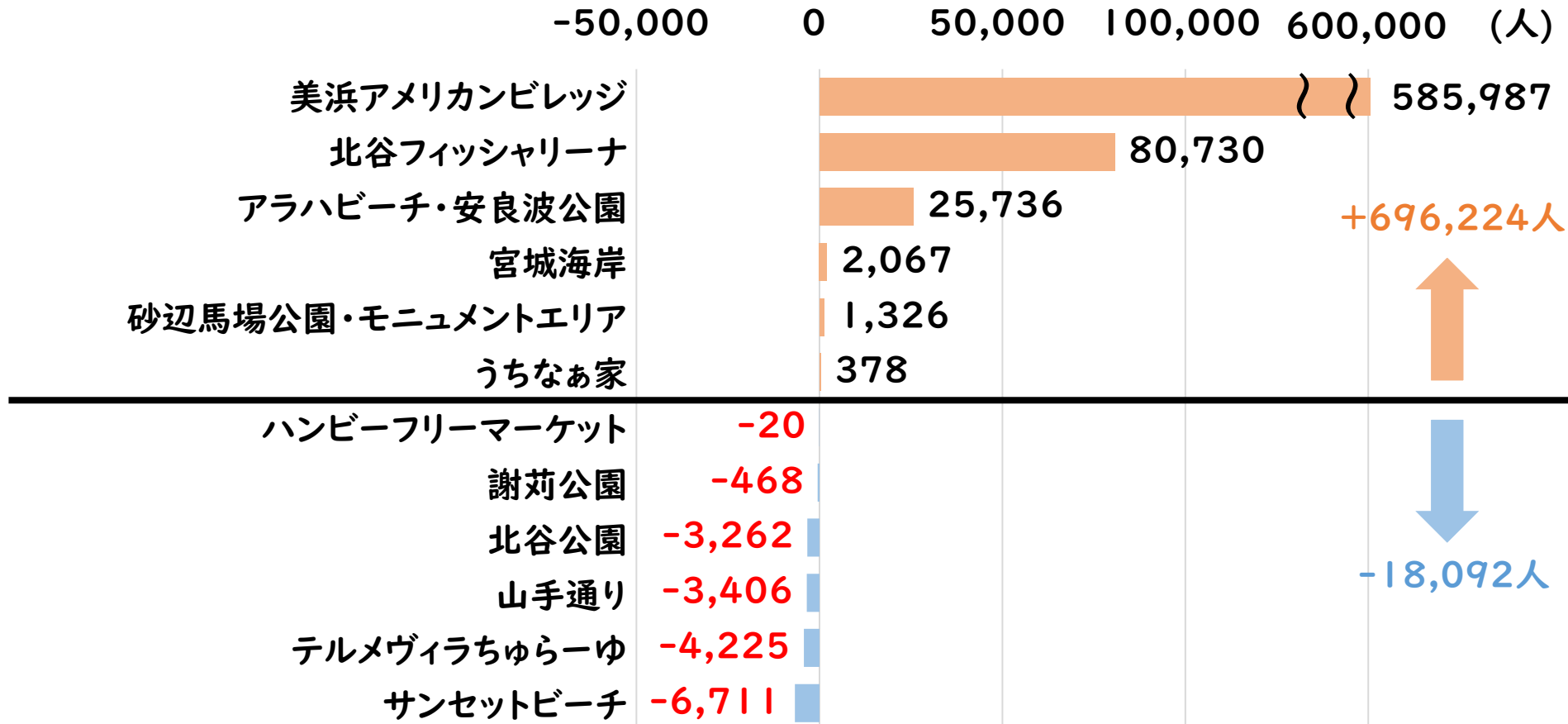


(2) 日帰り客(延べ人数)

日本人

2. 観光スポットの滞在人数(2023年-2019年)

- ▷北谷町内観光スポットの滞在人数差(2023年滞在人数と2019年滞在人数の差)を見ると、全体では678,132人増加。
- ▷特に美浜エリアでは約60万人増加している。一方で、サンセットビーチでは、6,711人減少している。サンセットビーチの工事により、滞在人数が減少したと思われる。

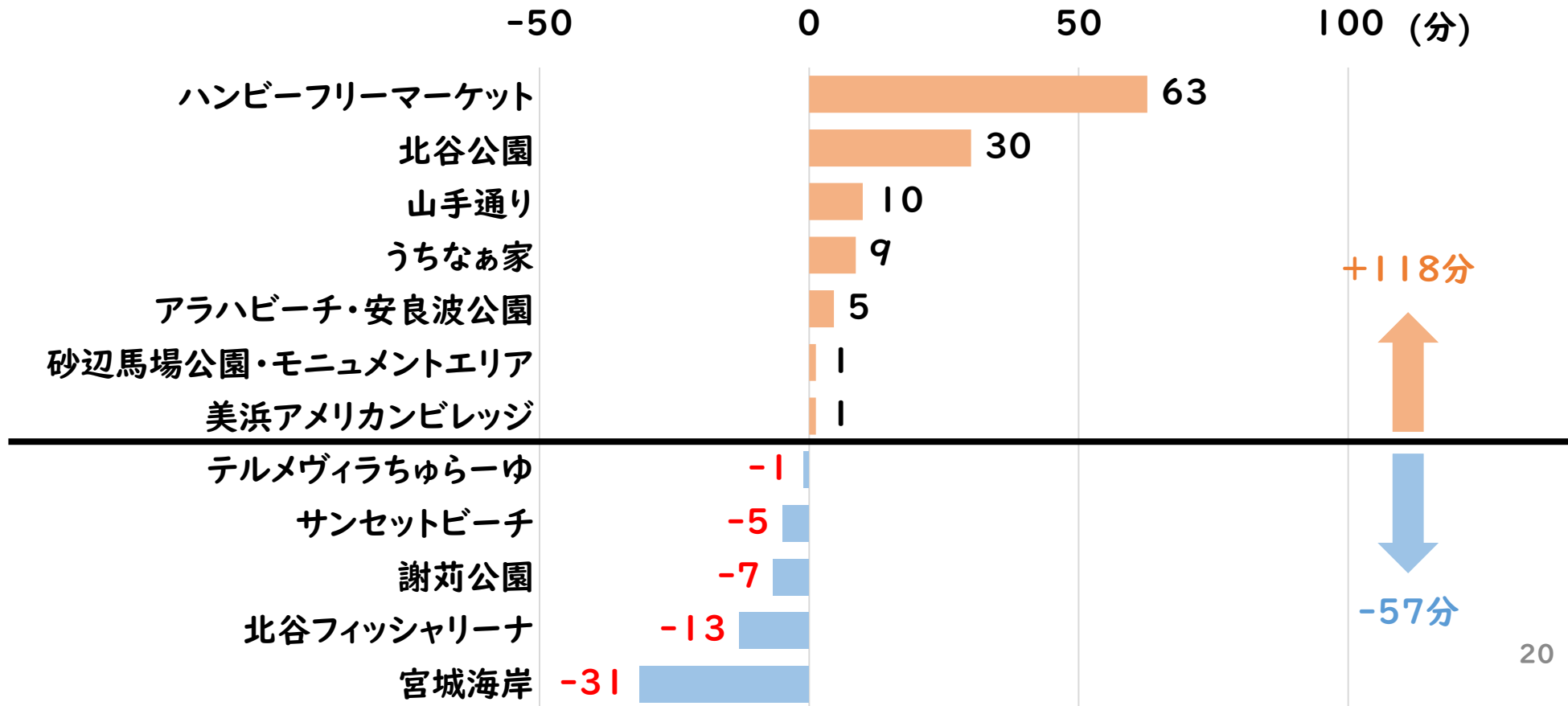


(2) 日帰り客(延べ人数)

日本人

2. 観光スポットの滞在時間差 (2023年-2019年)

- ▶北谷町内観光スポットの滞在時間差(2023年滞在時間と2019年滞在時間の差)を見ると、全体では61分増加。
- ▶特にハンビーフリーマーケットでは63分増加している。一方で、宮城海岸では31分減少している。

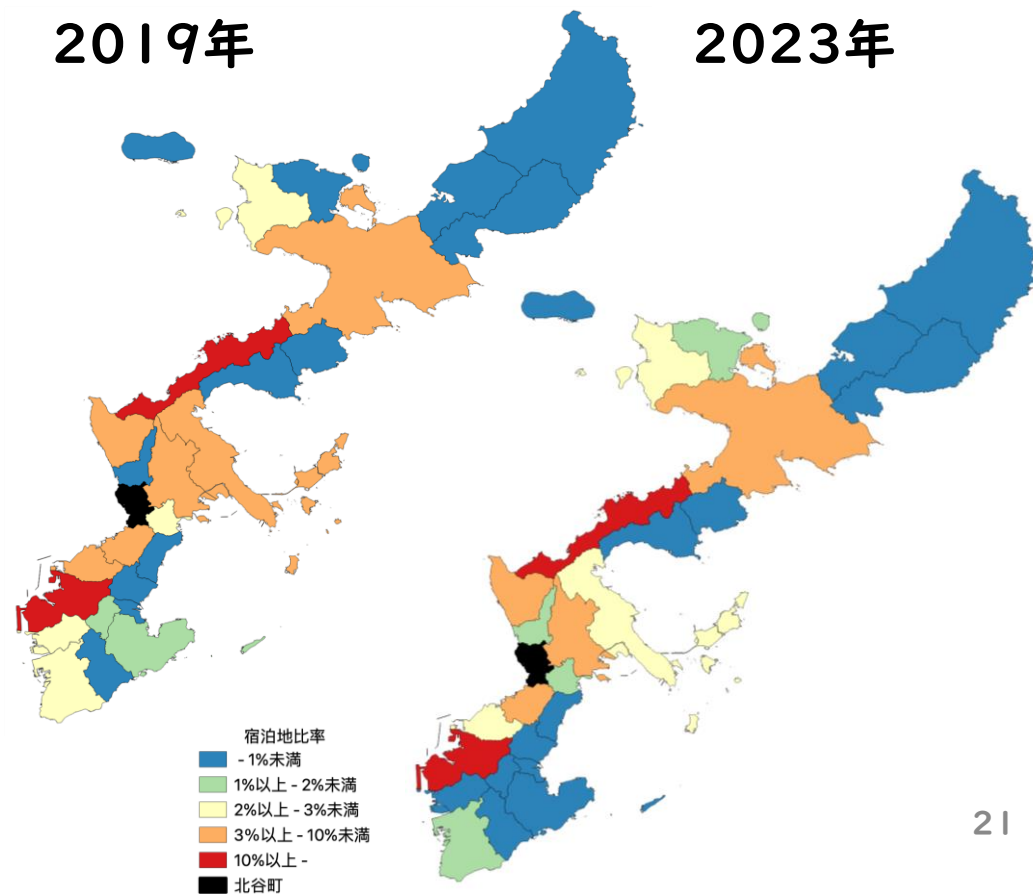


(2) 日帰り客(延べ人数)

3. 他市町村宿泊地

- ▷日帰り客(他市町村に宿泊等)(上位5位)は、那覇市、恩納村、沖縄市、宜野湾市、読谷村と2019年と2023年で変化はない。
- ▷特に、2019年、2023年ともに、那覇市に宿泊する人は約4割である。

上位5位	年	他市町村宿泊地	延べ人数	比率
1位	2019	那覇市	429,905	37%
	2023		249,169	44%
2位	2019	恩納村	135,572	12%
	2023		83,949	15%
3位	2019	沖縄市	84,115	7%
	2023		37,353	7%
4位	2019	宜野湾市	83,254	7%
	2023		36,424	6%
5位	2019	読谷村	71,585	6%
	2023		33,771	6%



(2) 日帰り客（延べ人数）

日本人

4. 周遊状況～2地点間移動～

- ▶北谷町内周遊が2箇所以上の比率が2019年、2023年ともに2割程度である。
- ▶2地点間の周遊状況を見ると2019年から2023年で観光スポット⇄他市町村、観光スポット⇄観光スポットの移動が増加し、2023年は観光スポットへの来訪が多い。

北谷町内周遊が
2箇所以上
18%

2019年
日帰り客数
(他市町村に宿区泊等)
1,889,782人

北谷町内周遊が
1箇所のみ
82%

北谷町内周遊が
2箇所以上
16%

2023年
日帰り客数
(他市町村に宿区泊等)
2,153,485人

北谷町内周遊が
1箇所のみ
84%

北谷町⇄他市町村

延べ

2019年:3,206,641人
2023年:2,988,021人

北谷町⇄北谷町

延べ

2019年:356,094人
2023年:338,541人

年	周遊	延べ人数	比率
2019	うち、 観光スポット⇄他市町村	1,898,457	59%
2023		2,378,088	80%
2019	うち、 観光スポット以外⇄ 他市町村	1,308,184	49%
2023		609,933	20%

年	周遊	延べ人数	比率
2019	うち、観光スポット⇄ 観光スポット	56,868	16%
2023		199,975	35%
2019	うち、観光スポット⇄ 観光スポット以外	162,218	46%
2023		164,349	49%
2019	うち、観光スポット以外⇄ 観光スポット以外	137,008	39%
2023		54,217	16%

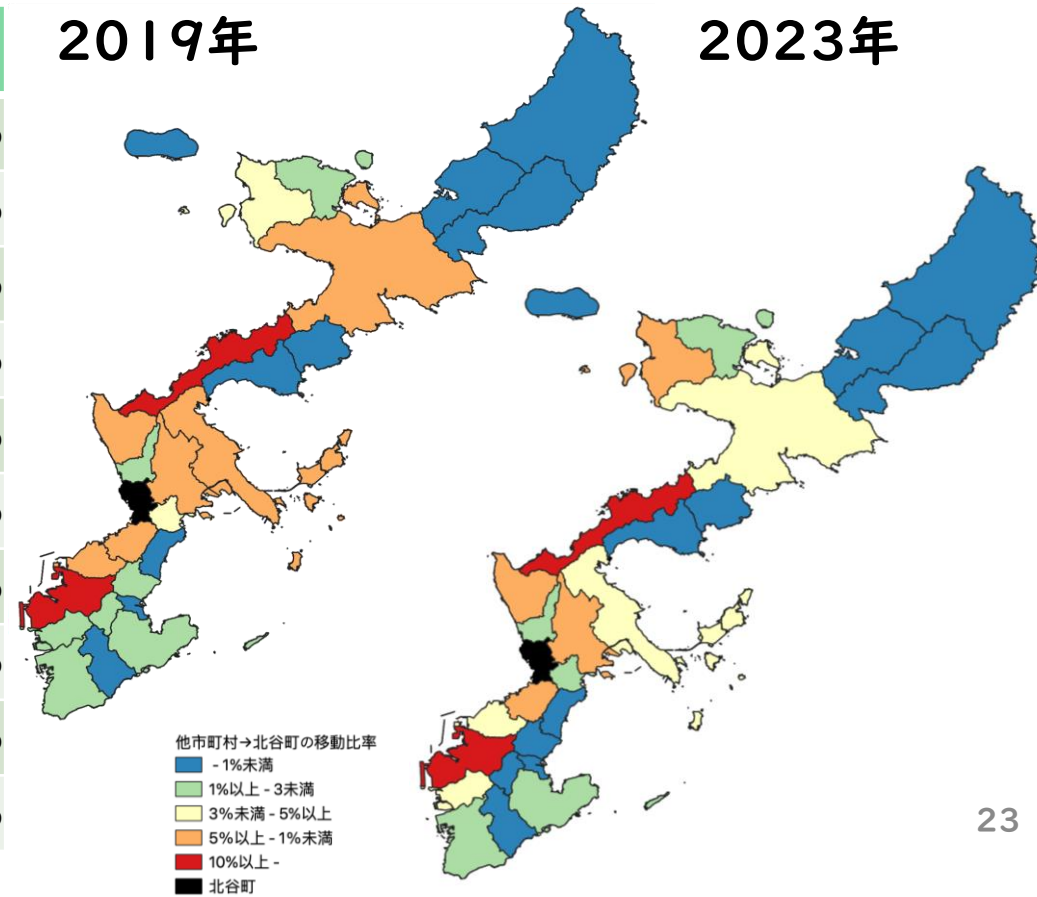
(2) 日帰り客(延べ人数)

日本人

4. 周遊状況～市町村の2地点間移動(北谷町着地)～

- ▶主に、那覇市、恩納村、宜野湾市、本部町、沖縄市、読谷村から北谷町へ訪れる人が多い。2019年、2023年ともに上位5で全体の約6割である。
- ▶特に、2019年、2023年ともに、那覇市から約3割、恩納村から約1割北谷町へ訪れている。

上位5位	年	他市町村→北谷 (北谷町着地)	延べ人数	比率
1位	2019	那覇市	405,760	25%
	2023		425,839	29%
2位	2019	恩納村	168,648	11%
	2023		170,183	12%
3位	2019	宜野湾市	137,189	9%
	2023	本部町	101,865	7%
4位	2019	沖縄市	128,325	8%
	2023	宜野湾市	92,566	6%
5位	2019	読谷村	99,903	6%
	2023		79,543	5%



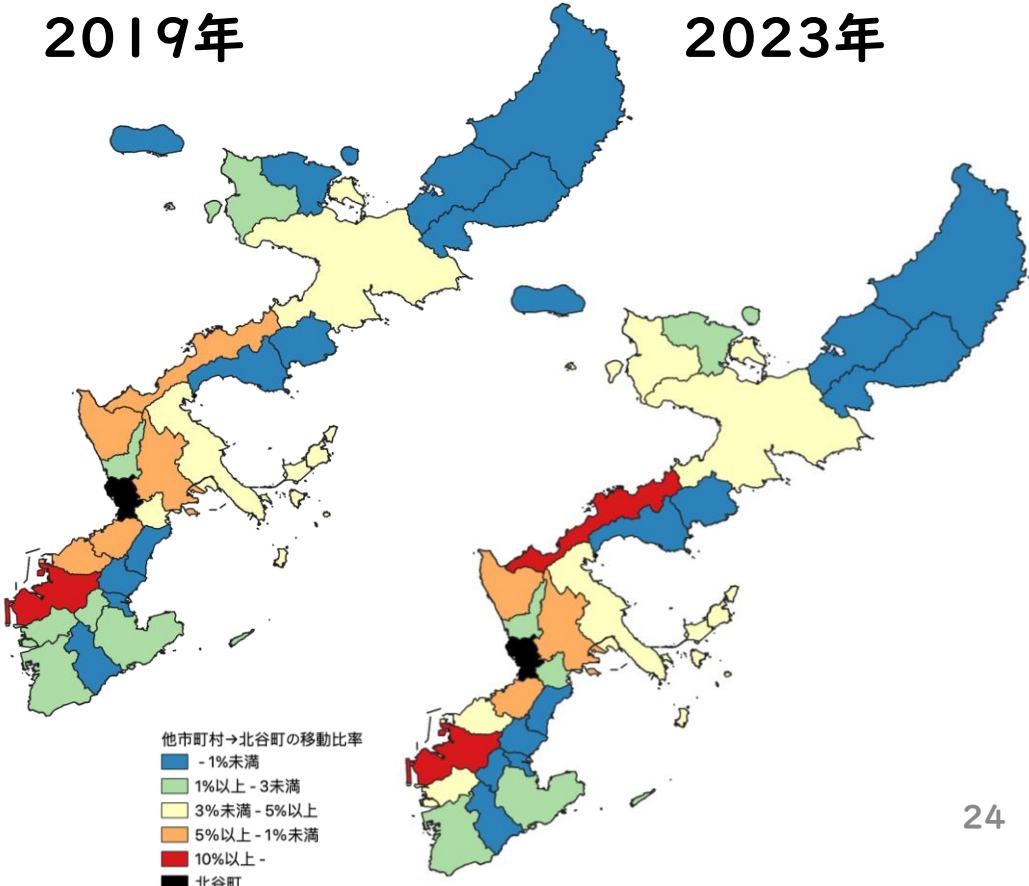
(2) 日帰り客(延べ人数)

4. 周遊状況～市町村の2地点間移動(北谷町発地)～

▷主に、北谷町から那覇市、恩納村、宜野湾市、沖縄市、読谷村、浦添市へ訪れる人が多い。
 ▷特に、2019年、2023年ともに、北谷町を訪れた人の約4割がその後那覇市へ向かっている

上位5位	年	北谷→他市町村 (北谷町発地)	延べ人数	比率
1位	2019	那覇市	547,277	35%
	2023		604,415	40%
2位	2019	宜野湾市	145,391	8%
	2023	恩納村	182,830	10%
3位	2019	恩納村	133,657	7%
	2023	宜野湾市	89,282	5%
4位	2019	沖縄市	122,056	7%
	2023		80,997	5%
5位	2019	浦添市	966,20	5%
	2023	読谷村	76,295	4%

※北谷町発着は除く

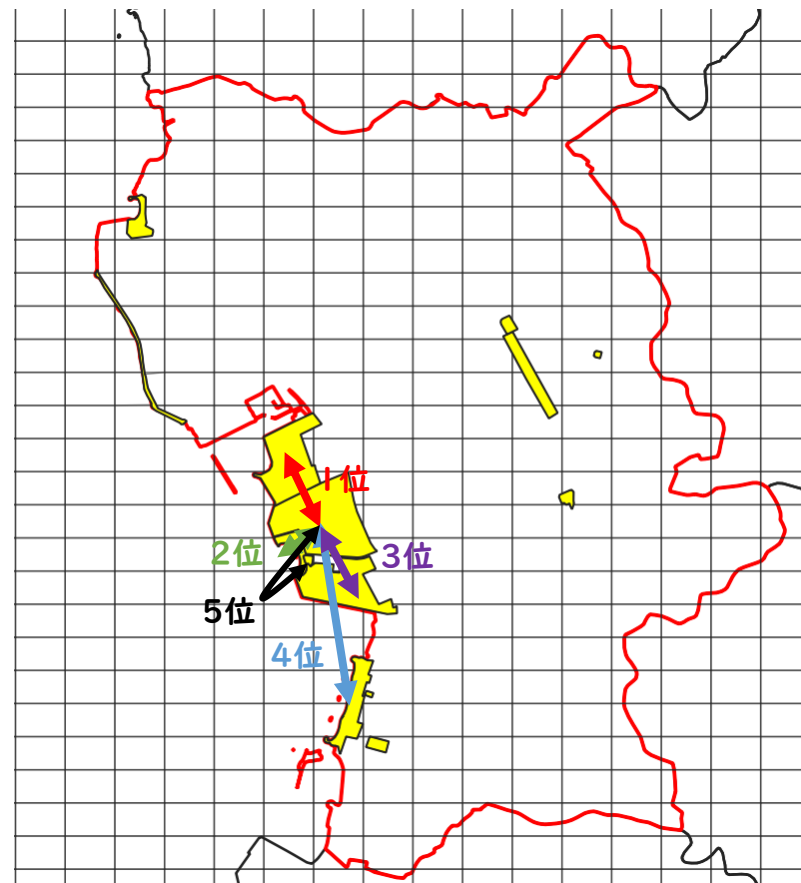


(2) 日帰り客(延べ人数)

4. 周遊状況(2019年)～観光スポットの2地点間移動～

- ▷ 美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の43%。
- ▷ 上位5位までで、全体の84%をカバーしている。

上位10位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄ 北谷フィッシャリーナ	24,221	43%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄ サンセットビーチ	8,513	15%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	6,114	11%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄ アラハビーチ・安良波公園	5,581	10%
5位	美浜アメリカンビレッジ⇄ テルメヴィラちゅらーゆ	2,974	5%
6位	美浜アメリカンビレッジ⇄ サンエーハンビータウン	2,050	4%
7位	北谷フィッシャリーナ⇄ アラハビーチ・安良波公園	1,230	2%
8位	サンエーハンビータウン⇄ アラハビーチ・安良波公園	1,101	2%
9位	サンセットビーチ⇄北谷公園	728	1%
10位	美浜アメリカンビレッジ⇄山手通り	607	1%

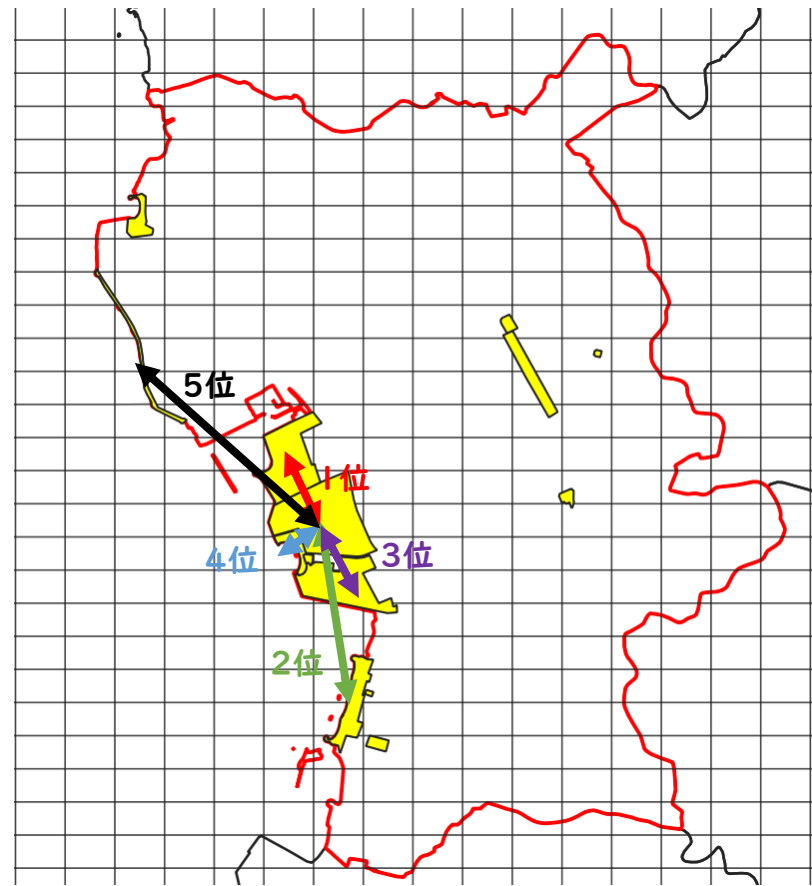


(2) 日帰り客 (延べ人数)

4. 周遊状況(2023年)～観光スポットの2地点間移動～

▷美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の63%。
 ▷上位5位までで、全体の93%をカバーしている。
 ▷上位5位を見ると2023年では、美浜アメリカンビレッジ⇄宮城海岸間の移動が出現。

上位10位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄ 北谷フィッシャリーナ	75,192	63%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄ アラハビーチ・安良波公園	17,162	14%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	10,297	9%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄ サンセットビーチ	6,029	5%
5位	美浜アメリカンビレッジ⇄宮城海岸	1,840	2%
6位	北谷フィッシャリーナ⇄ アラハビーチ・安良波公園	1,675	1%
7位	美浜アメリカンビレッジ⇄ テルメヴィラちゅらーゆ	1,477	1%
8位	美浜アメリカンビレッジ⇄ サンエーハンビータウン	975	1%
9位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	848	1%
10位	美浜アメリカンビレッジ⇄ 砂辺馬場公園・モニュメント	747	1%



(3) 北谷町内宿泊

日本人

1. 居住地・性別

- ▶北谷町内に宿泊した人は、2019年で約70万人から2023年で約58万人と12万人減少。
- ▶うち、県外居住者は、2019年で89%、2023年で95%と増加。
- ▶観光客の男女比は、2019年で男性6割、女性4割、2023年で男性4割、女性6割と逆転。ただし、性別は一部のデータのみ取得が可能のため、注意が必要である。

2019年

【県外居住地ランキング】

2023年

【県外居住地ランキング】

県外居住者 89%
県内居住者 11%

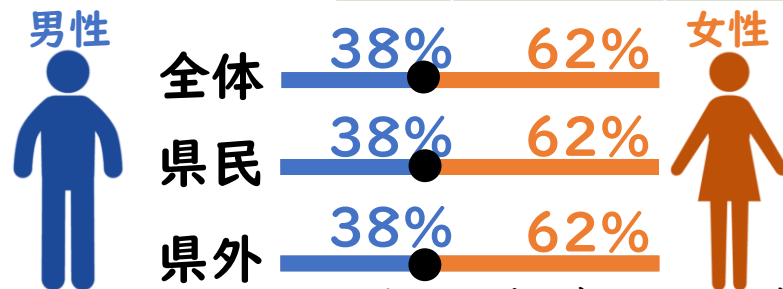
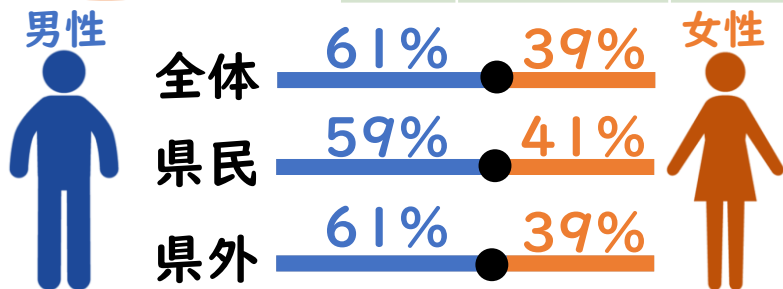
県外居住者 95%
県内居住者 5%

北谷町宿泊者
703,708人
延べ宿泊者
1,108,786人

北谷町宿泊者
575,030人
延べ宿泊者
803,395人

No.	居住地	人数
1	東京都	89,875
2	神奈川県	54,501
3	愛知県	51,861
4	大阪府	44,575
5	埼玉県	42,068

No.	居住地	人数
1	東京都	83,893
2	神奈川県	50,810
3	愛知県	45,545
4	大阪府	41,049
5	埼玉県	33,687

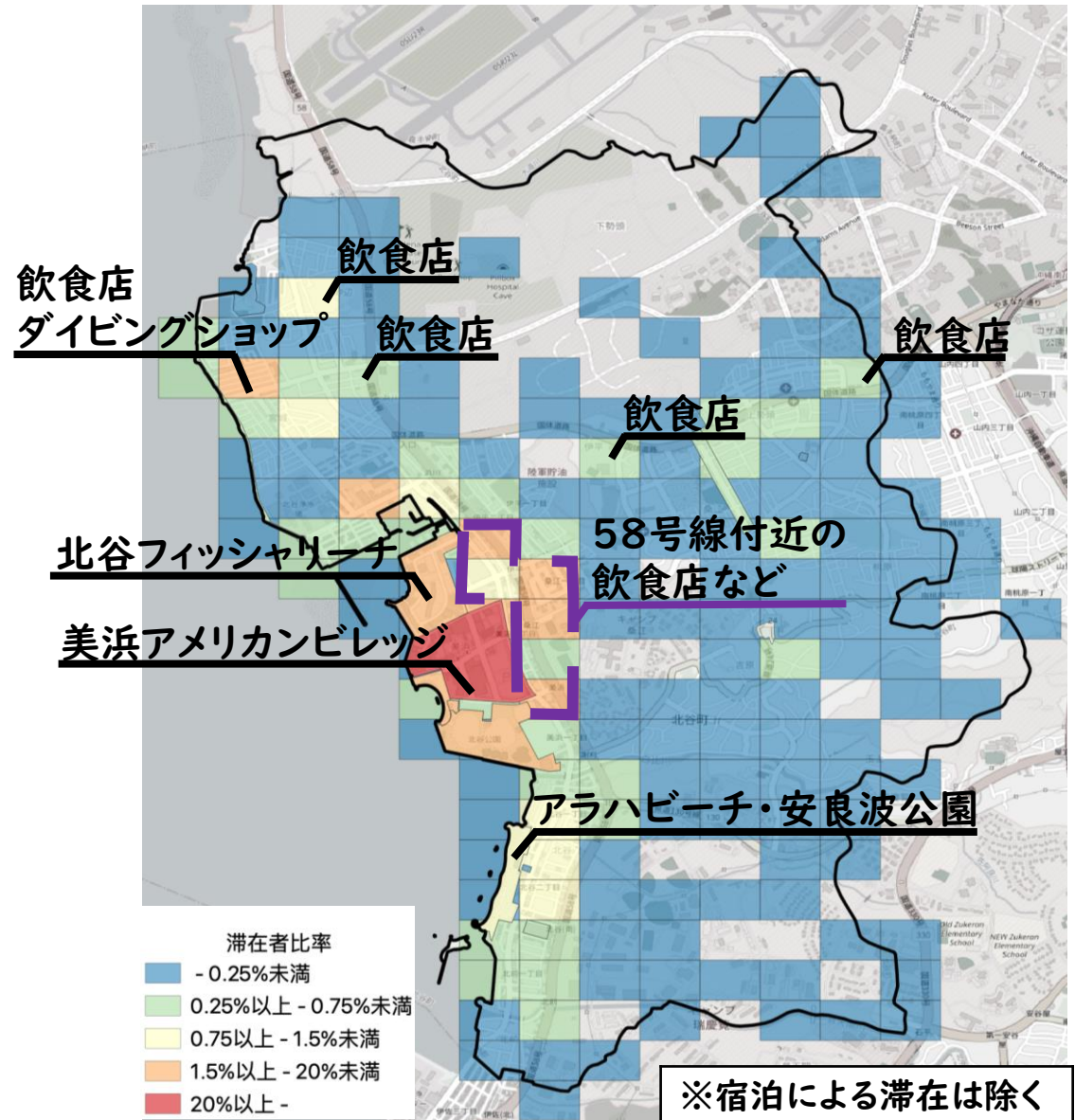


※性別は、取得可能な一部データのみで集計

(3) 北谷町内宿泊(延べ人数)

2. 滞在場所(2019年)

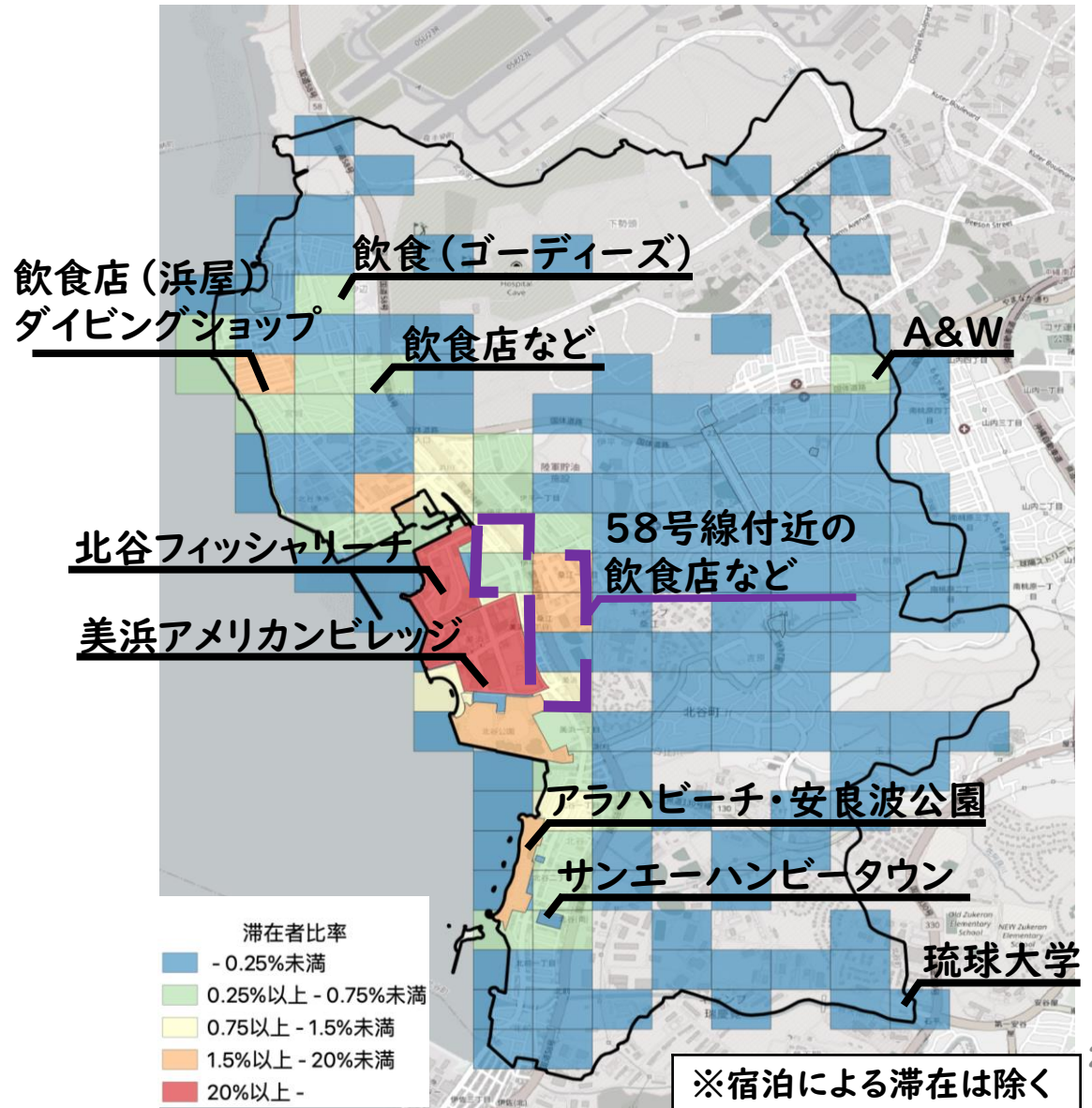
- ▶美浜アメリカンビレッジは、約39万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約33%である。
- ▶北谷フィッシャリーナは、約13万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約11%である。
- ▶58号線付近の飲食店(□部分)は、合計11万人の滞在であり、北谷町滞在延べ人数の約9%である。
- ▶飲食店(例えば浜屋など)やダイビングショップがある宮城海岸周辺のメッシュでは、約3万人の滞在であり、北谷町滞在延べ人数の約2%である。



(3) 北谷町内宿泊(延べ人数)

2. 滞在場所(2023年)

- ▶ 美浜アメリカンビレッジは、約31万人(2019年の0.8倍)の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約40%(2019年+7%)と滞在人数は減少したものの滞在比率は増加した。
- ▶ 北谷フィッシャリーナは、15万人(2019年の1.1倍)の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約20%(2019年+9%)である。
- ▶ レクー沖縄北谷スパ&リゾートが2020年に開業したことにより、北谷フィッシャリーナの滞在人数が増加したと思われる。
- ▶ 58号線付近の飲食店(□部分)は、合計5万人(2019年0.4倍)の滞在であり、北谷町滞在延べ人数の約6%(2019年▲3%)である。

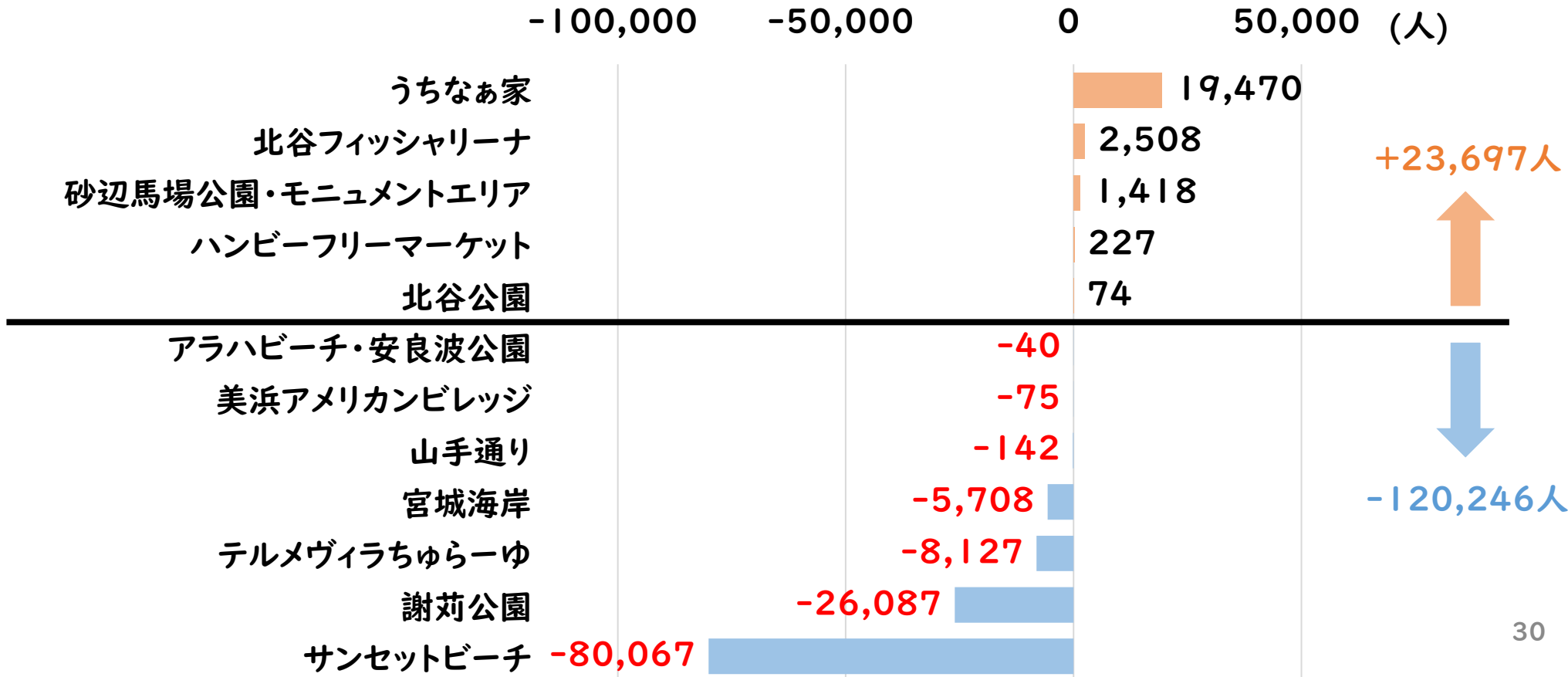


(3) 北谷町内宿泊(延べ人数)

日本人

2. 観光スポットの滞在人数差(2023年-2019年)

- ▶北谷町内観光スポットの滞在時間差(2023年滞在時間と2019年滞在時間の差)を見ると、全体では96,549人減少。
- ▶特にうちなあ家では19,470人増加している。一方で、サンセットビーチでは80,067人減少している。サンセットビーチの工事により、滞在人数が減少したと思われる。

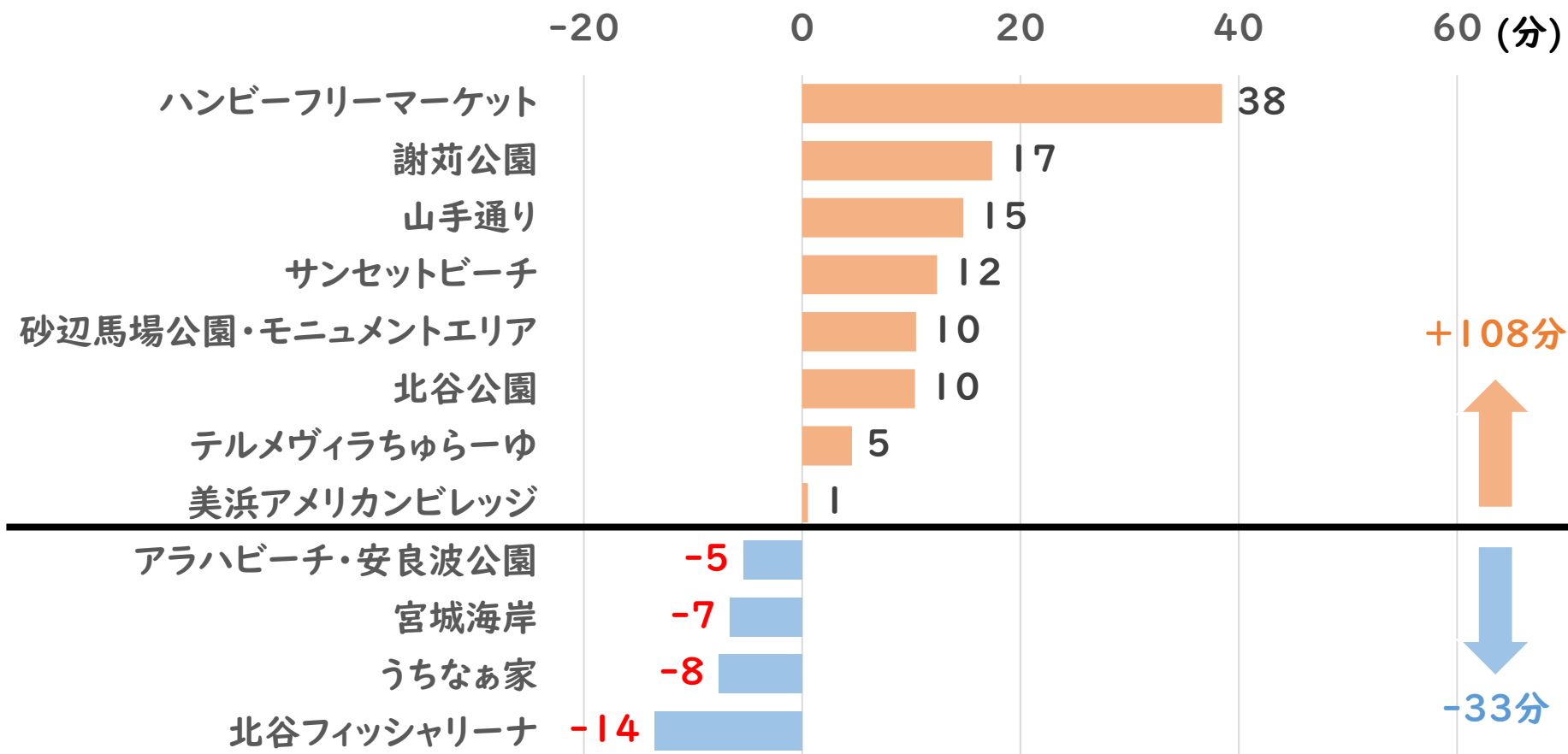


(3) 北谷町内宿泊(延べ人数)

日本人

2. 観光スポットの滞在時間差 (2023年-2019年)

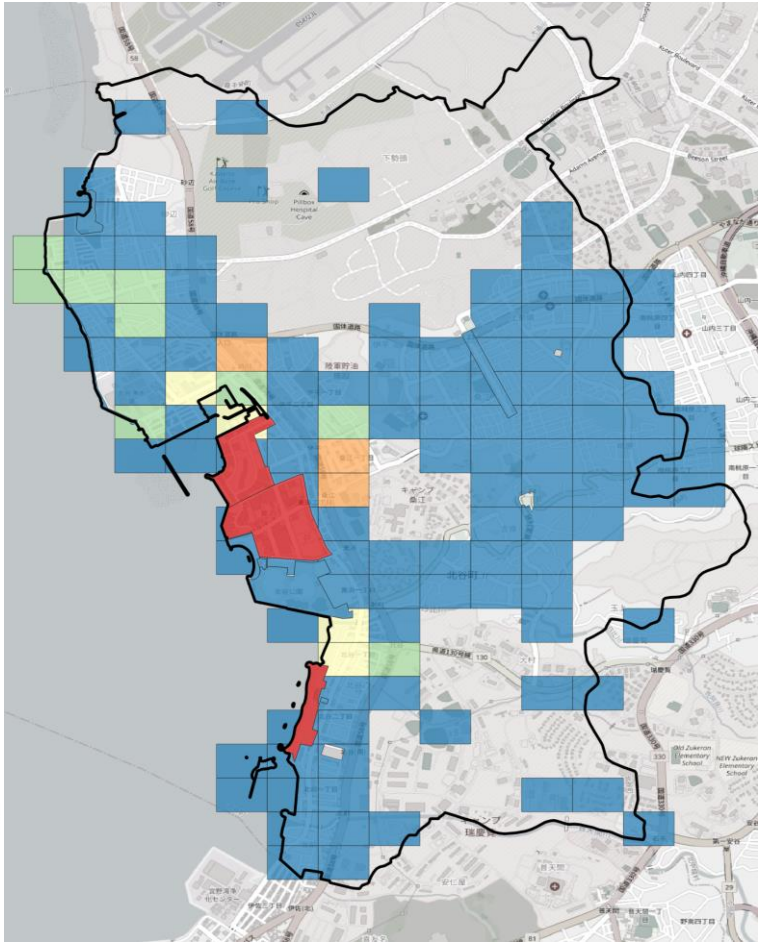
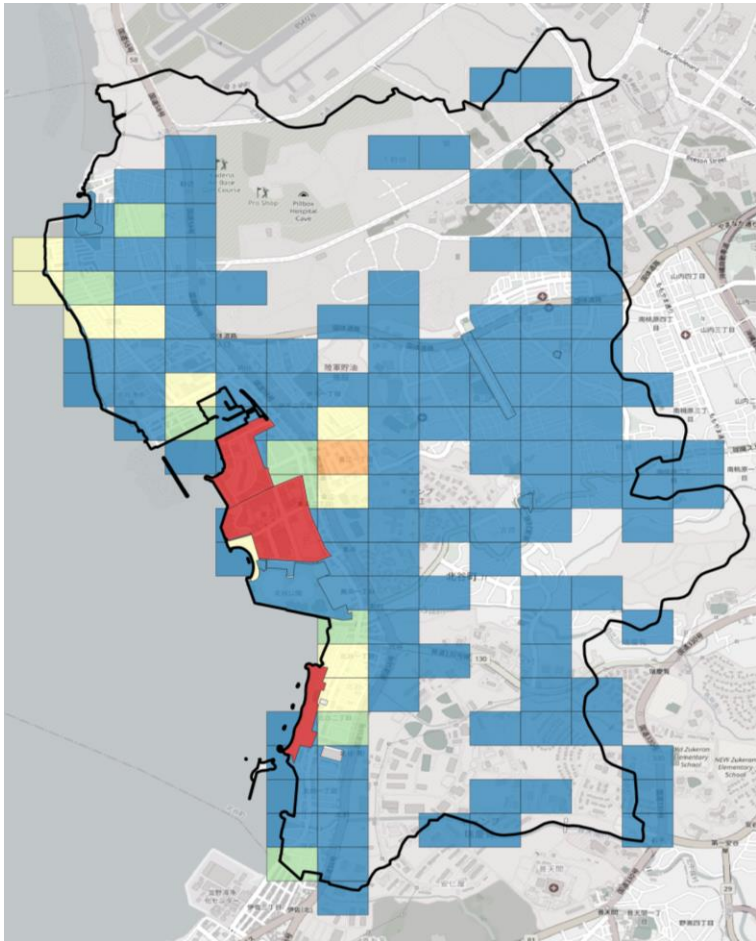
- ▶北谷町内観光スポットの滞在時間差(2023年滞在時間と2019年滞在時間の差)を見ると、全体では75分増加。
- ▶特にハンビーフリーマーケットでは38分増加している。一方で、北谷フィッシャリーナでは14分減少している。



(3) 北谷町内宿泊(延べ人数)

3. 宿泊場所(2019年、2023年)

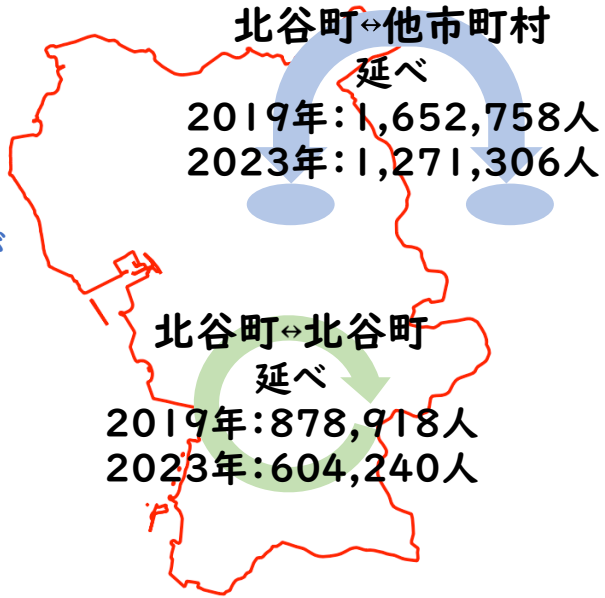
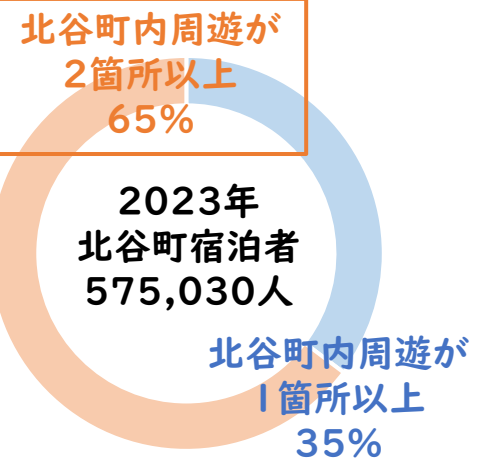
▷2019年、2023年ともの美浜アメリカンビレッジ、北谷フィッシャリーナ、アラハビーチ周辺の宿泊が多く、それぞれ北谷町宿泊者の約10%以上である。



(3) 北谷町内宿泊（延べ人数）

4. 周遊状況～2地点間移動～

▷北谷町内周遊が2箇所以上の比率が2019年、2023年ともに7割程度である。
 ▷2地点間の周遊状況を見ると2019年から2023年で観光スポット⇄他市町村、観光スポット⇄観光スポットの移動が増加し、2023年は、観光スポットへの来訪が多い。



年	周遊	延べ人数	比率
2019	うち、観光スポット⇄他市町村	1,102,549	67%
2023		991,272	78%
2019	うち、観光スポット以外⇄他市町村	550,209	33%
2023		280,034	23%

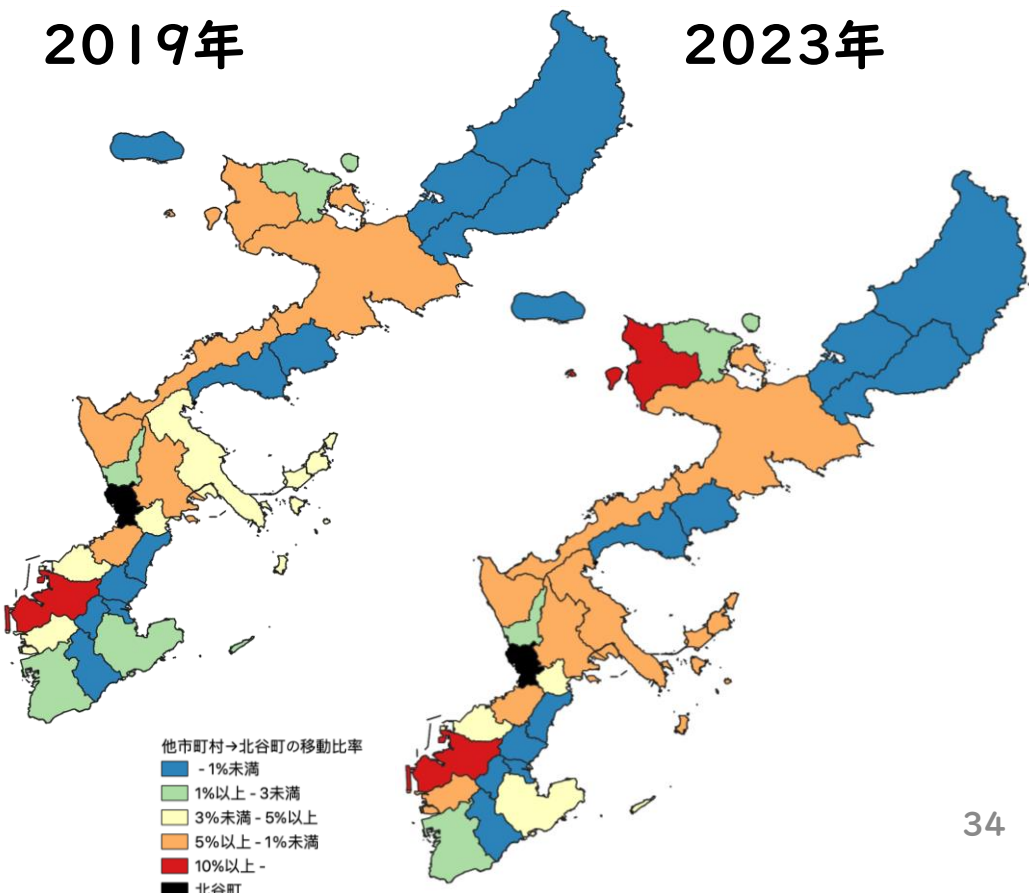
年	周遊	延べ人数	比率
2019	うち、観光スポット⇄観光スポット	274,027	31%
2023		276,281	46%
2019	うち、観光スポット⇄観光スポット以外	370,494	42%
2023		233,337	39%
2019	うち、観光スポット以外⇄観光スポット以外	234,397	27%
2023		94,622	16%

(2) 北谷町内宿泊(延べ人数)

4. 周遊状況～市町村の2地点間移動(北谷町着地)～

▷主に、那覇市、恩納村、宜野湾市、本部町、沖縄市、名護市から北谷町へ訪れる人が多い。
 ▷特に、2019年、2023年ともに、北谷町内に宿泊した人の3割は、那覇市からの流入である。

上位5位	年	他市町村→北谷 (北谷町着地)	延べ人数	比率
1位	2019	那覇市	218,685	26%
	2023		155,413	26%
2位	2019	宜野湾市	63,353	8%
	2023	本部町	63,305	11%
3位	2019	本部町	58,515	7%
	2023	恩納村	41,392	7%
4位	2019	恩納村	56,233	7%
	2023	沖縄市	41,329	7%
5位	2019	沖縄市	50,496	6%
	2023	名護市	34,683	6%



(2) 北谷町内宿泊（延べ人数）

4. 周遊状況～市町村の2地点間移動（北谷町発地）～

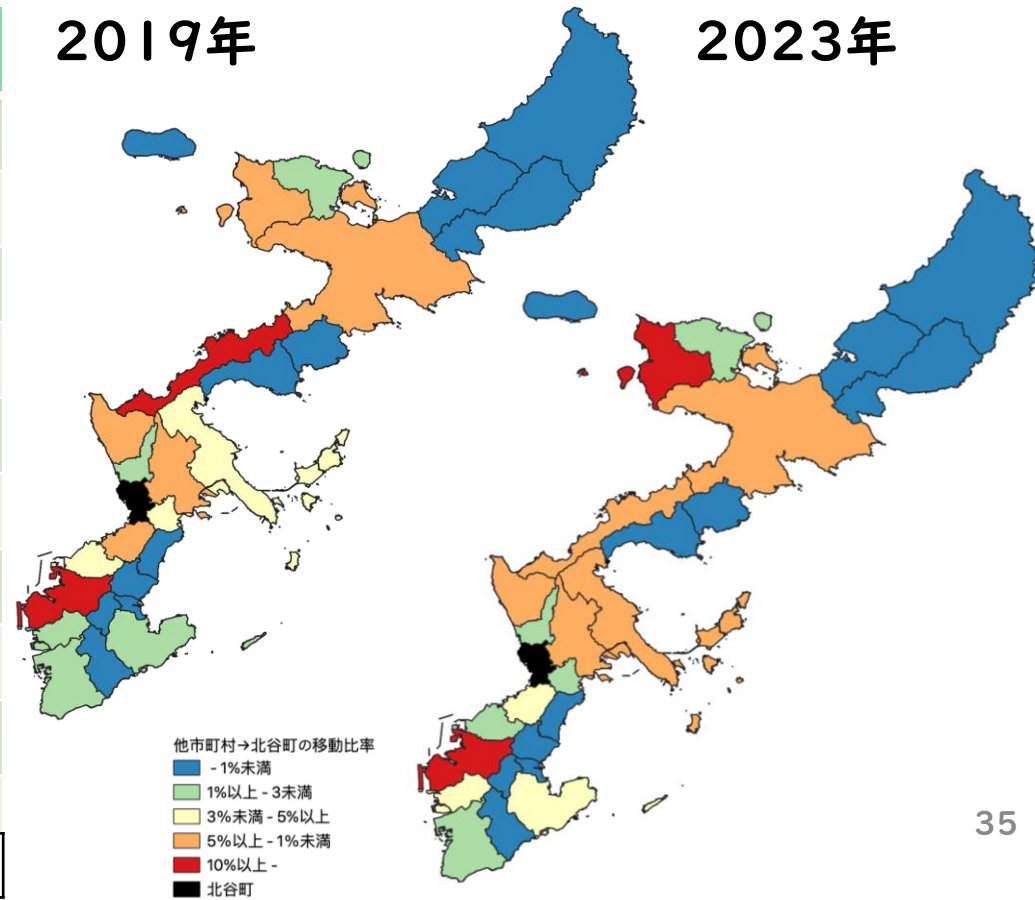
- ▷主に、北谷町から那覇市、恩納村、宜野湾市、沖縄市、読谷村、本部町へ訪れる人が多い。
- ▷特に、2019年、2023年ともに、北谷町内に宿泊した人の約3割がその後那覇市へ向かっている。

上位5位	年	北谷→他市町村 (北谷町発地)	延べ人数	比率
1位	2019	那覇市	250,592	30%
	2023		211,623	33%
2位	2019	恩納村	83,110	10%
	2023	本部町	66,364	10%
3位	2019	本部町	65,438	8%
	2023	恩納村	57,472	9%
4位	2019	読谷村	62,357	8%
	2023	沖縄市	38,275	6%
5位	2019	宜野湾市	62,262	8%
	2023	読谷村	36,277	6%

※北谷町発着は除く

2019年

2023年

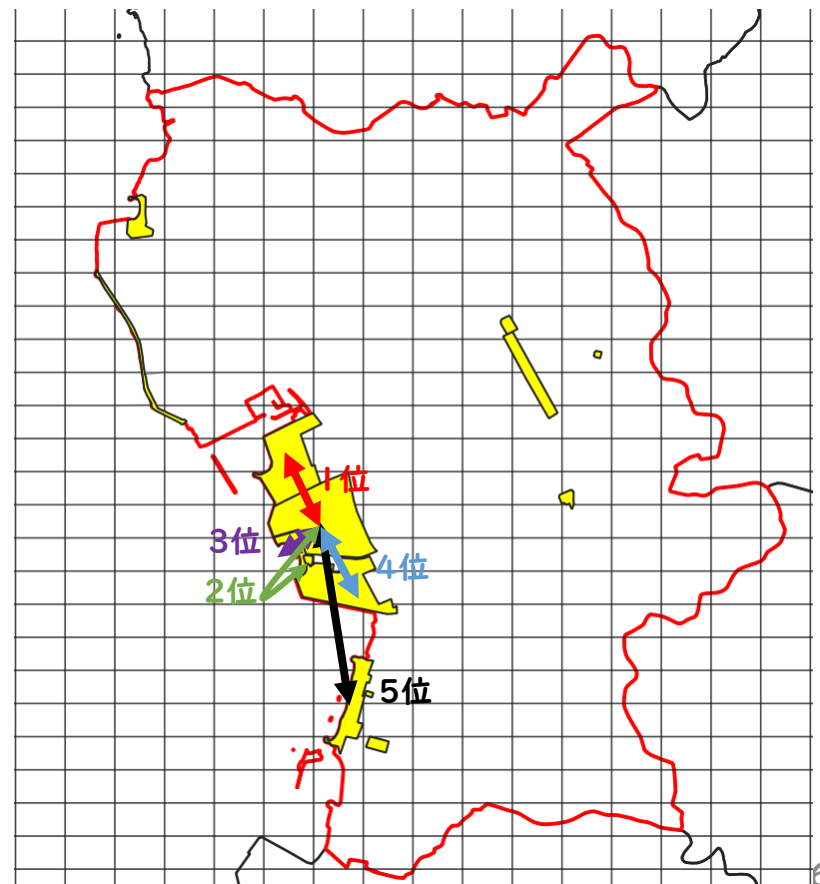


(3) 北谷町内宿泊（延べ人数）

4. 周遊状況（2019年）～観光スポットの2地点間移動～

- ▷ 美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の59%。
- ▷ 上位5位までで、全体の94%をカバーしている。

上位10位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄ 北谷フィッシャリーナ	161,579	59%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄ テルメヴィラちゅらーゆ	45,391	17%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄ サンセットビーチ	28,132	10%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	15,090	6%
5位	美浜アメリカンビレッジ⇄ アラハビーチ・安良波公園	4,481	2%
6位	北谷フィッシャリーナ⇄ テルメヴィラちゅらーゆ	3,401	1%
7位	北谷フィッシャリーナ⇄北谷公園	3,308	1%
8位	北谷フィッシャリーナ⇄ アラハビーチ・安良波公園	2,356	1%
9位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	2,063	1%
10位	美浜アメリカンビレッジ⇄ サンエーハンビータウン	1,846	1%

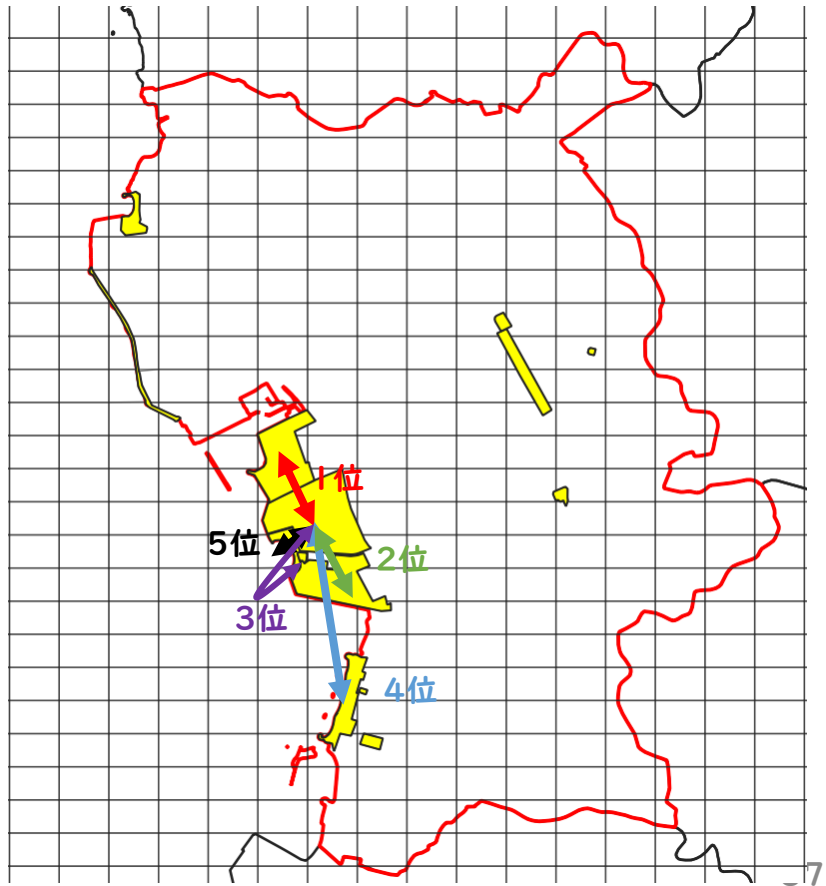


(3) 北谷町内宿泊(延べ人数)

4. 周遊状況(2023年)~観光スポットの2地点間移動~

▷ 上位5位までで、全体の94%をカバーしている。
 ▷ 上位5位を見ると2019年と2023年で出現する移動パターンは変わらず、順位の変動のみである。

上位10位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄ 北谷フィッシャリーナ	217,572	79%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	12,674	5%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄ テルメヴィラちゅらーゆ	10,643	4%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄ アラハビーチ・安良波公園	8,011	3%
5位	美浜アメリカンビレッジ⇄ サンセットビーチ	7,332	3%
6位	北谷フィッシャリーナ⇄北谷公園	6,292	2%
7位	北谷フィッシャリーナ⇄ アラハビーチ・安良波公園	5,133	2%
8位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	1,786	1%
9位	北谷フィッシャリーナ⇄宮城海岸	1,711	1%
10位	北谷フィッシャリーナ⇄ テルメヴィラちゅらーゆ	820	0.3%



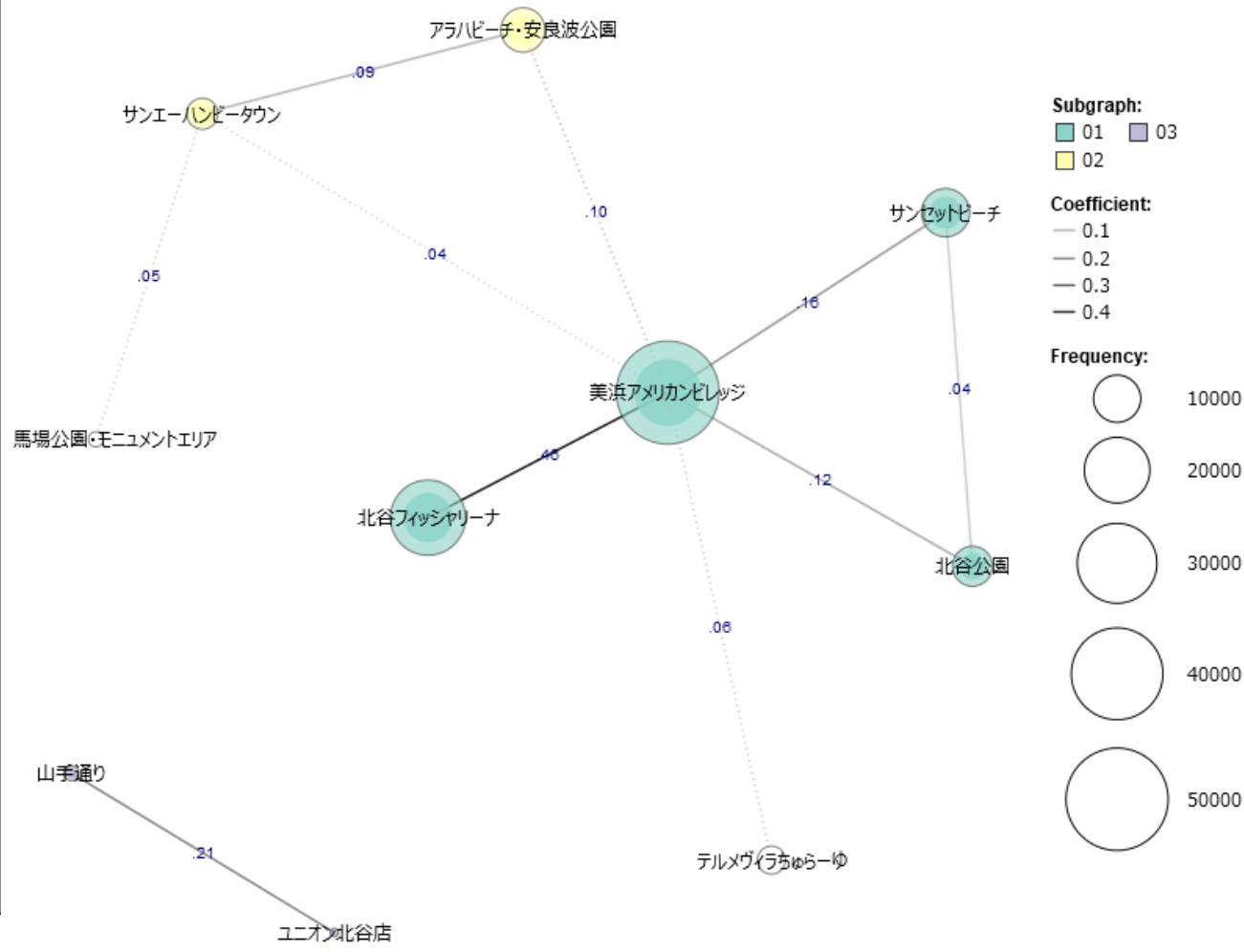
(4) 観光スポット間の周遊状況のグルーピング

1. 周遊状況の分析(2019年非宿泊・他市町村に宿泊者)~共起分析~

▷共起分析によって、観光地間のつながり、グルーピングを行った。

▷円の大きさは入込数、色は周遊のグルーピング、観光地間の実線は同じグルーピング間、点線は違うグルーピング間の結びつきを示しており、色が濃いほど結びつきが強い

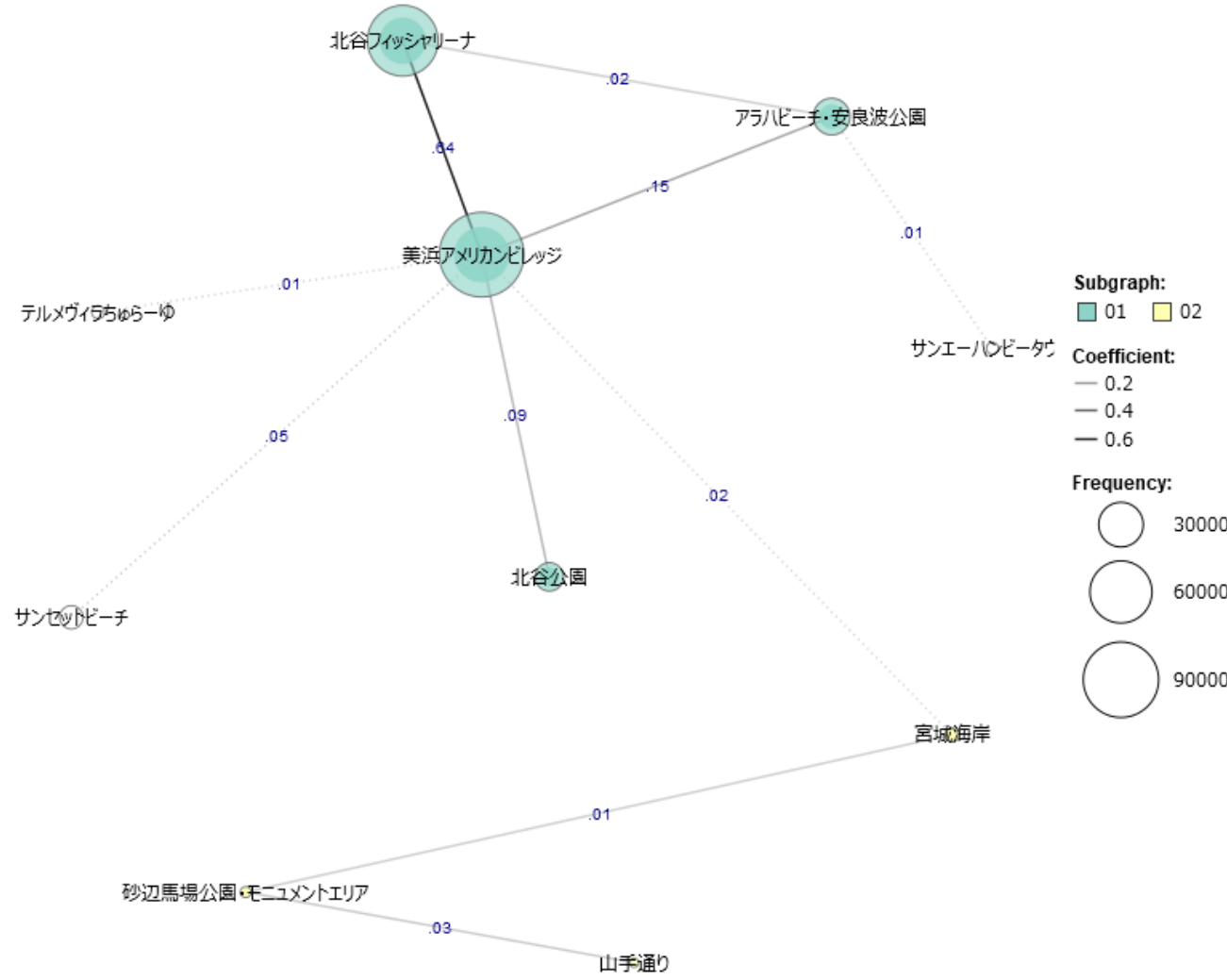
▷3つのグループに分けかれ、1つ目は「美浜アメリカンビレッジ、北谷フィッシャリーナ、サンセットビーチ、北谷公園」、2つ目は「サンエーハンビータウン、アラハビーチ」、3つ目は「山手通り、ユニオン北谷店」が同じグループに分類されている。



(4) 観光スポット間の周遊状況のグルーピング

2. 周遊状況の分析(2023年非宿泊・他市町村に宿泊者)~共起分析~

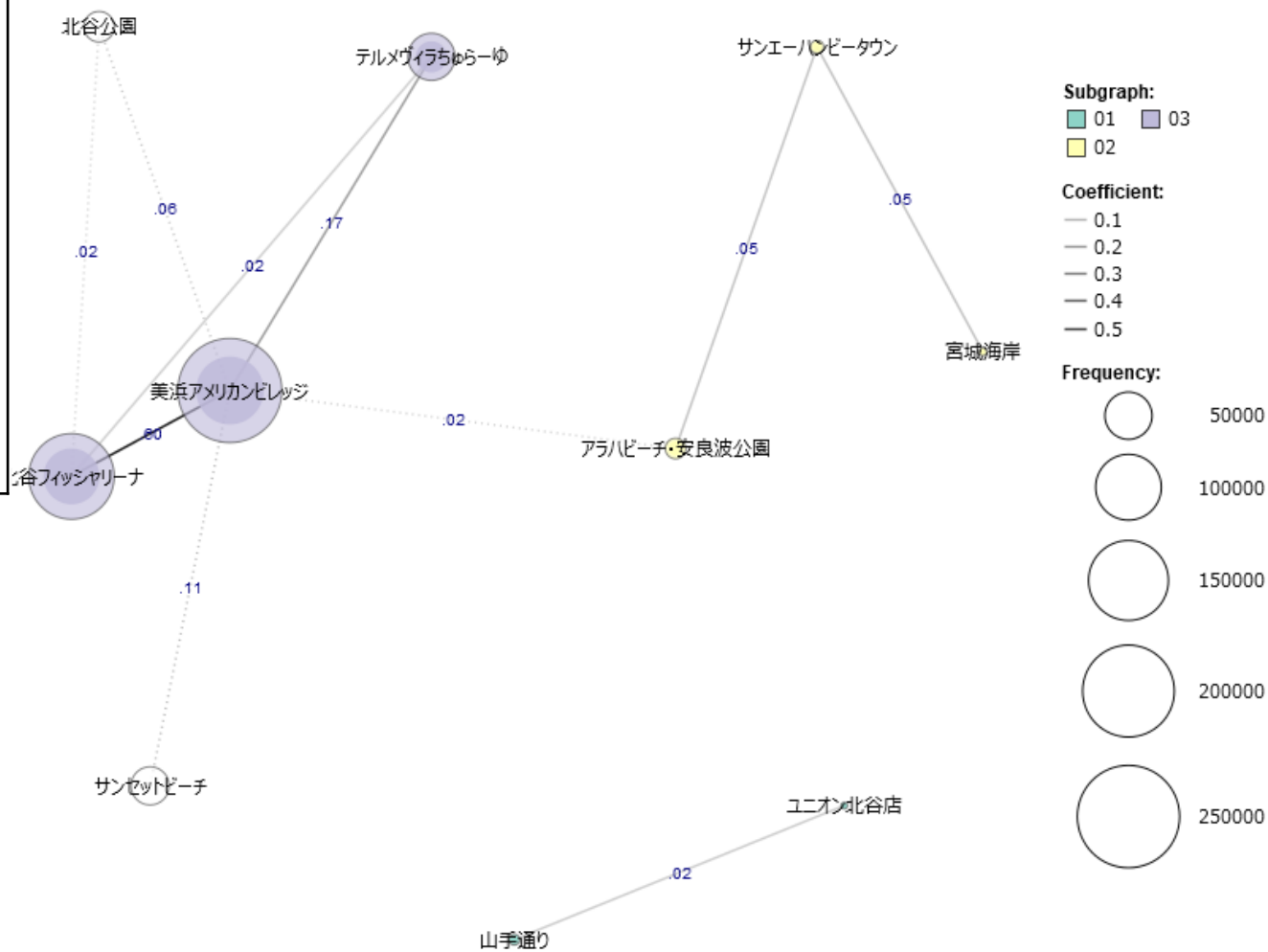
▷2019は3グループだったが、2023年は2つのグループに分けられた。1つ目は「美浜アメリカンビレッジ、北谷フィッシャーリーナ、アラハビーチ、北谷公園」と2019年は、サンセットビーチであったが2023年はアラハビーチへ変わった。2つ目は「宮城海岸、砂辺馬場公園、山手通り」が同じグループに分類されている。



(4) 観光スポット間の周遊状況のグルーピング

3. 周遊状況の分析(2019年北谷町内宿泊者)~共起分析~

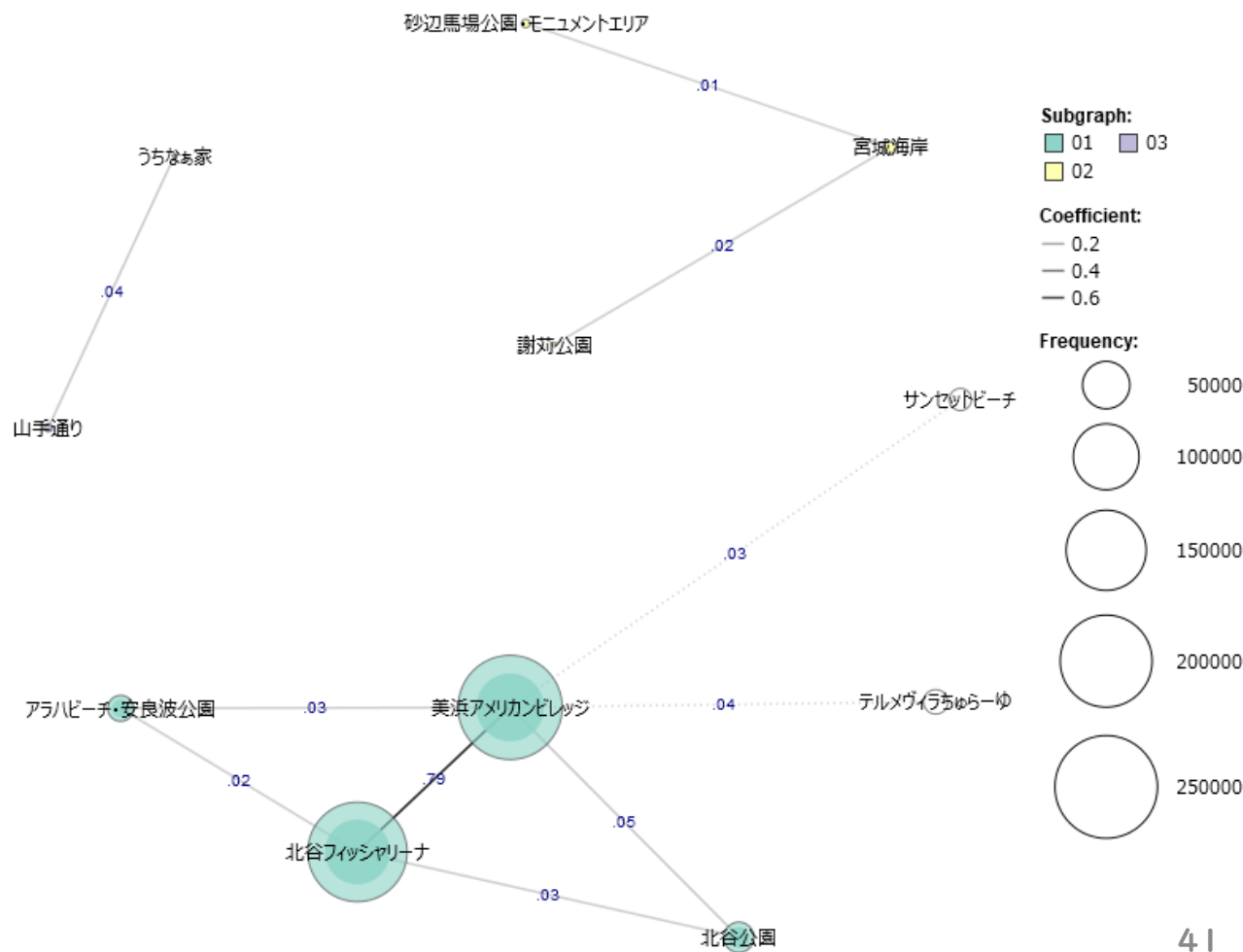
▷3つのグループに分けられ、1つ目は「美浜アメリカンビレッジ、北谷フィッシャリーナ、テルメヴィラちゅらーゆ」、2つ目は「サンエーハンビータウン、アラハビーチ、宮城海岸」、3つ目は「山手通り、ユニオン北谷店」が同じグループに分類されている。



(4) 観光スポット間の周遊状況のグルーピング

4. 周遊状況の分析(2023年北谷町内宿泊者)~共起分析~

▷2019は3グループだったが、2023年も2019年と同様に3つのグループに分けられた。1つ目は「美浜アメリカンビレッジ、北谷フィッシャリーナ、アラハビーチ、北谷公園」と2019年と比べ、北谷公園とアラハビーチが同じグループとなり、2019年では同じグループだったテルメヴィラちゅらゆが同じグループでなくなった。2つ目は「砂辺馬場公園、宮城海岸、謝苺公園」、3つ目は「山手通り、うちなあ家」が同じグループに分類されている。



(5) 花火 (シーポートちやたんカーニバル)

日本人

1. 入り込み人数、滞在時間

▷2023年7月～9月に行われた花火により、2019年と比べ、花火が行われる時間より前に浜川漁港周辺を訪れる人が増加し、それにより平均滞在時間も約60分増加した。

【分析対象日にち】

2023年花火大会	2019年対応日にち
7月21日(金)	7月19日(金)
7月28日(金)	7月26日(金)
8月18日(金)	8月16日(金)
9月8日(金)	9月6日(金)
9月15日(金)	9月13日(金)
9月22日(金)	9月20日(金)
9月29日(金)	9月27日(金)

【集計結果】

7	年	総滞在時間 (分)	滞在人数 (人)	平均滞在時間 (分/人)
20時前に浜川漁港 周辺にきて20時を越 えて滞在した人 (花火が行われる時 間より前に滞在した)	2019年	1,684,169	11,412	148
	2023年	2,054,322	10,532	195
20時台に浜川漁港 周辺に来た人 (花火中、花火後に滞 在した)	2019年	346,906	5,241	66
	2023年	479,972	3,038	158
合計	2019年	2,031,075	16,653	122
	2023年	2,534,294	13,570	187

※花火大会は、8月11日(金)、20日(日)、25日(金)にも行われたが、連休やイベントの開催があったため対象外とした。

※集計対象は、開催場所である浜川漁港周辺のメッシュ
(右図のオレンジ色のメッシュ)を対象としている。



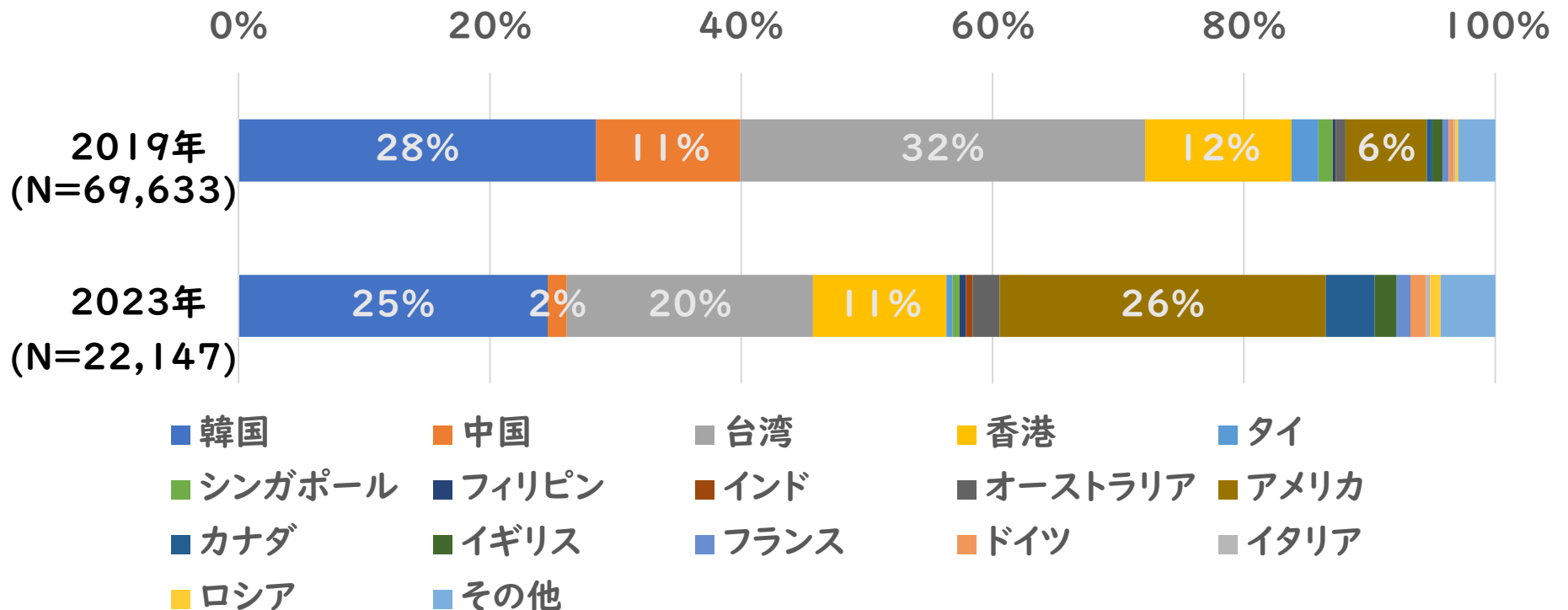
4

訪日外国人に係る調査

(1) 観光客のプロフィール

1. 国籍別

- ▷2019年、2023年ともに韓国からの来訪が約3割ある。
 ▷2023年では、中国、台湾、香港からの来訪が減少し、アメリカからの来訪が、2019年の6%から26%に増加。



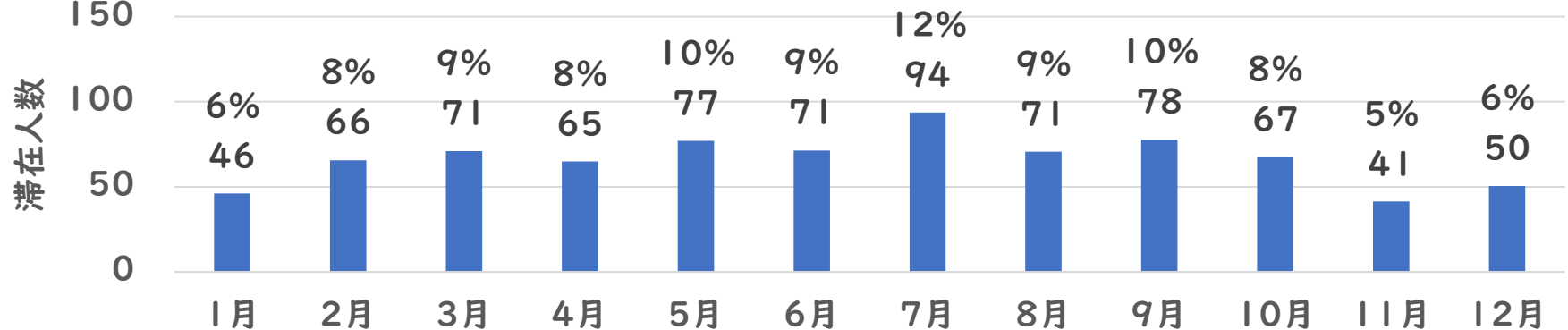
(1) 観光客のプロフィール

2. 月別の来訪観光客数の推移

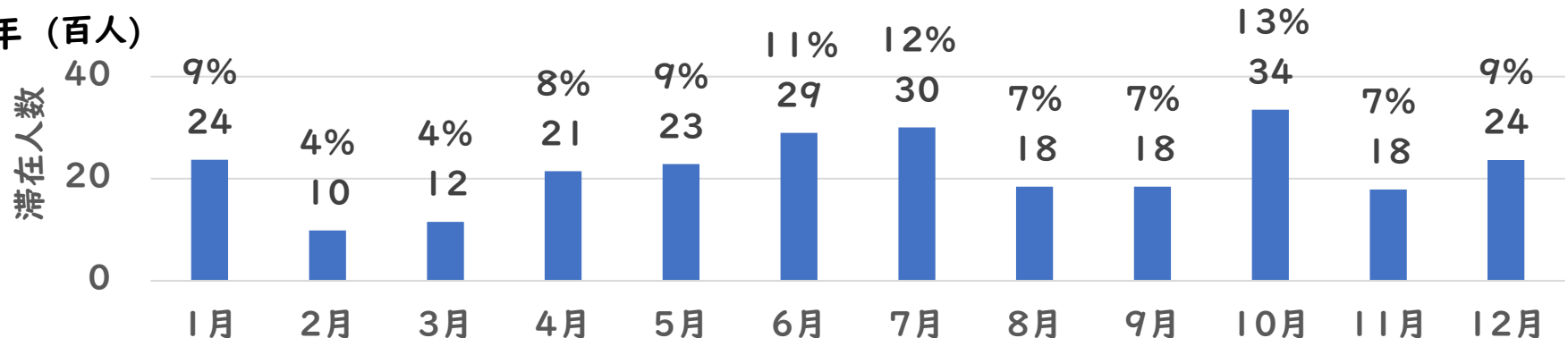
▷2019年は7月が最も高く外国人来訪客の12%である。一方で2023年は10月が最も高く外国人来訪客の13%である。

※上段:月別の滞在人口比率 下段:滞在人数を示している。
 ※秘匿処理の関係などから国籍人口の合計と合わない。

2019年 (百人)



2023年 (百人)

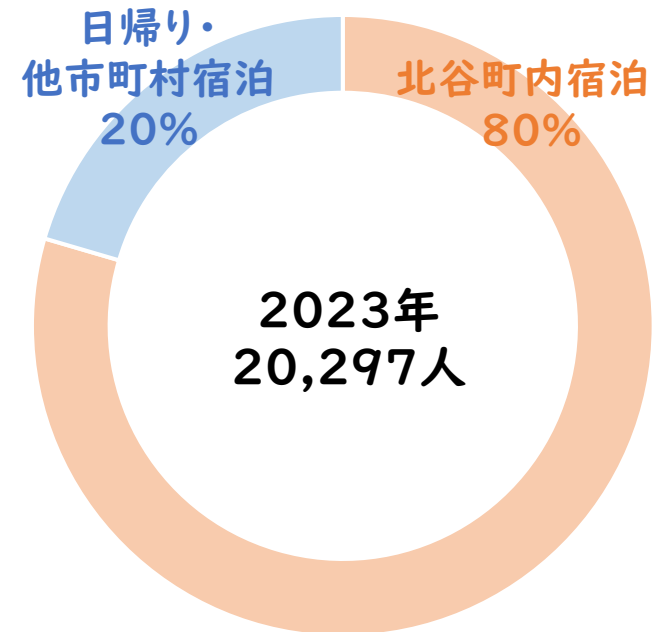
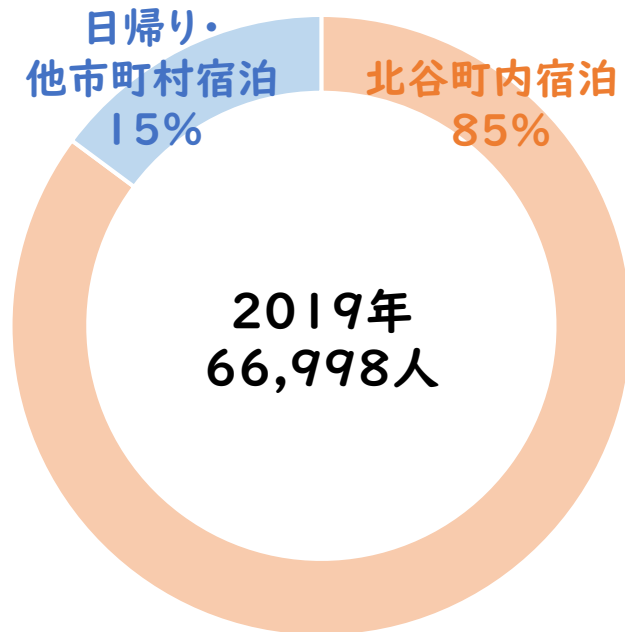


(1) 観光客のプロフィール

2. 月別の来訪観光客数の推移

▷北谷町内宿泊は、2019年、2023年ともに8割以上である。

- ※北谷町内宿泊者とは、23時から翌日6時に北谷町内に観測された人数
- ※日帰り・他都市圏宿泊とは、10時から18時に北谷町内に観測された人数から北谷町内宿泊者を引いた人数
- ※秘匿処理の関係などから国籍人口の合計と合わない。



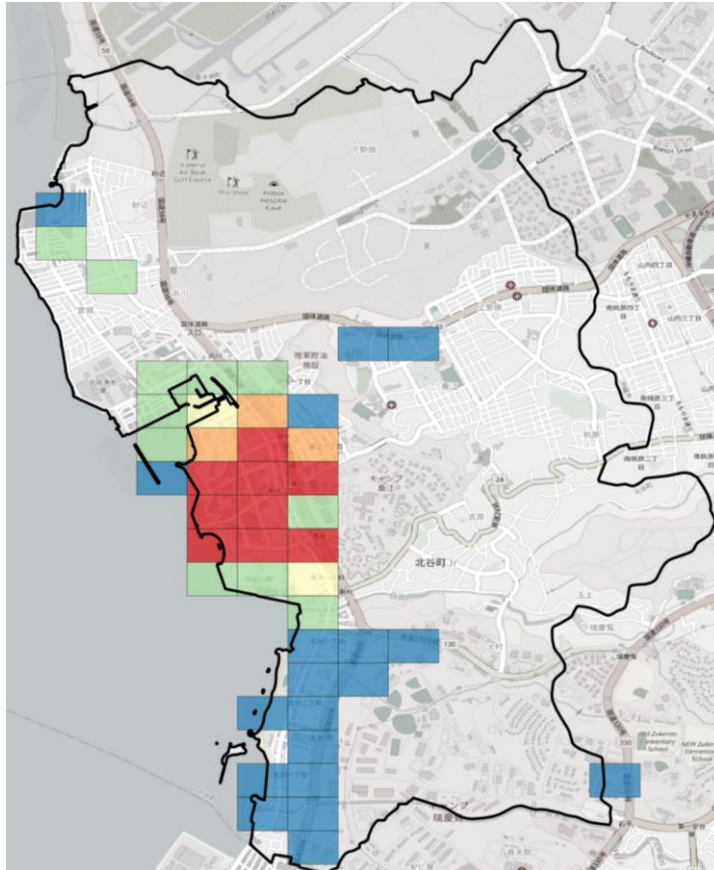
(2) 滞在場所

1. 滞在場所～韓国～

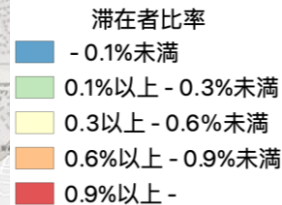
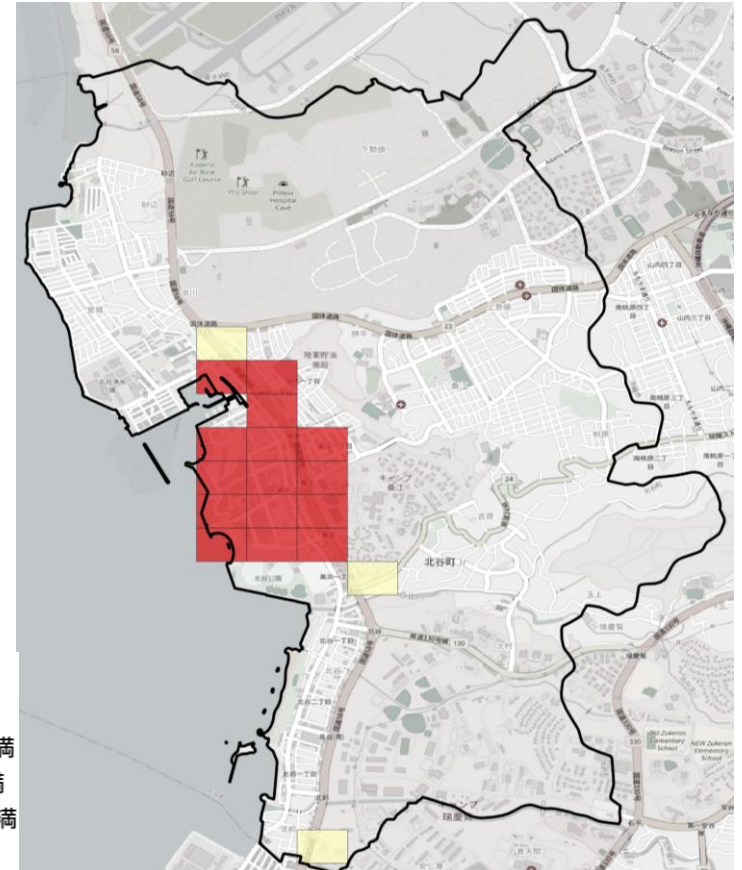
- ▷2019年、2023年ともの美浜アメリカンビレッジが最も高い。
- ▷2019年は、美浜アメリカンビレッジ以外にアラハビーチなどの滞在があるが、2023は、美浜アメリカンビレッジ周辺のみである。

※10時から18時に北谷町内に観測された人数を集計

2019年



2023年

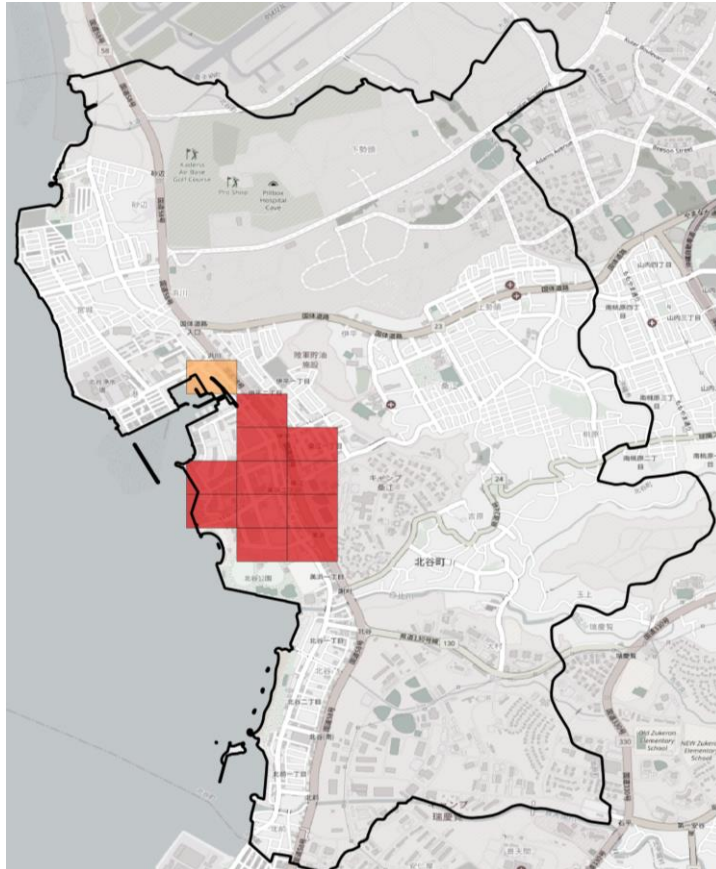


(2) 滞在場所

1. 滞在場所～中国～

▷2019年は美浜アメリカンビレッジ周辺の滞在のみである。

2019年



※10時から18時に北谷町内に観測された人数を集計

2023年

※秘匿処理の関係などから
データ出現なし

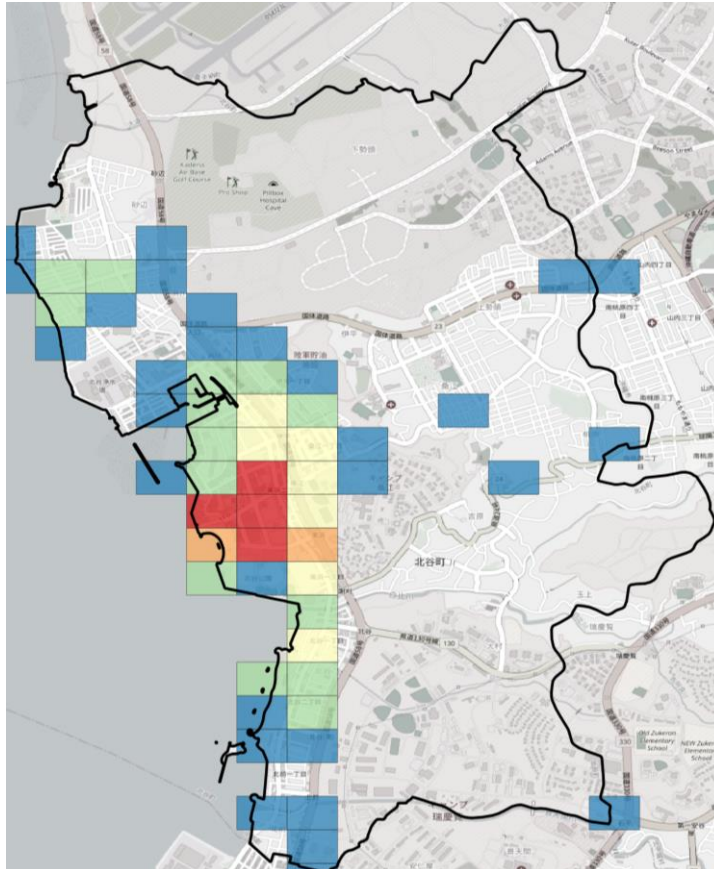
(2) 滞在場所

1. 滞在場所～台湾～

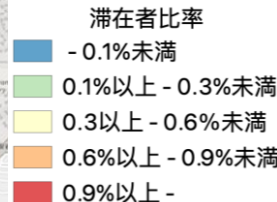
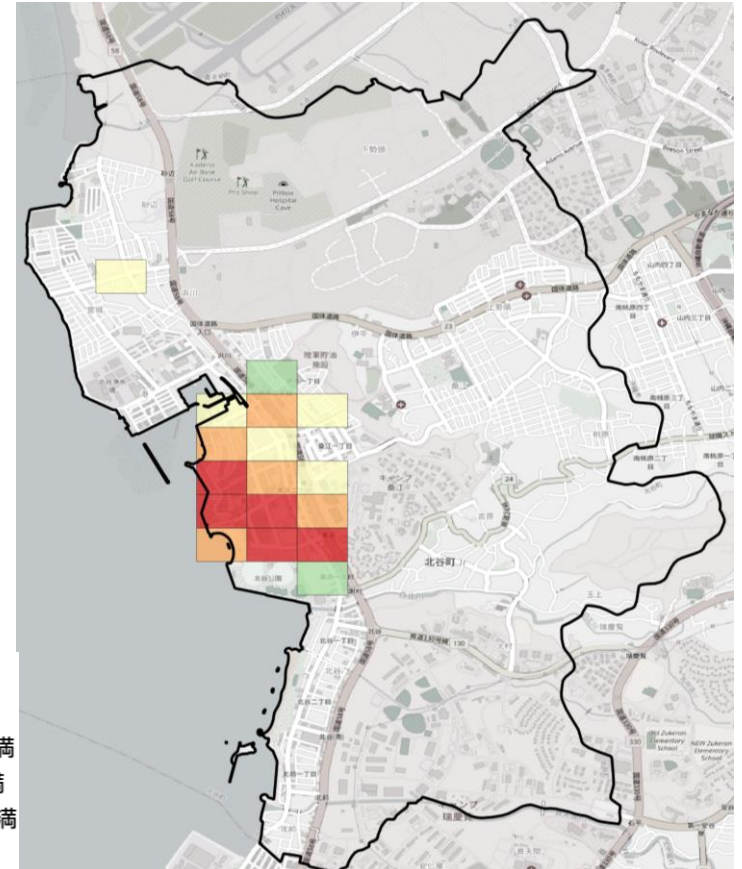
- ▷2019年、2023年ともの美浜アメリカンビレッジが最も高い。
- ▷2019年は、美浜アメリカンビレッジ以外にアラハビーチや宮城海岸周辺などの滞在があるが、2023は、美浜アメリカンビレッジ周辺のみである。

※10時から18時に北谷町内に観測された人数を集計

2019年



2023年



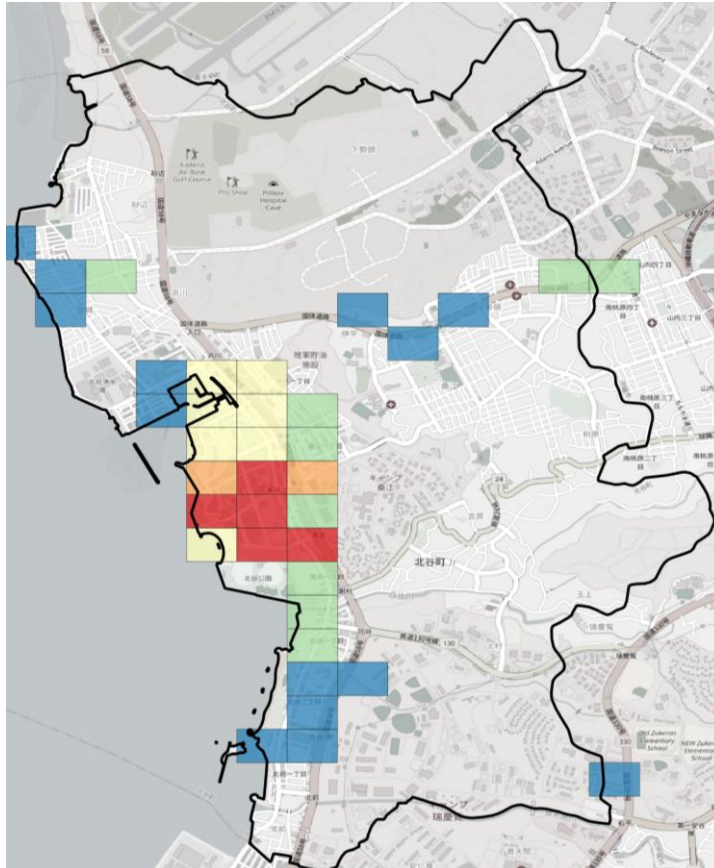
(2) 滞在場所

1. 滞在場所～香港～

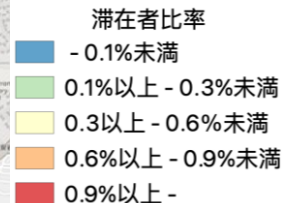
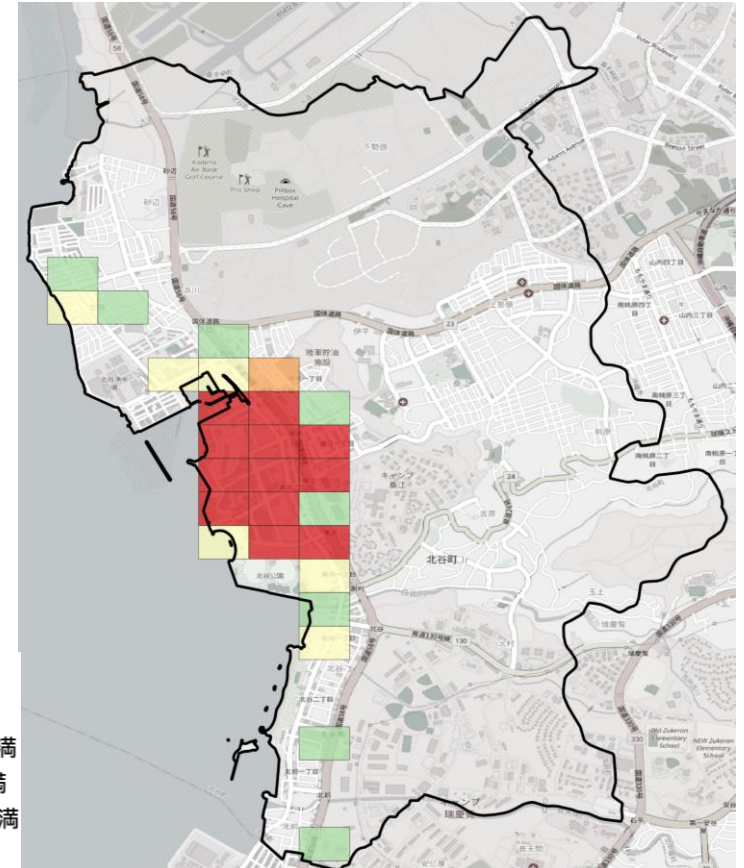
- ▷2019年、2023年ともの美浜アメリカンビレッジが最も高い。
- ▷2019年は、美浜アメリカンビレッジ以外にアラハビーチやA&Wがあるメッシュなどの滞在があるが、2023は、美浜アメリカンビレッジ周辺のみである。

※10時から18時に北谷町内に観測された人数を集計

2019年



2023年

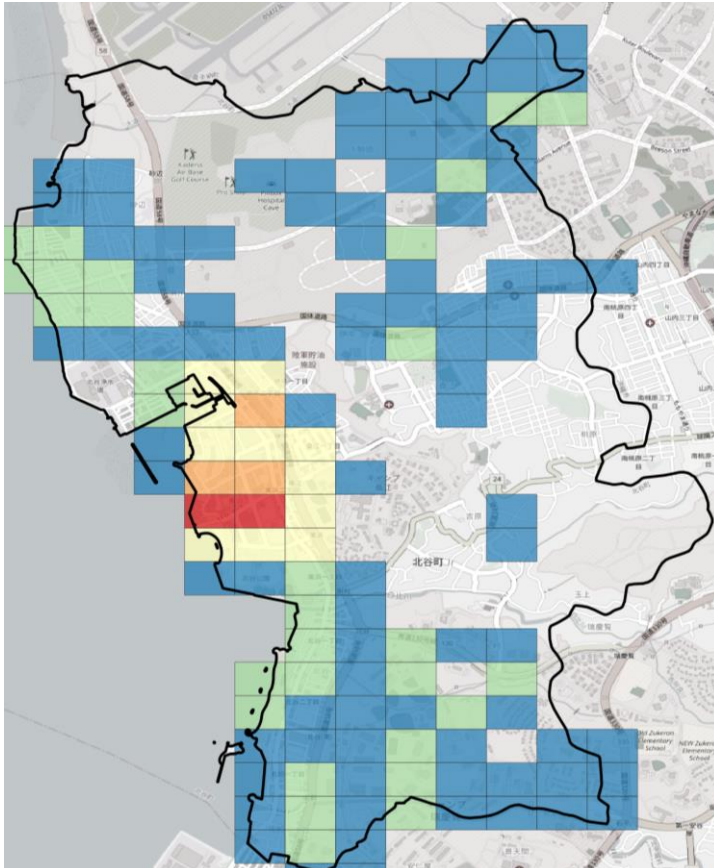


(2) 滞在場所

1. 滞在場所～アメリカ～

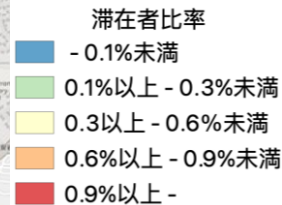
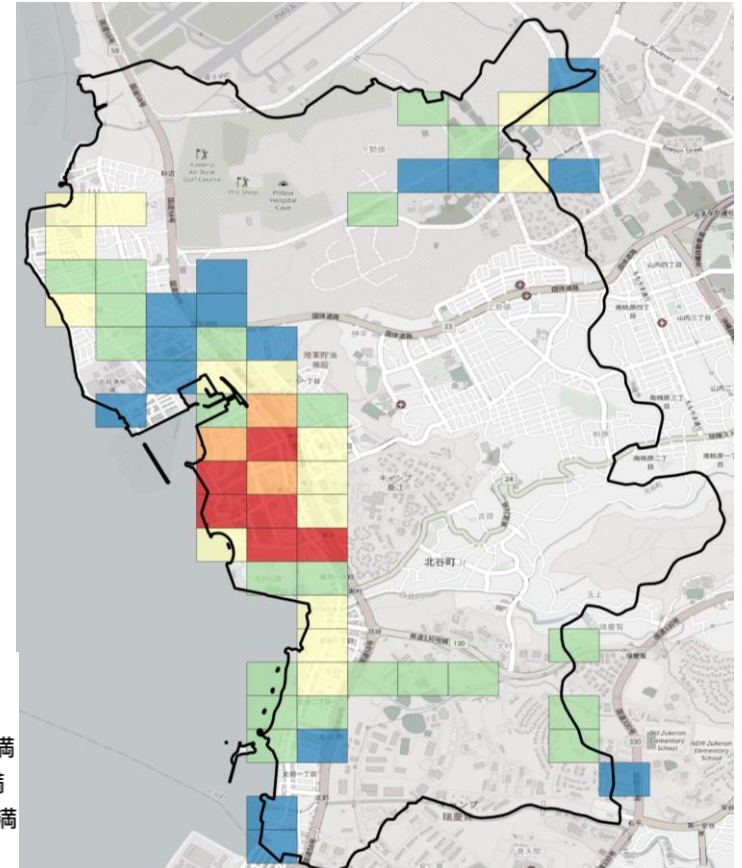
- ▷2019年、2023年ともの美浜アメリカンビレッジが最も高い。
- ▷2019年は、美浜アメリカンビレッジ以外に幅広く滞在があるが、2023は、主に2019年に滞在が高かった場所のみに滞在がある。

2019年



※10時から18時に北谷町内に観測された人数を集計

2023年

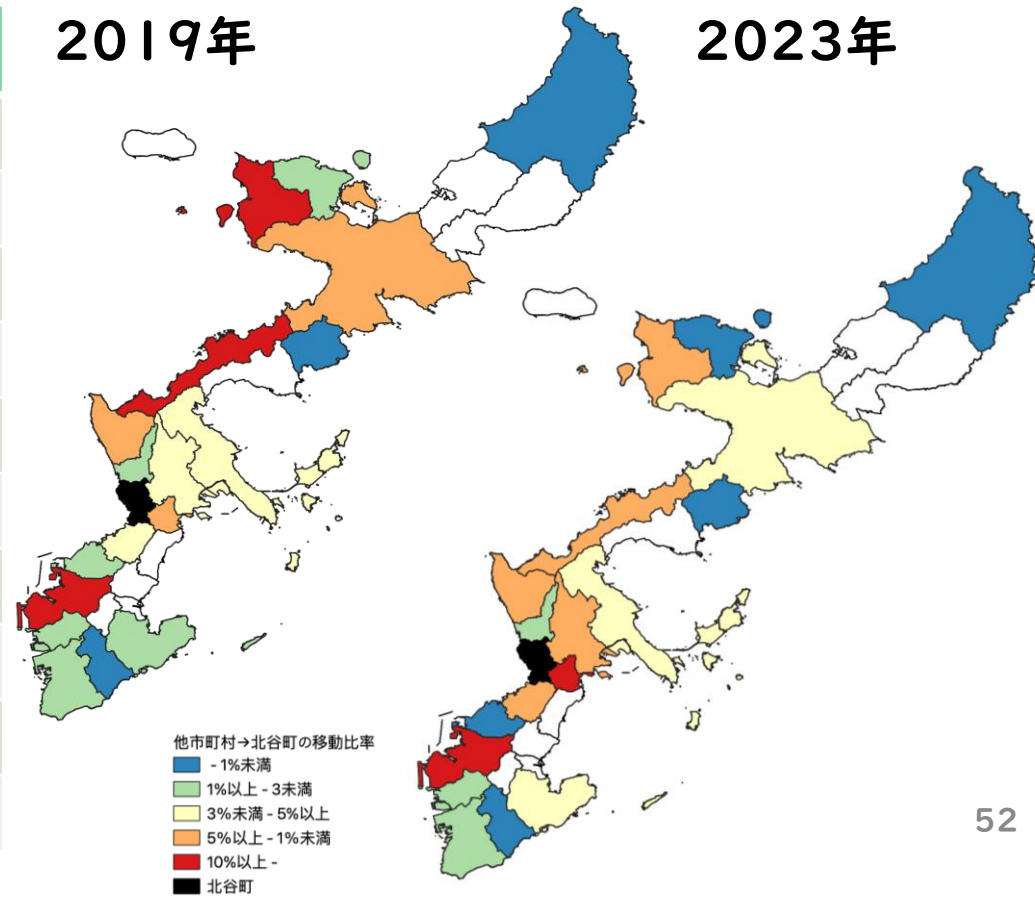


(3) 市町村間移動

1. 周遊状況～市町村の2地点間移動(北谷町着地)～

- ▷主に、那覇市、恩納村、宜野湾市、北中城村、読谷村、本部町、名護市から北谷町へ訪れる人が多い。
- ▷特に、2019年、2023年ともに、北谷町を訪れた人の約3割が那覇市から北谷町へ来ている。

上位5位	年	他市町村→北谷 (北谷町着地)	延べ人数	比率
1位	2019	那覇市	19,474	29%
	2023		5,484	30%
2位	2019	本部町	9,691	14%
	2023	北中城村	2,261	12%
3位	2019	恩納村	8,660	13%
	2023	本部町	1,799	10%
4位	2019	北中城村	5,102	8%
	2023	宜野湾市	1,591	9%
5位	2019	名護市	4,545	7%
	2023	読谷村	1,580	9%

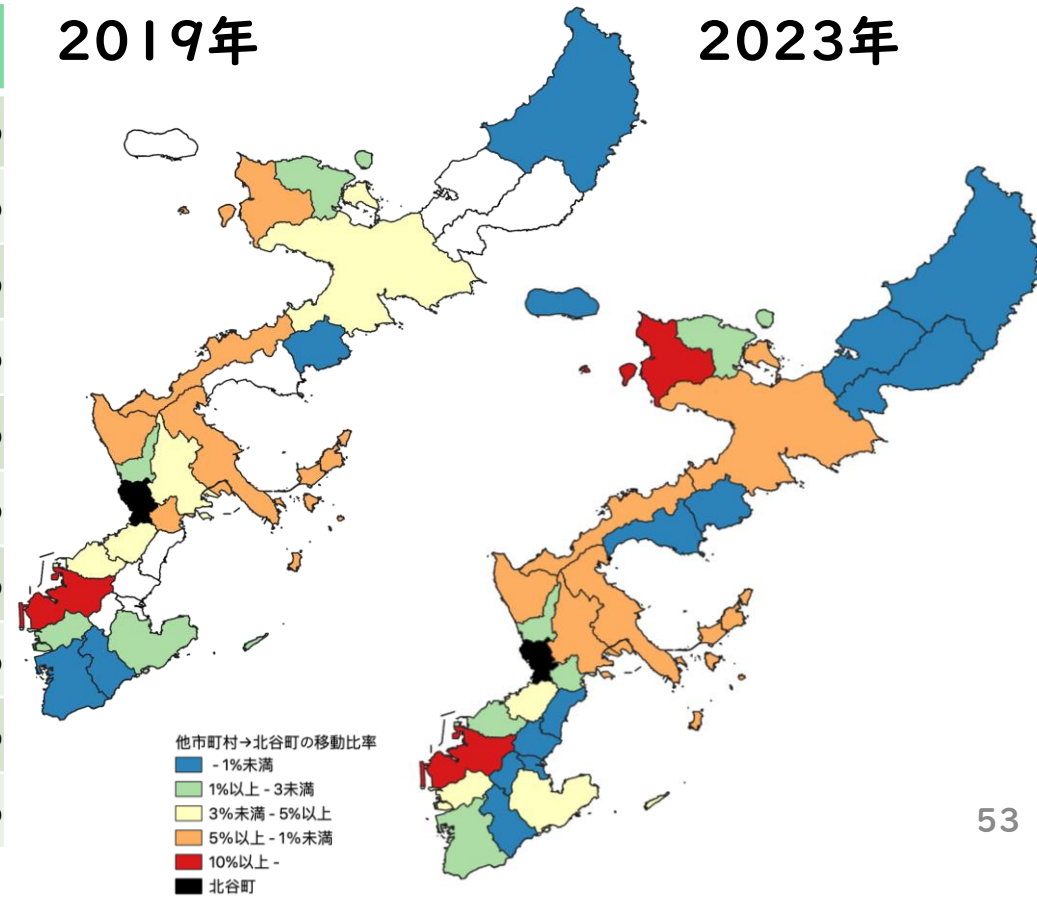


(3) 市町村間移動

2. 周遊状況～市町村の2地点間移動（北谷町発地）～

- ▷主に、北谷町から那覇市、恩納村、宜野湾市、沖縄市、読谷村、本部町、北中城村へ訪れる人が多い。
- ▷特に、2019年、2023年ともに、北谷町を訪れた人の約4割がその後那覇市へ向かっている

上位5位	年	北谷→他市町村 (北谷町発地)	延べ人数	比率
1位	2019	那覇市	29,767	41%
	2023		6,952	38%
2位	2019	恩納村	7,015	10%
	2023	沖縄市	1,991	11%
3位	2019	本部町	5,541	8%
	2023	北中城村	1,829	10%
4位	2019	北中城村	4,512	6%
	2023	宜野湾市	1,773	10%
5位	2019	読谷村	4,421	6%
	2023	恩納村	1,704	9%

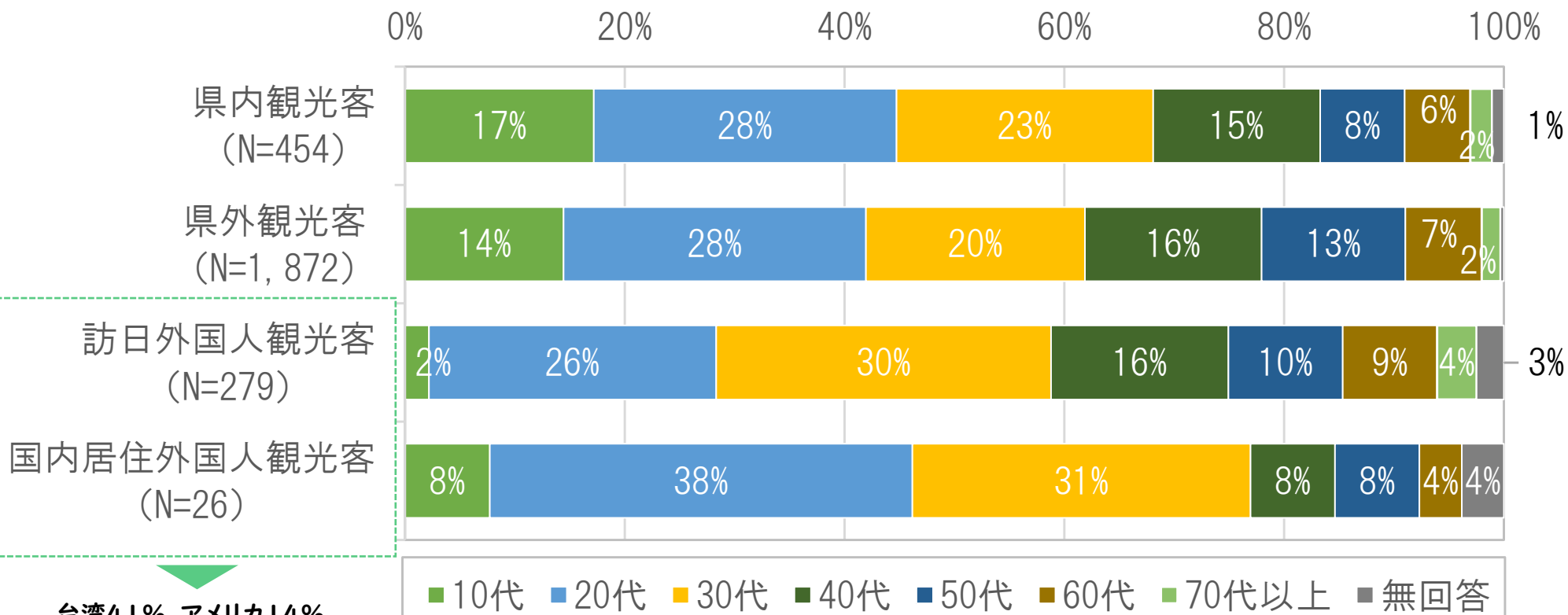


観光客満足度・消費動向調査

(1) 町内観光客の属性

1.年代

- ▷ 県内、県外、外国人観光客ともに10～30代までの年齢層で半数以上を占める。
- ▷ 令和4年度観光統計実態調査報告書(沖縄県)では、県内全域における県外観光客の年齢構成は、10～30代で約41%であり、今回の調査結果は約62%であることから、相対的に若年層の割合が高い。

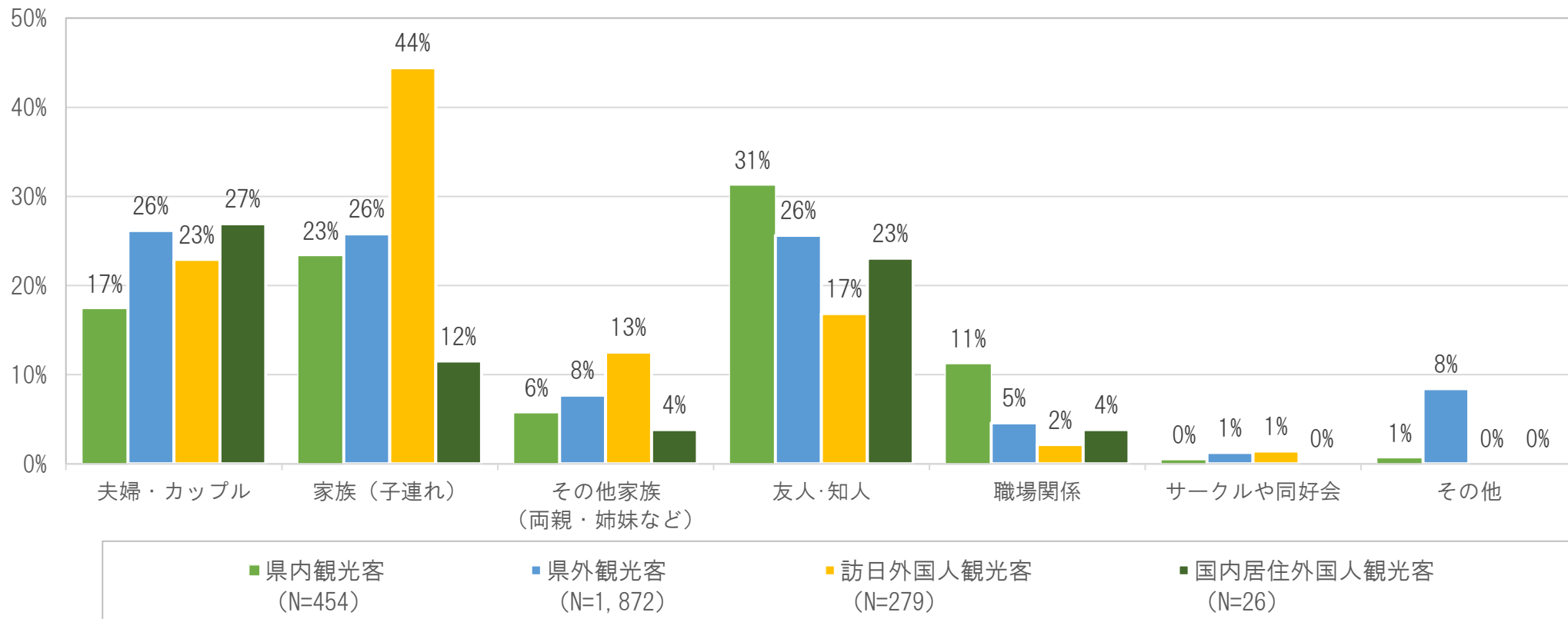


台湾41%、アメリカ14%、
香港12%、韓国12%、中国9%
と東アジア、アメリカで9割

(1) 町内観光客の属性

2. 同行者

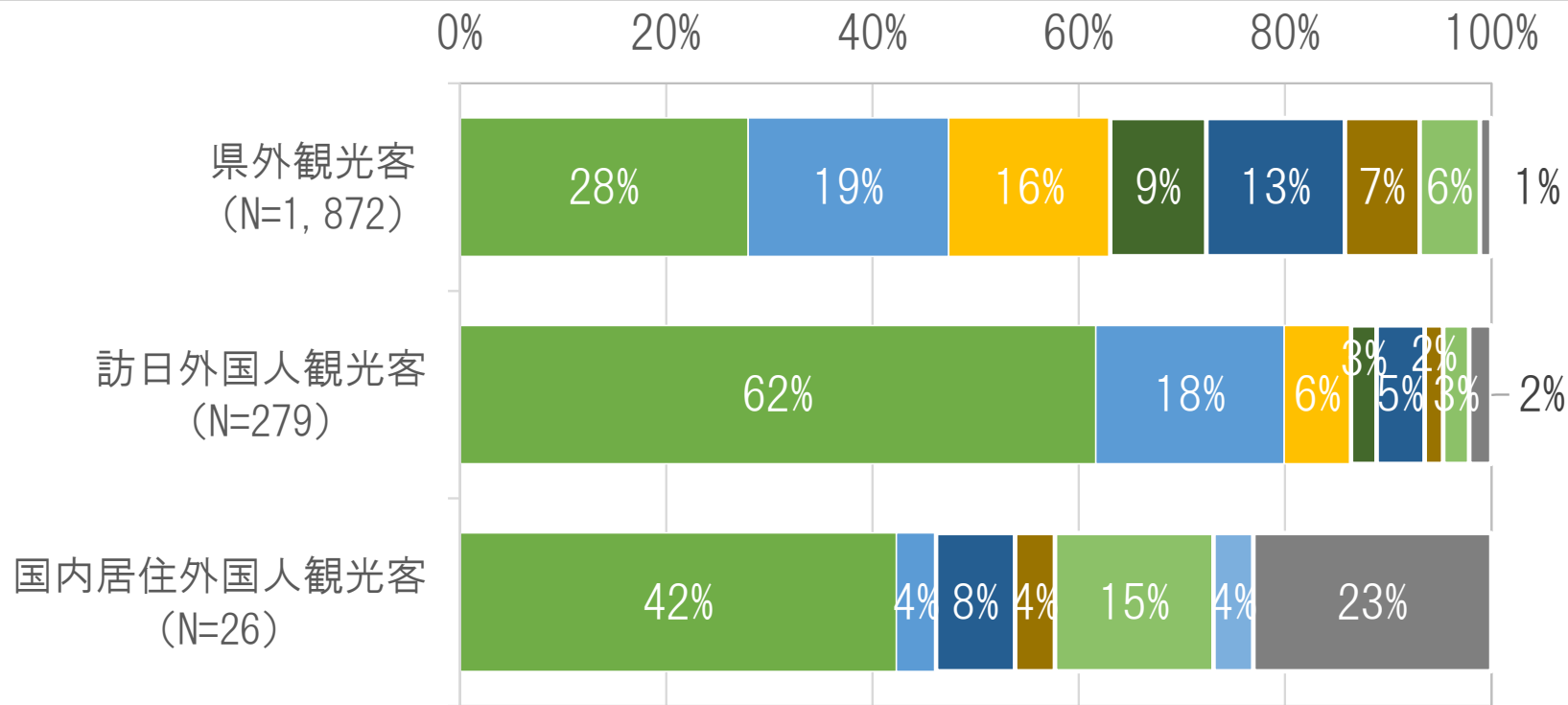
- ▷ 県内観光客は「友人・知人」、県外観光客は「夫婦・カップル」、「家族（子連れ）」、「友人・知人」が約26%と多様な同行者構成となっている。
- ▷ 訪日外国人観光客は「家族（子連れ）」が最も割合が高い。



(1) 町内観光客の属性

3. 訪問回数

- ▷ 県外観光客は3割が初めての訪問となっており、7割程度がリピーターとなっている。
- ▷ 訪日外国人観光客は6割が初めての訪問だが、リピーターも3割程度いるなど一定数存在する。
- ▷ 国内居住外国人観光客は4割が初めての訪問となっている。

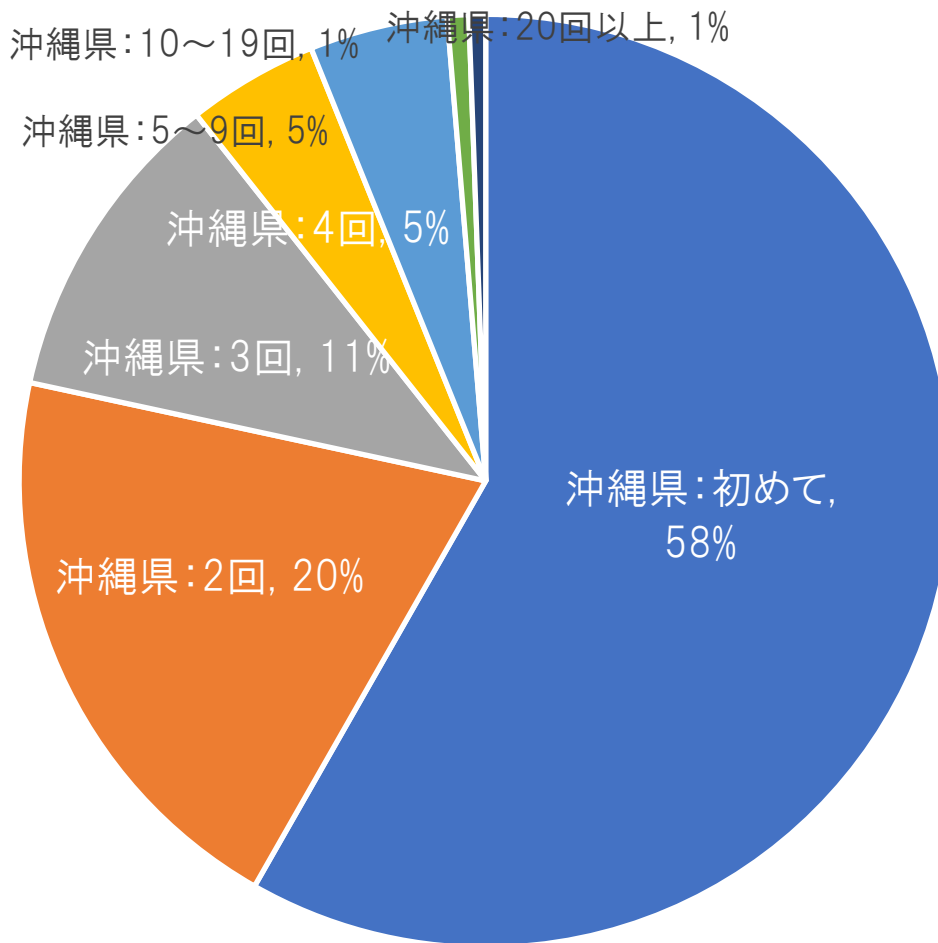


■ 初め ■ 2回 ■ 3回 ■ 4回 ■ 5~9回 ■ 10~19回 ■ 20回以上 ■ 回答対象外 ■ 無回答

(1) 町内観光客の属性

3. 訪問回数（北谷町を初めて訪れる観光客の沖縄県訪問回数との関係）

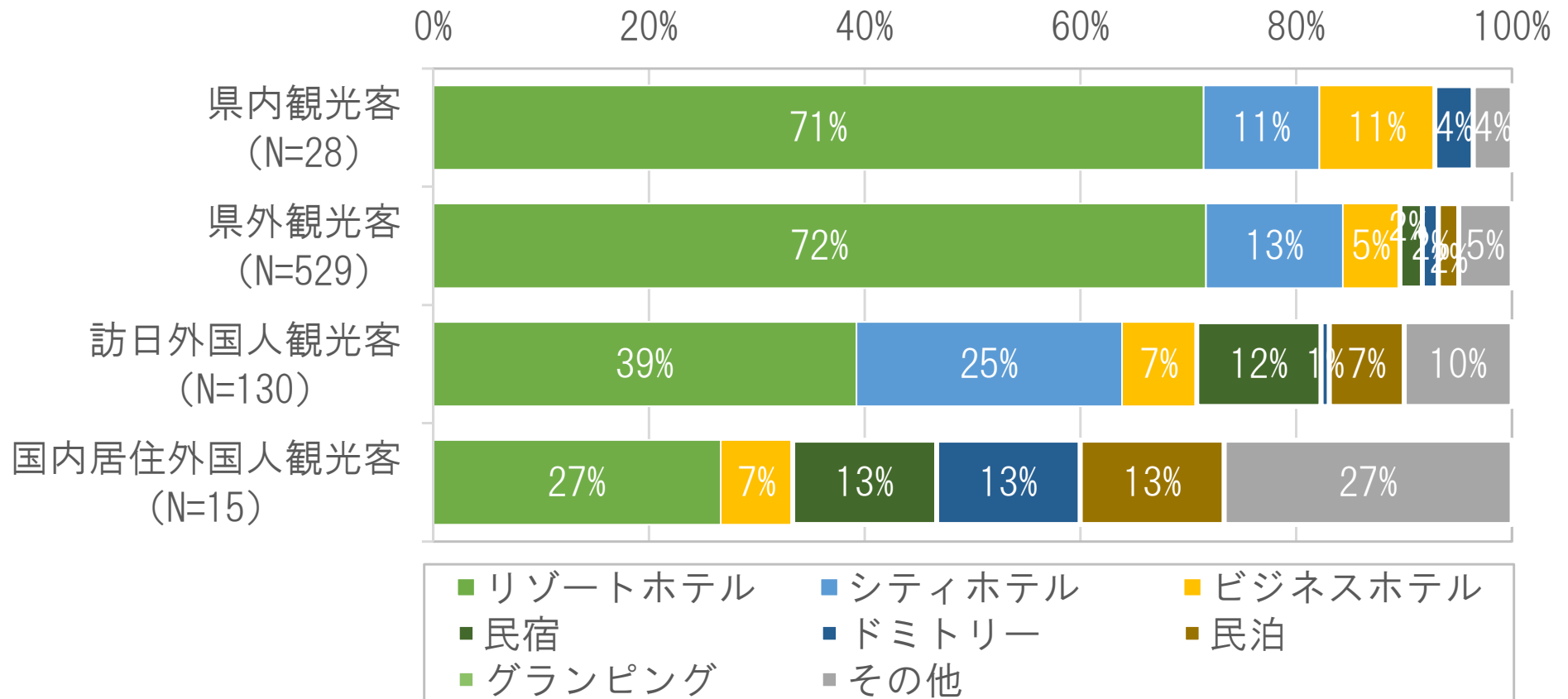
▷北谷町を初めて訪れる観光客は、沖縄県初訪問者が6割、リピーターが4割となっている。



(2) 町内観光実態

1. 宿泊施設タイプ

- ▷GPSデータでは県外観光客の4割が宿泊だが、宿泊客の7割は「リゾートホテル」の宿泊となっている。
- ▷一方、訪日外国人観光客は4割が「リゾートホテル」、3割が「シティホテル」と分散傾向にあり、「民宿」、「民泊」も1割程度存在する。



(2) 町内観光実態

2.観光目的

- ▷ 県内観光客は「保養・休養」、「ショッピング」が約31%でともに最も高いが、「観光地めぐり」も約29%と同程度となっている。
- ▷ 県外観光客は「観光地めぐり」が約80%と圧倒的に高い。
- ▷ 外国人観光客も「観光地めぐり」が訪日、国内居住ともに6割と高いが、訪日は「保養・休養」も約43%と相対的に高い。

県内観光客 (N=454)	保養・休養	31%
	ショッピング	31%
	観光地めぐり	29%
	海水浴・マリンレジャー(シュノーケル含む)	12%
	イベント	11%

訪日外国人観光客 (N=279)	観光地めぐり	66%
	保養・休養	43%
	ショッピング	23%
	沖縄料理を楽しむ	19%
	海水浴・マリンレジャー(シュノーケル含む)	9%

県外観光客 (N=1,872)	観光地めぐり	80%
	ショッピング	22%
	保養・休養	15%
	沖縄料理を楽しむ	11%
	海水浴・マリンレジャー(シュノーケル含む)	6%

国内居住外国人観光客 (N=26)	観光地めぐり	65%
	沖縄料理を楽しむ	31%
	保養・休養	27%
	ショッピング	27%
	海水浴・マリンレジャー(シュノーケル含む)	15%

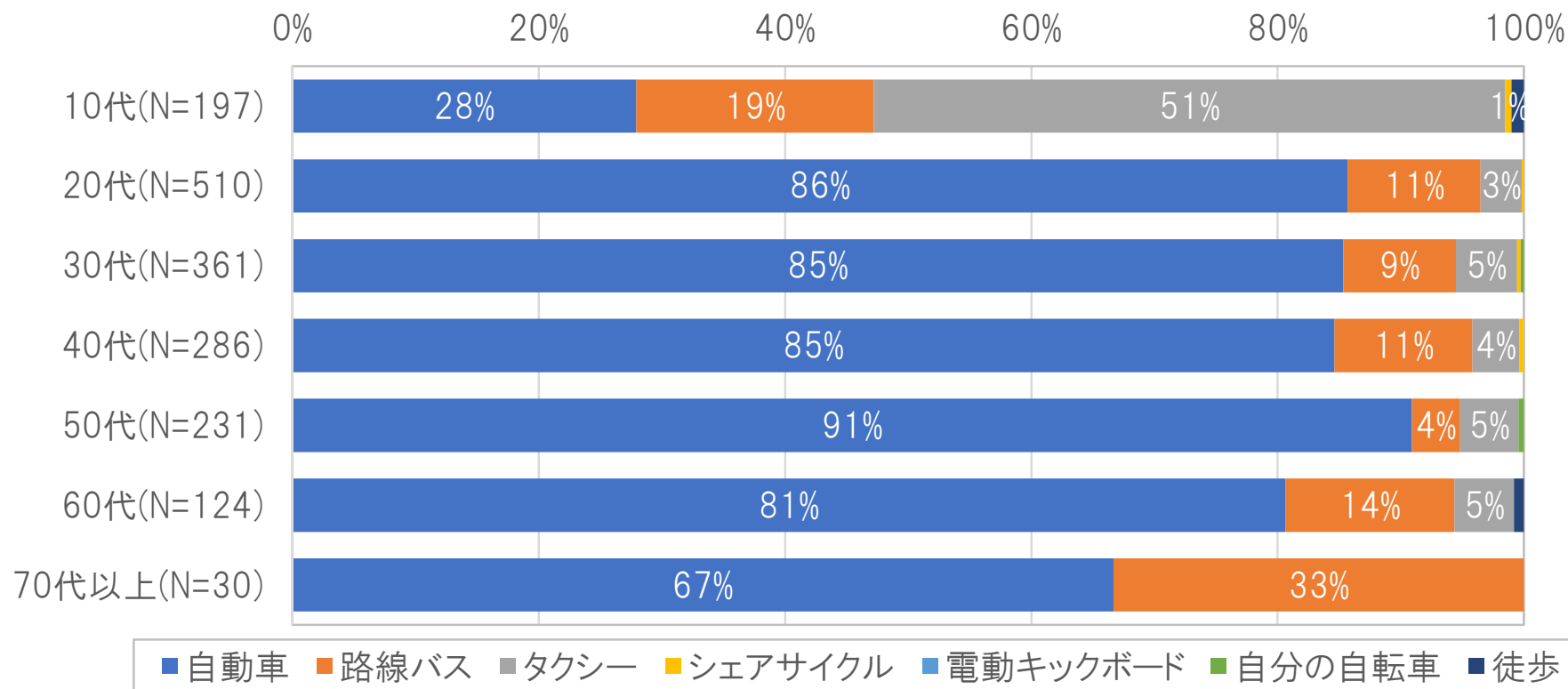
*10月からの調査であるため、マリンレジャー関連の目的が低いことが想定される。

*スケールバーは、観光客属性毎のスケールを示している。

(2) 町内観光実態

3. 移動手段（県外観光客）

- ▷ 県外観光客の北谷町までの移動手段は多くの年代で『自動車（レンタカー、知人送迎等）』が多数を占めている。
- ▷ 一方、『路線バス』も一定数存在しており、60代以上で割合が高まる傾向にある。



(2) 町内観光実態

4. 町内観光消費額（一人当たり）

- ▷町内の観光消費額は、訪日外国人観光客の総額が高く、一人当たり34,632円/人となっている。県外観光客は、一人当たり27,220円/人となっている。
- ▷GPSデータから推計した観光客数に乗じると、2023年は、約546億円/年の観光収入があったと推計する。
(県内観光客:約17億円/年、県外観光客:約518億円/年、外国人観光客:約11億円/年)

単位:円/人

	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客 (N=399)	5,571	880	64	130	297	46	6,988
県外観光客 (N=1,644)	19,865	3,003	1,230	307	2,323	492	27,220
訪日外国人観光客 (N=258)	19,909	4,662	4,695	902	4,060	404	34,632
国内居住外国人観光客 (N=24)	10,912	7,808	563	3,188	2,060	5	24,536

*四捨五入の関係で合計値が合わない可能性がある

(2) 町内観光実態

4.年代別の町内観光消費額（一人当たり）

▷年代が高いほど消費額が高まる傾向にある。

単位：円/人

	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
10代	12,291	1,138	1,173	132	1,434	64	16,232
20代	13,729	2,428	1,219	256	1,789	197	19,618
30代	18,164	3,301	795	232	2,005	535	25,032
40代	19,239	3,069	1,068	252	2,755	799	27,182
50代	24,245	3,309	1,435	270	3,131	543	32,933
60代	23,969	4,705	2,116	1,066	3,652	1,277	36,785
70代以上	51,030	6,039	3,168	215	2,523	81	63,056

*四捨五入の関係で合計値が合わない可能性がある

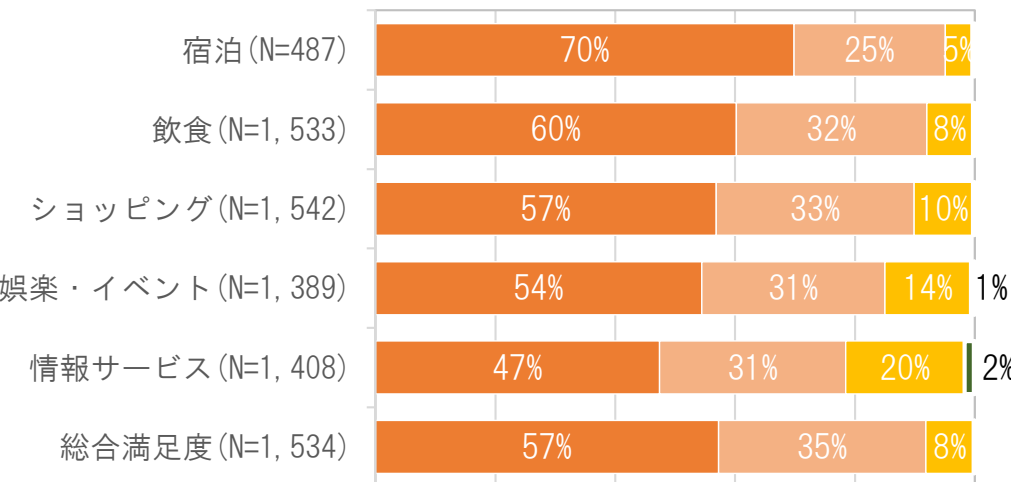
(3) 町内観光の満足度

1. 満足度

- ▷満足度は県外観光客、外国人観光客ともに総じて高く、「宿泊」の評価が高い。
- ▷相対的に「娯楽・イベント」、「情報サービス」について満足度が低下しており、『不満』をあげる観光客が存在する。
- ▷不満の理由としては、ショップマップ（美浜アメリカンビレッジ内の地図）、トイレ、駐車場や施設情報が少ないとの意見や飲食店の終了時間が早いとの意見がある。

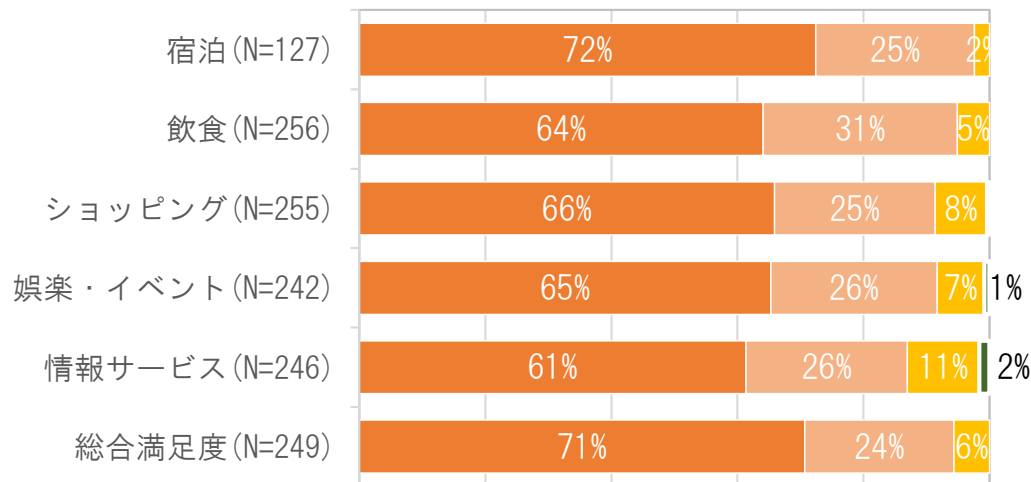
県外観光客

0% 20% 40% 60% 80% 100%



訪日外国人観光客

0% 20% 40% 60% 80% 100%

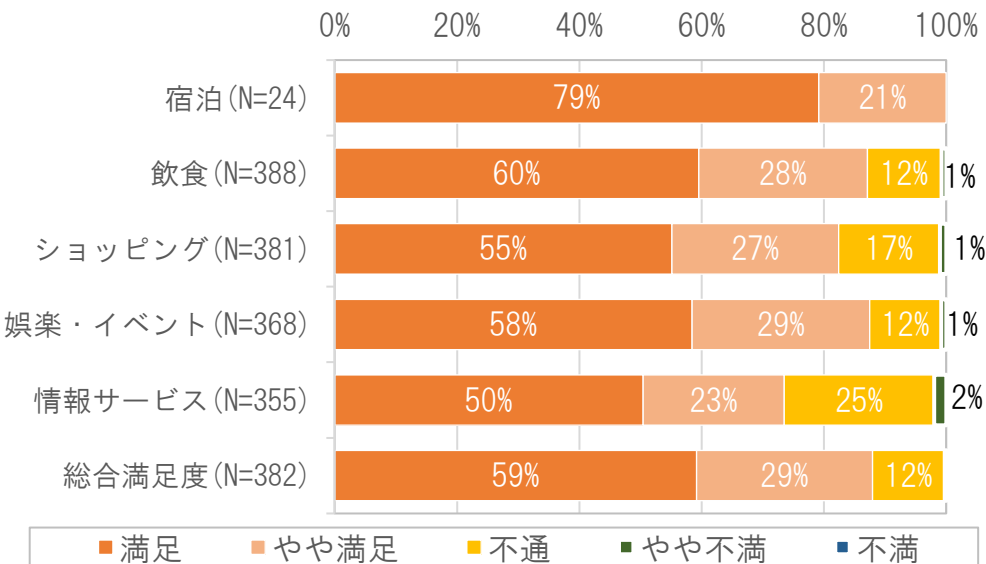


■ 満足 ■ やや満足 ■ 不通 ■ やや不満 ■ 不満

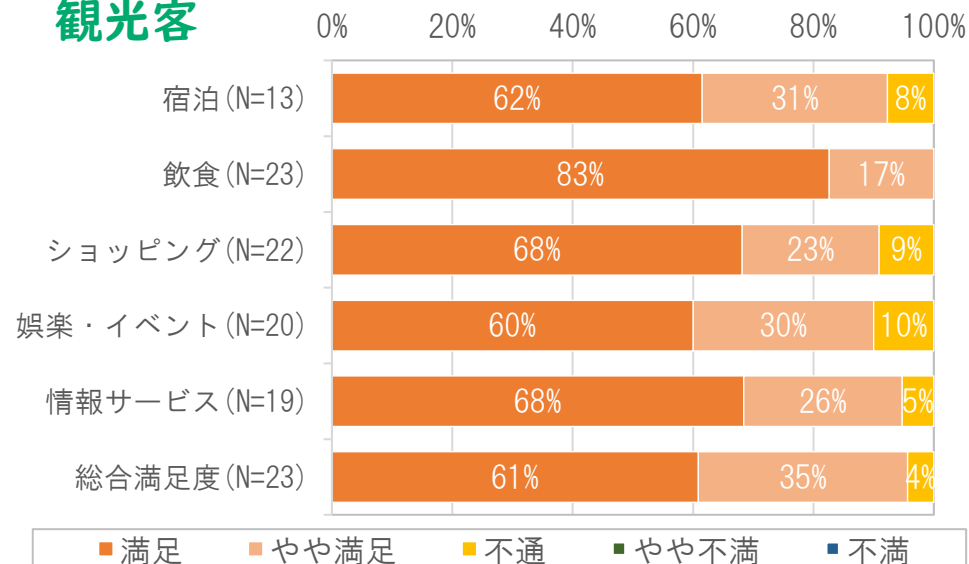
■ 満足 ■ やや満足 ■ 不通 ■ やや不満 ■ 不満

(3) 町内観光の満足度

県内観光客



国内居住外国人観光客



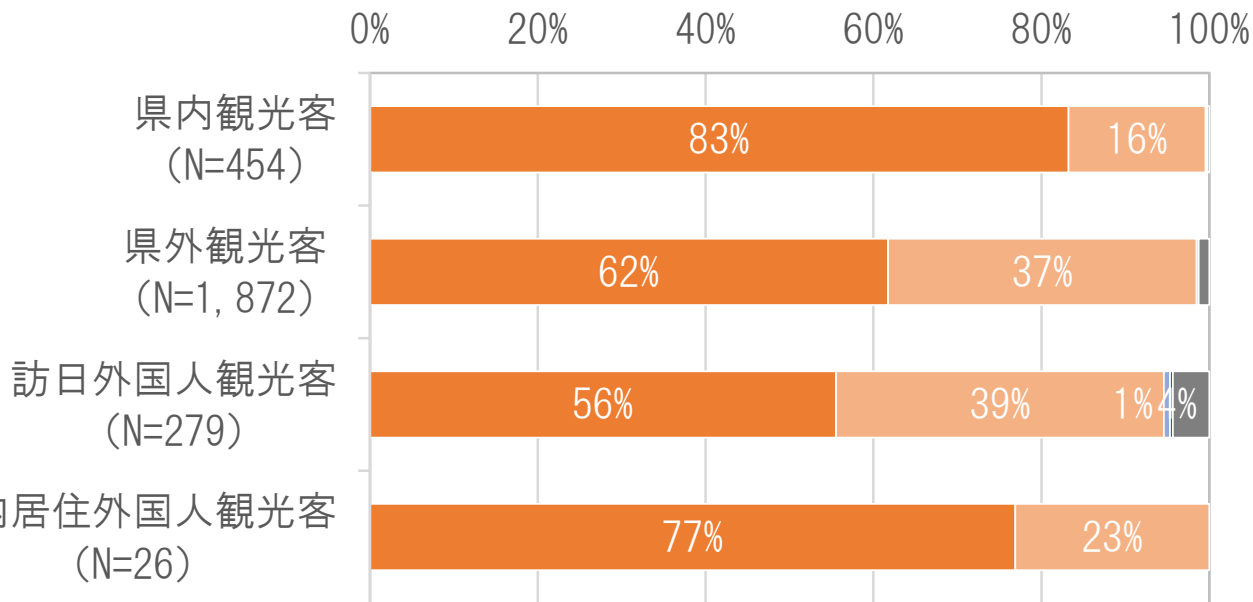
主なご意見

トイレが少ない。トイレの場所がわかりにくい。
 手荷物ロッカーがあったらよかった。
 パーキングが少ない。
 アメリカンビレッジの地図がわかりにくい。
 アメリカンビレッジの分かりやすいマップがあるとよい。イマイチわかりにくかった。
 情報量が少ない、情報がどこにあるかわからない。
 どこに何があるのかよくわからない、どこも似たりよったり。観光客を集めるには体験が！！
 イベント少ないですが、花火がとてもよかった。
 価格が高い。
 若年層中心で落ち着いた所が少ない。
 飲食店が終わるのが早い、店の閉店が早い。

(3) 町内観光の満足度

2.再訪問意向と理由

▷全ての観光客で再訪問意向は高い。
 ▷再訪問意向の理由はほとんどの観光客属性共通で「海や自然が美しいから」が最も高いなど、北谷の自然が評価されている。



- 是非訪問したい
- 機会があれば訪問したい
- あまり訪問したいと思わない
- 訪問したくない
- 無回答

県内観光客 (N=454)	
海や自然の美しさ	51%
街の景観の良さ	45%
飲食店の充実度	43%
ショッピング施設の充実度	37%
飲食店の料理のおいしさ	30%

県外観光客 (N=1,872)	
海や自然の美しさ	48%
ショッピング施設の充実度	47%
街の景観の良さ	41%
飲食店の充実度	34%
飲食店の料理のおいしさ	27%

訪日外国人観光客 (N=279)	
海や自然の美しさ	63%
街の景観の良さ	45%
飲食店の料理のおいしさ	43%
飲食店の充実度	39%
ショッピング施設の充実度	34%

国内居住外国人観光客 (N=26)	
飲食店の充実度	65%
海や自然の美しさ	62%
飲食店の料理のおいしさ	50%
街の景観の良さ	50%
ショッピング施設の充実度	42%

*上位5位のみを表示

(4) 北谷町のお勧め度

1. ネットプロモートスコア (NPS) とお勧め理由

- ▷NPSは、県内観光客が最も高く、訪日外国人観光客の順に高い。他市と比較しても総じて高い数値となっており、観光満足度は高いことが推察される。
- ▷お勧め理由としては、再訪問意向と同様に「海や自然が美しいから」が高い。

県内観光客

62

県内観光客 (N=454)	
海や自然の美しさ	56%
街の景観の良さ	50%
飲食店の充実度	41%
ショッピング施設の充実度	35%
飲食店の料理のおいしさ	32%

県外観光客

45

県外観光客 (N=1,872)	
海や自然の美しさ	52%
ショッピング施設の充実度	49%
街の景観の良さ	43%
飲食店の充実度	33%
飲食店の料理のおいしさ	30%

訪日外国人
観光客

52

訪日外国人観光客 (N=279)	
海や自然の美しさ	65%
街の景観の良さ	48%
飲食店の料理のおいしさ	43%
ショッピング施設の充実度	41%
飲食店の充実度	41%

国内居住外国人
観光客

48

国内居住外国人観光客 (N=26)	
飲食店の充実度	65%
海や自然の美しさ	65%
飲食店の料理のおいしさ	54%
街の景観の良さ	54%
ショッピング施設の充実度	42%

NPSとは

顧客ロイヤルティ(商品やサービスに対する信頼・愛着)を測る指標で、顧客満足度とは異なり、企業の収益と相関が強いと言われており、海外を中心に経営指標としての導入が進んでいます。数値が高いほど良い評価を示しています。

観光地評価としては、公益社団法人京都市観光協会が導入しており、京都では、日本人観光客が22.5、外国人観光客が40.0となっています。

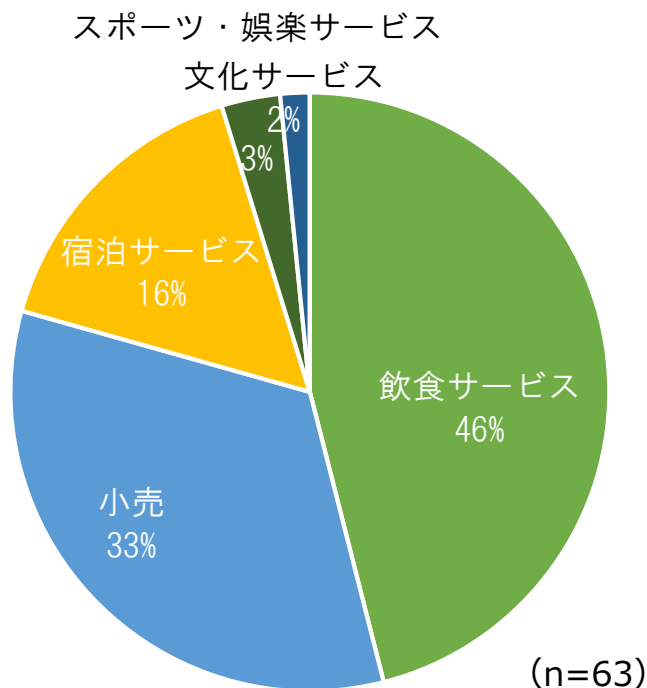
6

観光産業調査

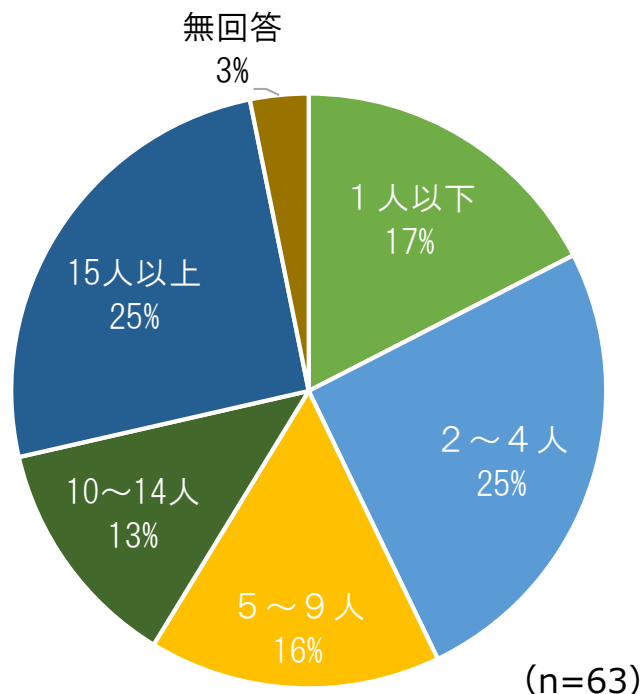
(1) 事業所の概要

- ▶回答者の事業内容は、「飲食サービス」が最も多く、次いで、「小売」、「宿泊サービス」の順となっている。
- ▶回答者の従業員数は、「2～4人」「15人以上」が最も多く、この2区分で半数を占めている。また、従業員に占める町内在住者の割合は、4分の1となっている。

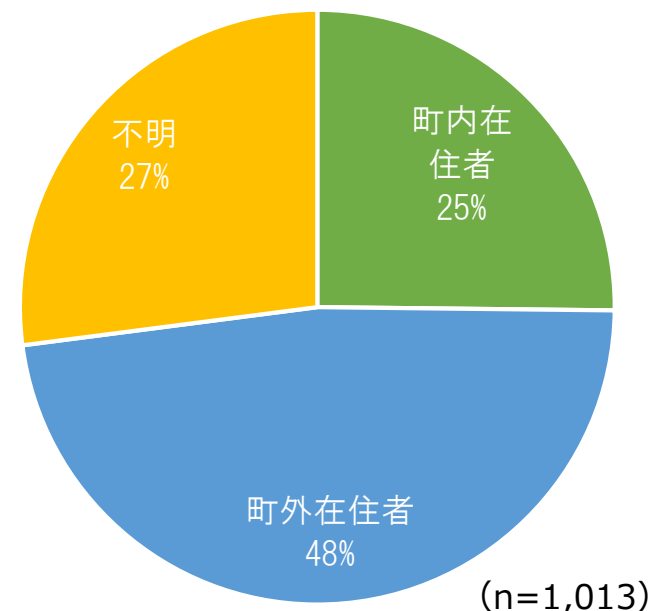
事業内容



従業員数



従業員のうち町内在住者の割合

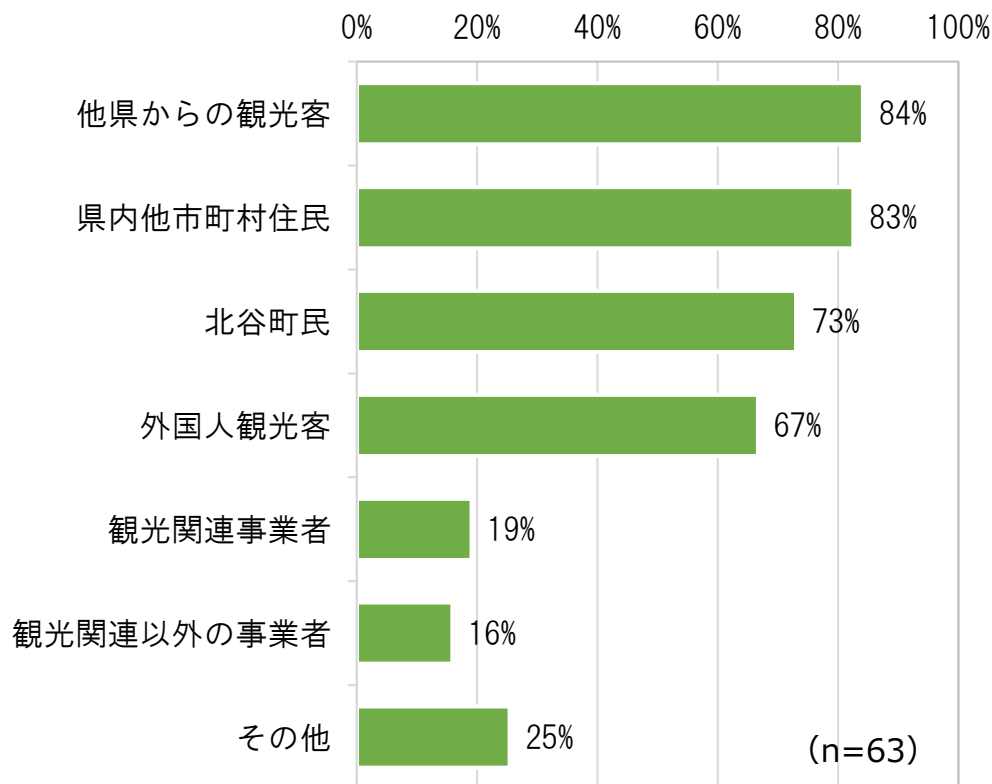


※TSA(旅行・観光サテライト勘定)
における分類を利用

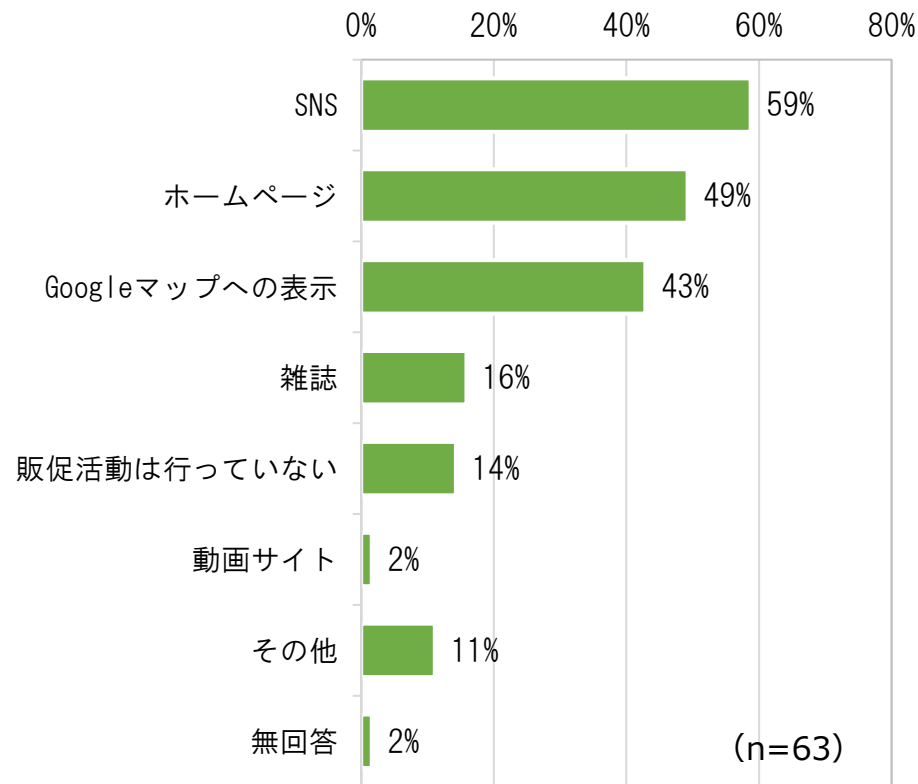
(1) 事業所の概要

- ▷ターゲットとしている客層は、観光客（「他県からの観光客」「県内他市町村住民」「外国人観光客」）と「北谷町民」を幅広く営業対象にしている。
- ▷販促活動で用いているツールは、「SNS」が最も多く、次いで「ホームページ」「Googleマップへの情報表示」の順となっている。

ターゲットとしている客層



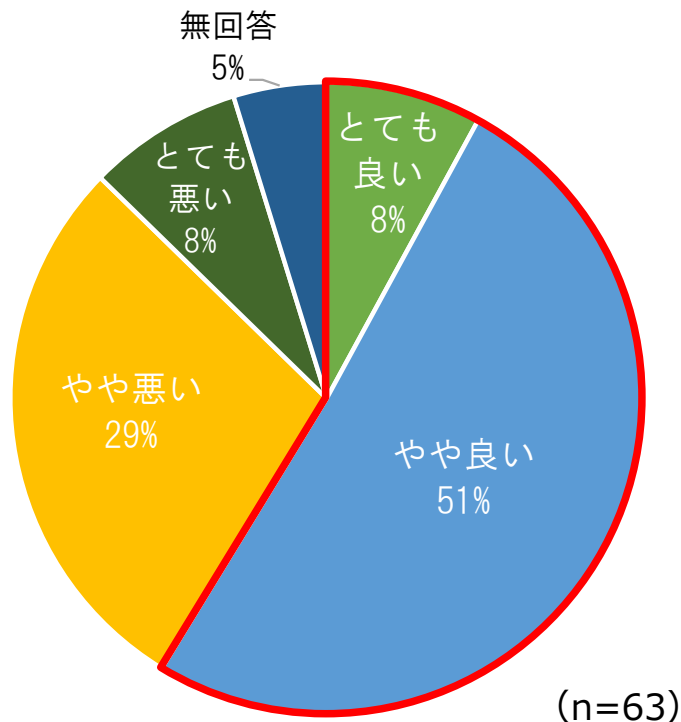
販促活動で用いているもの



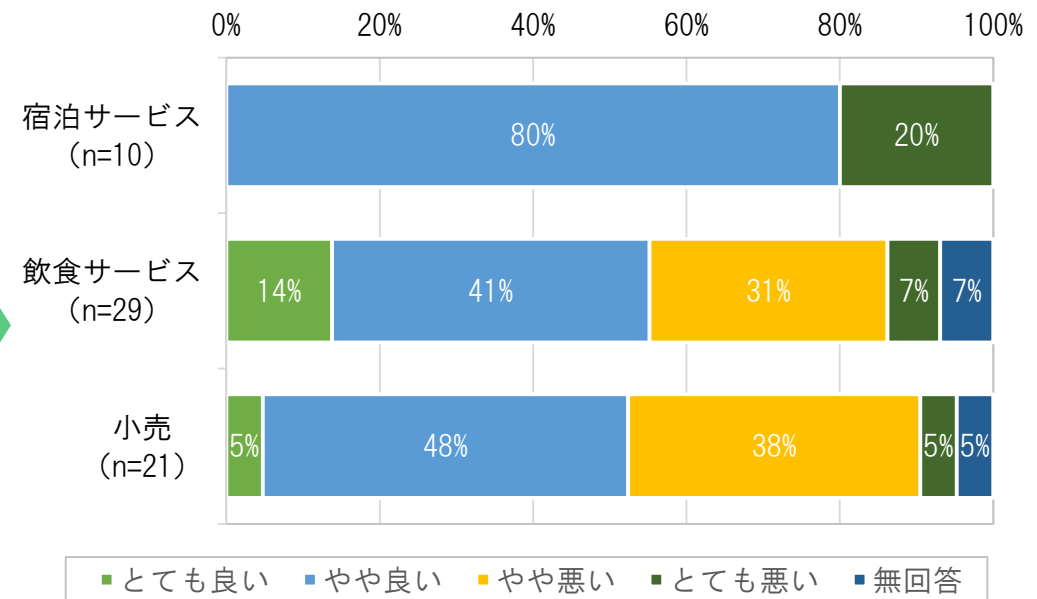
(2) 経営状況

- ▷経営状況は、「とても良い」「やや良い」と回答したのが約6割となっている。
- ▷経営状況について、事業分類別にみると、「宿泊サービス」は、「やや良い」との回答が80%となっている。また、「飲食サービス」は、「とても良い」との回答が14%となっており、他の事業分類に比べて多くなっている。

経営状況



経営状況（事業分類別）

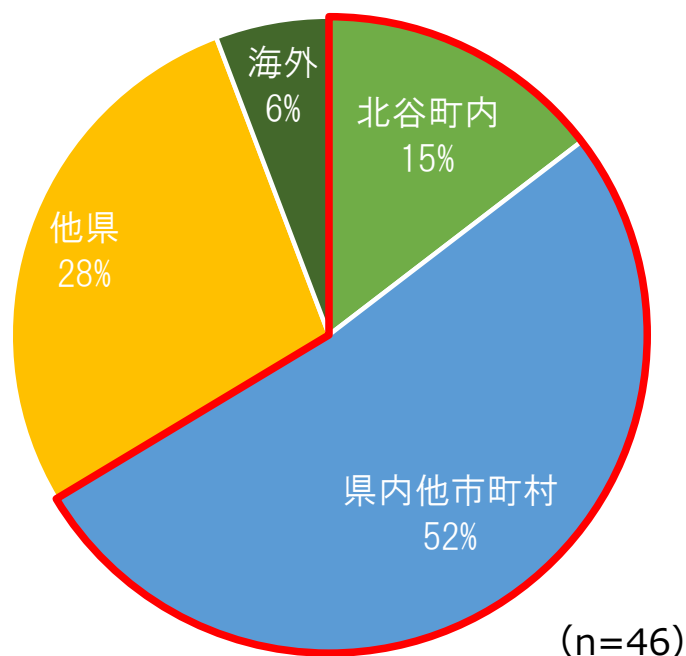


【参考】経営状況が「とても良い」「やや良い」と回答した事業者は美浜地区の事業者が多い傾向にある。

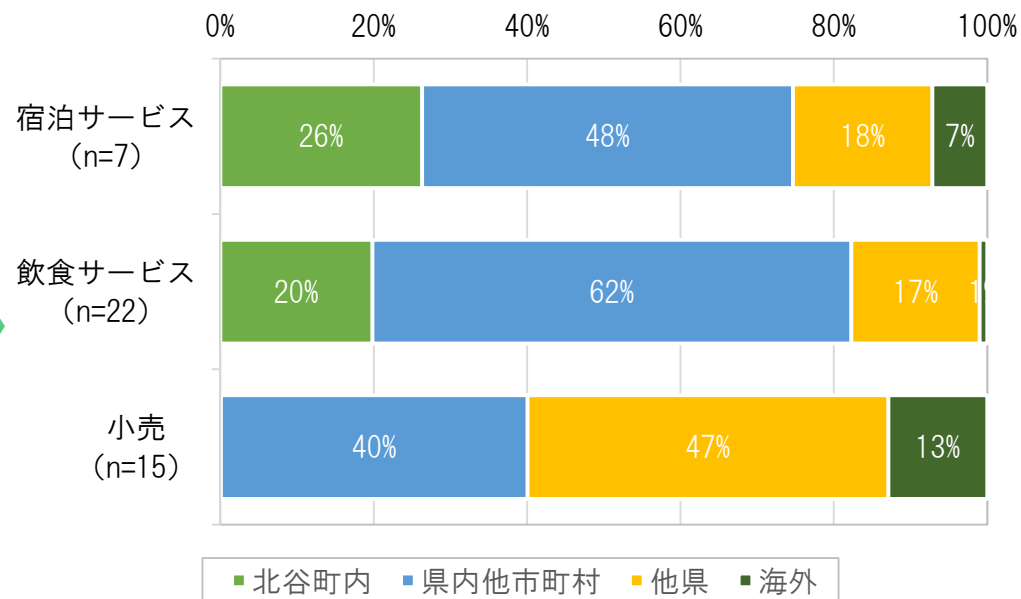
(3) 仕入先の地域

- ▶仕入先は、「北谷町内」が15%、「県内他市町村」が51%となっており、沖縄県内が約7割を占めている。
- ▶仕入先について、事業分類別にみると、宿泊サービスでは「北谷町内」の占める割合が他の事業分類に比べて多い一方で、小売では「北谷町内」からの仕入が全くない。

仕入先の地域



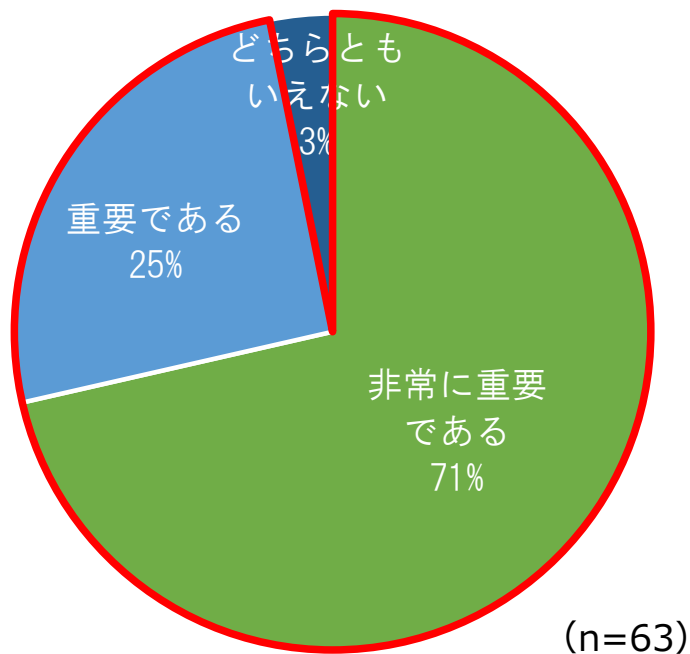
仕入先の地域(事業分類別)



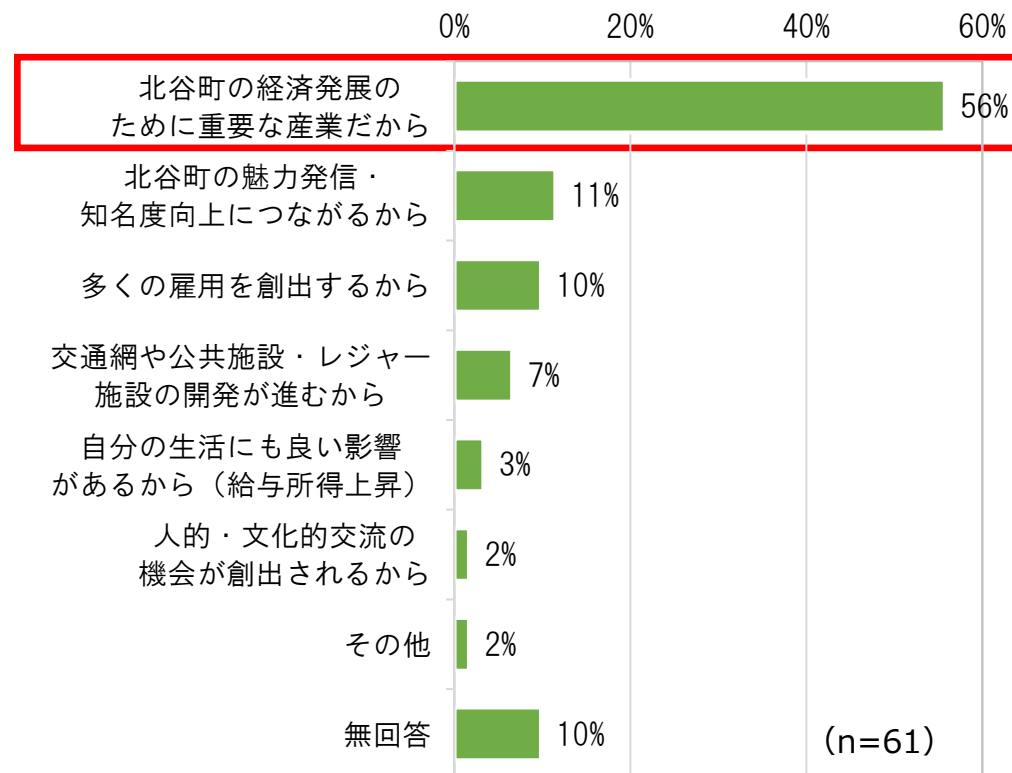
(4) 観光振興への意向

- ▷観光推進への意向は、「非常に重要である」「重要である」を合わせると、97%となっており、「あまり重要ではない」「全く重要でない」といった回答は見られなかった。
- ▷観光推進が重要だと思う理由は、「北谷町の経済発展のために重要な産業だから」が56%と半数以上を占めている。

観光推進の重要度



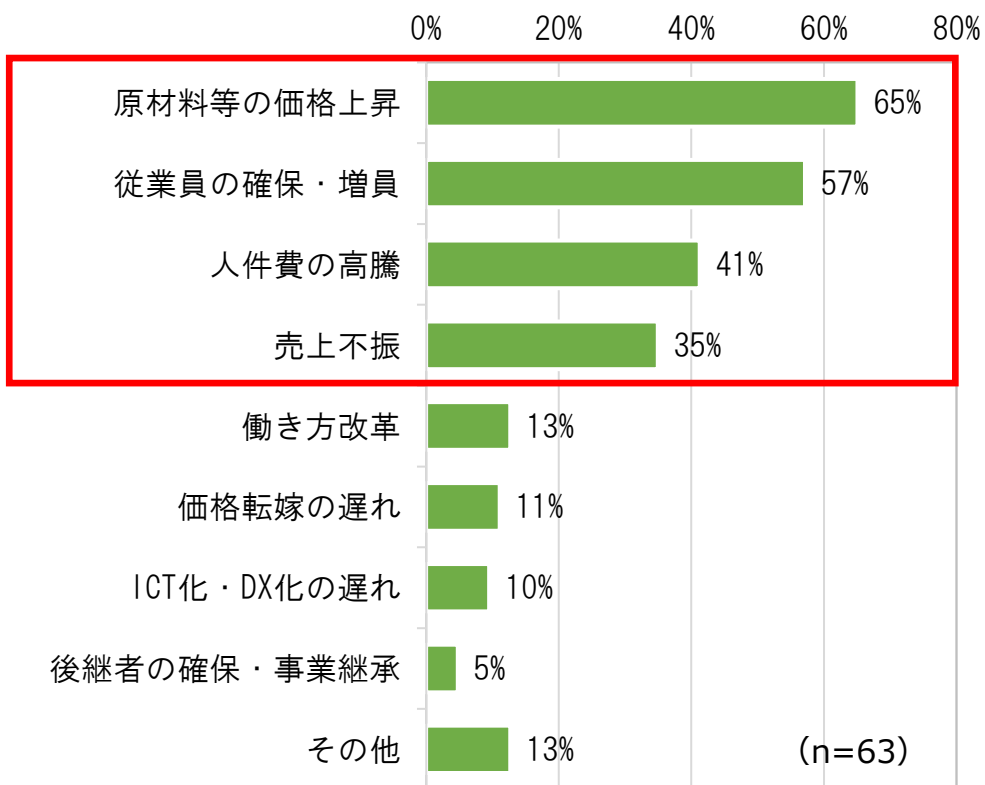
観光推進が重要だと思う理由



(5) 問題点・課題

- ▷ 事業経営上の問題点・課題は、「原材料等の価格上昇」が最も多く、次いで、「従業員の確保・増員」「人件費の高騰」「売上不振」となっている。
- ▷ 事業分類別にみると、宿泊サービスでは「従業員の確保・増員」が最も多くなっている。

事業経営上の問題点・課題



事業経営上の問題点・課題
(事業分類別・上位)

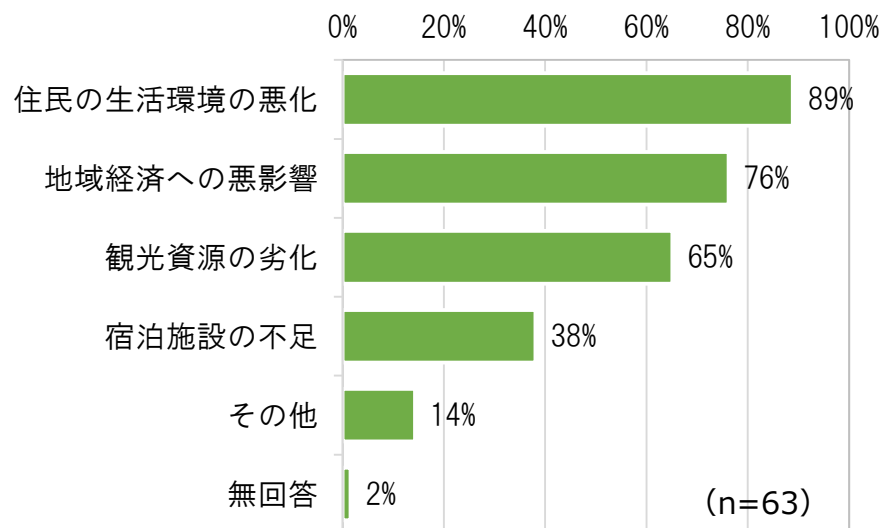
	第1位	第2位	第3位
宿泊サービス (n=10)	従業員の確保・増員 50%	原材料等の価格上昇 40%	売上不振 30%
飲食サービス (n=29)	原材料等の価格上昇 79%	従業員の確保・増員 62%	人件費の高騰 45%
小売 (n=21)	原材料等の価格上昇 62%	従業員の確保/人件費の高騰/売上不振 48%	

※「その他」の具体的内容として、「建物の老朽化」「メニュー開発」「売上が天候に左右される」等も挙げられていた。

(5) 問題点・課題

- ▷ 今後、観光客がさらに増加した場合に懸念される問題は、「住民の生活環境の悪化」が最も多く、次いで「地域経済への悪影響」「観光資源の劣化」となっている。
- ▷ 事業分類別にみると、いずれの事業分類においても、「住民の生活環境の悪化」が最も懸念されている。

観光客が増加した場合に懸念される問題



懸念される問題点・課題
(事業分類別・上位)

	第1位	第2位	第3位
宿泊サービス (n=10)	住民の生活環境の悪化/ 地域経済への悪影響 80%		観光資源の劣化 70%
飲食サービス (n=29)	住民の生活環境の悪化 93%	地域経済への悪影響 83%	観光資源の劣化 66%
小売 (n=21)	住民の生活環境の悪化 86%	地域経済への悪影響/観光資源の劣化 67%	

分類	具体内容
住民の生活環境の悪化	交通渋滞・事故 (76%)、地価の高騰 (37%)、小売店・飲食店の混雑 (22%) 等
地域経済への悪影響	宿泊施設の不足 (21%)、違法民泊の増加 (19%) 等
観光資源の劣化	ポイ捨ての増加 (48%)、観光資源の破壊 (32%)、騒音の発生 (27%) 等
宿泊施設の不足	人手・担い手不足 (68%)、観光客の満足度低下 (17%)、観光地の魅力低下 (13%) 等

マーケティング分析

(1) 北谷町観光の現状と課題

SWOT分析結果

強み

- ・多くの観光客が高いお勧め度となっており、観光客数の増加、リピーターも多いことから魅力的な観光地であることを示唆している。
- ・訪問目的の多様性が北谷町の観光の強みの一つとなっている。海や自然の美しさ、飲食店、ショッピング施設の充実度など、様々な魅力が観光客を引き寄せている。
- ・10代から40代以上まで、幅広い年齢層の観光客が訪れており、多世代にわたって楽しめる観光地となっている。なお、これらの若年層を対象としたデジタルマーケティングをすでに実施している。
- ・県内観光主要観光地の中間地点にある。
- ・観光事業者は、他県観光客、県内観光客を主要な客層としており、広範囲からの顧客基盤を持っている。
- ・観光推進を「非常に重要」と考えている事業者が多く、地域全体で観光振興に積極的な姿勢がある。

機会

- ・単独旅行者や高齢者など、まだ十分に来訪されていない観光客層を対象としたプロモーションで、新たな市場を開拓する余地がある。
- ・自然環境の保護を重視した持続可能な観光活動を展開することで、エコツーリズム市場での競争力を高めることができる。
- ・文化体験の機会を増やし、教育的価値の高い観光コンテンツを提供することで、訪問目的の多様化を図ることができる。
- ・地元食材を活用した料理の提供などによるガストロノミーツーリズムの充実を図ることで、訪問促進が期待できる。
- ・公共交通機関の利便性を高めることで、さらなる観光客の誘致が期待できる。

弱み

- ・家族連れやカップルが多いが、特定の観光客層に偏っているという見方もできる。
- ・特定の訪問目的（例えば、自然観光やショッピング）が強い一方で、文化体験など他の分野での魅力が相対的に弱い。
- ・観光・施設情報のオンラインでの調査容易性を指摘する観光客が少ないことは、情報提供の改善が必要であることを示唆している。
- ・主な移動手段が自動車中心となっており、公共交通機関を利用する観光客にとっては不便を感じる可能性がある。
- ・観光入込について、季節変動がある。（観光事業者の収益不安定）

脅威

- ・若者の自動車離れが指摘されており、将来的には公共交通の利便性が高い観光地が選ばれる可能性がある。
- ・我が国は少子高齢化社会に突入しており、若年層が減少している。
- ・パンデミック等で県外観光客が減少するリスクがある。
- ・台風など、自然災害は観光産業にとって大きなリスクをもたらす。また、海の汚染など、環境問題の悪化は、観光魅力を損なう可能性がある。
- ・人材不足などで観光産業の維持が困難になる可能性がある。
- ・デジタル化が進展するなか、観光情報の提供方法やマーケティング戦略において、常に最新の技術を取り入れる必要がある。

(2) 他地域との差別化、ターゲット属性

STP分析結果

Segmentation (市場細分化)

北谷町の観光客実態を踏まえ、北谷町観光客の主な観光市場を以下のように細分化します。

✓年齢層

若者(10代~30代)、中年層(40代~50代)、高齢者(60代以上)

✓グループ構成

カップル、家族連れ、友人同士のグループ

✓訪問目的

自然体験(海、山など)、文化体験(歴史的スポット、地元文化)、レジャー活動(ショッピング、食事、イベント参加)、リラクゼーション(リゾート滞在、スパなど)

✓居住地

県内観光客、県外観光客(国内)、インバウンド

Targeting (ターゲット市場選定)

SWOT分析を踏まえて、特に重点を置くべきターゲット市場を選定します。

✓年齢層

⇒若年層に人気の観光地であるが、少子高齢化の進展や自動車離れによって訪問者数が減少することが見込まれる。
強みである若年層に加え、弱みである高齢層をターゲットとする。

✓グループ構成と訪問目的

⇒カップル、家族連れ、友人同士のグループという多様なグループが訪問されており、自然体験(海、山など)、レジャー活動(ショッピング、食事、イベント参加)、リラクゼーション(リゾート滞在、スパなど)などの訪問目的があることから、各グループ構成とセットとした訪問目的を対象とする。

✓居住地

⇒引き続き、観光消費が多い県外観光客(国内)、インバウンドとするが、パンデミック等のリスクに備え県内観光客もポートフォリオとして加える。

(2) 他地域との差別化、ターゲット属性

STP分析結果

Positioning (ポジショニング)

北谷町が目指すべきポジションを以下のように設定します。

✓若者のためのトレンド的な観光地

SNS映えするスポットの提供や、アクティブなアウトドアアクティビティ、地元の若者文化に触れられるイベントを通じて、若者にとって魅力的な観光地としてのイメージを構築する。

✓家族で楽しめる多様な体験が待っている観光地

子供向けの教育プログラム、家族で楽しめるアクティビティ、リラクゼーション施設を充実させ、全世代が楽しめるファミリーフレンドリーな観光地として位置付ける。

✓自然と文化が融合する魅力的な観光地

北谷町の豊かな自然環境と、地元独自の文化や歴史を生かした観光コンテンツを通じて、国内外の訪問者にとってユニークな魅力を持つ観光地としてアピールする。

(3) 課題解消のために実施すべき施策

戦略整理

SWOT分析、STP分析の結果を踏まえ、観光戦略の方針を以下のようにします。

■積極戦略

✓デジタルプロモーションの強化

⇒SNSやインターネットを活用したデジタルマーケティングを積極的に展開し、特に若者や女性観光客にターゲットを絞ったコンテンツを提供することで、より多くの訪問者を引き付ける。

✓新規アクティビティの開発

⇒海や自然を活かしたエコツーリズムや、地元文化を体験できるイベントの開発を通じて、訪問者に新たな魅力を提供する。

✓ガストロノミーツーリズムの促進

⇒地元食材を使用した料理教室やフードフェスの開催を通じて、食文化を前面に出した観光プログラムを強化する。

■改善戦略

✓宿泊施設の多様なプラン設定

⇒ファミリー向け、カップル向け、バックパッカー向けなど、幅広いニーズに応える宿泊プランを提供する。

✓情報提供の改善

⇒観光情報のウェブサイトやアプリの充実、多言語対応を強化し、訪問前だけでなく訪問中の情報アクセスの利便性を高める。

■差別化戦略

✓環境保全型観光の推進

⇒北谷町の自然環境を守りながら観光を楽しむことをコンセプトにした、サステナブルな観光プログラムを開発する。

✓地元文化との結びつき

⇒地元の文化や伝統を生かした体験型観光を強化し、他地域との競争において北谷町独自の魅力を打ち出す。

■致命傷回避・撤退縮小戦略

✓リスク管理の強化

⇒自然災害や経済状況の変動といった外部環境の脅威に備え、観光産業全体でのリスク管理体制を構築する。

(3) 課題解消のために実施すべき施策

ターゲット向け施策の一例

年齢層向け施策としては、下記のような施策が考えられます。

■若年層向け

✓デジタルとソーシャルメディアの活用

⇒北谷町を訪れた際の写真や動画がSNSで共有されやすい、フォトジェニックなスポットを増やし、若年層の訪問意欲を促進する。合わせてSNSキャンペーンやインフルエンサーを活用したプロモーションを行い、北谷町の魅力を積極的に発信する。

✓アクティビティ、イベントの実施

⇒サーフィン、ダイビング、パラセーリングなどのマリンスポーツや、音楽フェス、花火大会など、若年層が参加を楽しめるイベントを年間を通じて開催するとともに、伝統文化を体験できるプログラムを開発し、参加型・体験型のアクティビティを提供する。

✓エコツーリズムの促進

⇒環境保護への意識が高い若年層にアピールするため、エコツーリズムやサステナビリティに焦点を当てた観光プログラムを開発する。海洋保護活動、ビーチクリーン、自然保護区でのボランティア活動など、環境に優しい活動に参加できる機会を提供する。

■高齢者向け

✓健康とリラクゼーションを重視した施設とサービスの提供

⇒自然に囲まれた空間で、健康とウェルネスをテーマにしたスパ施設を充実させ、心身のリラクゼーションに役立つサービスを提供する。

✓自然体験プログラム

⇒ビーチウォーキング、ガーデンツアー、バードウォッチングなど、自然の中で時間を過ごせるアクティビティを提供する。

✓地元のコミュニティとの交流

⇒地元の人々との交流イベントや地域の家庭を訪問するプログラムを通じて、地元の暮らしや文化を体験できる機会によって関係人口を創出する。